

# 積算ソフト「頂」2019

## 操作マニュアル

株式会社エージェンシーソフト  
マニュアルver.1-1

# 目次

---

1.頂を起動する .....	5
2.スタート画面 .....	5
2-1 各機能の説明 .....	5
2-2 プログラム・データ更新 .....	7
新規設計書の作成 .....	8
1. 積算条件の設定 .....	8
2.表紙の入力 .....	10
3.見積情報の入力 .....	12
4.直接工事費の作成 .....	13
4-1 設計書画面の機能 .....	14
4-1-1 ツールバーの説明 .....	15
4-1-2 コマンドバーの説明 .....	17
4-2 単価検索画面の機能 .....	18
4-2-1 クリップ機能 .....	19
4-2-2 ツールバーの説明 .....	20
4-2-3 コマンドバーの説明 .....	22
4-2-4 表示バーの説明 .....	24
5.階層の作成 .....	25
5-1 任意に階層を作る場合 .....	25
5-2 工事積算大系を利用する場合 .....	26
6.内訳の作成 .....	27
6-1 内訳名称を作成して登録する .....	28
7.新規代価(単価)の作成 .....	30
8.単価検索からの単価の転送 .....	35
8-1 基礎単価の場合(材料や労務単価) .....	36
8-2 施工単価の場合 .....	37
8-3.施工パッケージについて .....	38
8-3-1 施工パッケージの検索 .....	40
8-3-2 施工パッケージの材料を変更する方法 .....	41
9.行の削除 .....	43
10.共通仮設費積上額の入力 .....	44
11.諸経費の計算 .....	48
11-1 土木工事 .....	49

11-2 水道工事 .....	55
11-2-1 管材費の設定 .....	57
11-3 設備工事 .....	59
11-3-1 処分費(発生材処分費)や工期の設定 .....	60
11-4 民間工事 .....	61
<b>12.頂を終了(保存)する .....</b>	<b>63</b>
12-1 頂を保存する .....	63
12-2 頂を終了する .....	64
<b>工事価格関係 .....</b>	<b>65</b>
1.工事価格を任意の額に変更する .....	65
2.工事価格から諸経費を逆算する .....	67
<b>印刷関係 .....</b>	<b>71</b>
1.印刷フォーマットの各設定の説明 .....	72
2.印刷対象の設定 .....	73
3.表紙の各設定についての説明 .....	74
<b>4.単価表の設定 .....</b>	<b>75</b>
・4-1 出典を印刷 .....	75
・4-2 備考欄を印刷 .....	75
・4-3 帳票番号の印刷設定 .....	76
・4-4 変更後のみを印刷する .....	76
<b>5.その他 .....</b>	<b>77</b>
・5-1 経費の対象額と率の印刷設定 .....	77
・5-2 各種集計対象の集計値の印刷設定 .....	77
<b>6.印刷設定の保存・PDF・Excel出力・出力したファイルの保存 .....</b>	<b>78</b>
<b>その他 .....</b>	<b>79</b>
1.前年度単価で作成した設計書を新年度単価、または別地区に更新する .....	79
2.夜間・冬期・通勤補正 .....	81
・2-1 夜間補正の場合 .....	83
・2-2 通勤補正の場合 .....	84
・2-3 冬期補正の場合 .....	85
・2-4 二つの補正を同時に使う場合 .....	86
・2-5 冬期補正(現場管理費の補正)の場合 .....	88
<b>3.ユーザ単価 .....</b>	<b>89</b>
3-1 ユーザ単価の作成 .....	89
3-2 ユーザ単価の転送 .....	94
<b>4.変更設計について .....</b>	<b>96</b>
4-1 変更設計書の作成 .....	96
4-2 変更設計書の印刷 .....	99
<b>5.機械設備歩掛 その他の率の変更方法 .....</b>	<b>105</b>
5-1 一括して率を変更する場合 .....	106
5-2 工種ごとに率を変更する場合 .....	108

<b>6.工事落札額</b> .....	<b>110</b>
6-1 設計変更後の工事落札額を計算 .....	112
6-1-1 設計変更後の工事落札額の印刷 .....	112
<b>7.CSVファイルのインポート</b> .....	<b>114</b>
7-1. CSVファイルのインポート方法 .....	116
7-2. 学習機能について .....	115
7-3. 学習機能(詳細設定)を使用する場合 .....	116
7-4. 個別に学習機能を使用する場合 .....	118
<b>8.「物価資料」単価表示対象の設定</b> .....	<b>120</b>

## 1. 頂を起動する

デスクトップにある頂のアイコンをダブルクリックすると、下のようなスタート画面が表示されます。この画面から作業内容を選択して該当するボタンをクリックすると、それぞれ次の画面に進むことができます。

## 2. スタート画面



### 2-1 各機能の説明

① **単価検索**：歩掛や単価の検索システム。単独で辞書のように使うと便利です。

② **新規設計書**：新規設計書を作成します。

## 2-1 各機能の説明

① **単価検索**：歩掛や単価の検索システム。単独で辞書のように使うと便利です。

② **新規設計書**：新規設計書を作成します。

③ **既存設計書**：過去に作成(保存)した設計書を開きます。

④ **設計書の継続**：前回作成(保存)した設計書を開き、継続して作業する場合に選択します。

⑤ **逆算・諸経費計算**：

《逆算》工事価格が事前公表されている場合、工事価格から直接工事費や各種経費を逆算するときに使用します。

《諸経費計算》積み上げた直接工事費を入力し間接費を自動計算させて工事価格を求める場合に使います。

※逆算・諸経費計算共に処分費や管材費（水道工事の場合）及び共通仮設費の積上げ額を入力し、各種補正を設定する必要があります。

⑥ **合算**：近接工事など複数の工事を合算する場合に使用します。

⑦ **設計書変換**：発注者の設計書データを頂に取り込めるファイルに変換できます。

※WEBサービスのため、インターネット接続が必要です。

⑨ **プログラム・データ更新**：7ページをご覧ください。

⑩ **サポート**：リモートサポートを要請する際に使用します。※インターネット接続必須

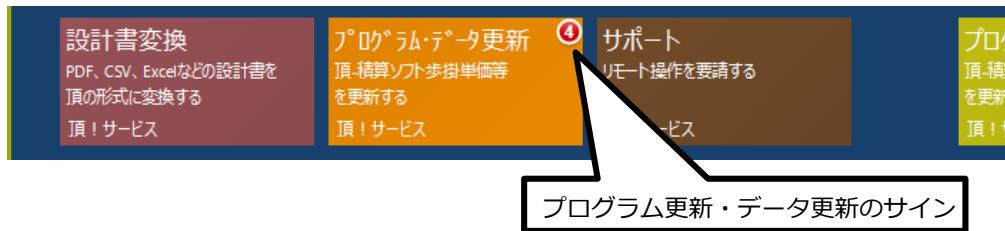
⑪ **新旧切り替え**：頂2014以前で作成した設計書を開く際は、2をクリックしてから操作を行ってください。

⑫ **その他メニュー**：

- ・ホームページ…弊社製品HPへリンクします。
- ・ヘルプ…マニュアル、参考資料、よくある質問など、積算をする際に重要になる情報が掲載されています。
- ・シリアル番号管理…認証システムが起動します。認証状況の確認などもできます。

## 2-2 プログラム・データ更新

新しいプログラムや単価・歩掛をインターネットで随時更新します。



- ⑧ **プログラム・データ更新**：ソフトのプログラムに更新がある場合と、県発表の資材単価などのデータに更新がある場合はこちらに赤丸で更新をお知らせします。サインが出ている場合はクリックして必ず更新をお願いします。更新にはインターネット環境が必要です。

# 新規設計書の作成

## 1. 積算条件の設定



設計書の各種設定画面に移ります

This screenshot shows the 'Various Settings' window. The top navigation bar includes 'File (F)', 'Edit (E)', 'Setting (O)', and 'Help (H)'. Below the menu is a toolbar with icons for 'New', 'Open', 'Save', 'Print', 'Copy', 'Paste', etc. The main area is titled 'Various Settings' and shows a table of various parameters. One row is highlighted with a yellow background, showing 'KS' under '科目名' (Account Name) and '土木工事' (Civil Engineering) under '金額/値(当世代)' (Amount/Value (Current Generation)). Other rows include 'KB' (Work Type), 'KY' (Fiscal Year), and several Z codes related to cost calculations.

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
KS	土木工事	
KB	河川工事	
KY	2019	
Z23	共通仮設費補正	補正しない
Z27	共通仮設費補正(週休)	補正しない
Z71	現場環境改善費区分	計算しない
Z56	共通仮設費補正(被災地)	1 補正しない

各種設定

プリセット: 00

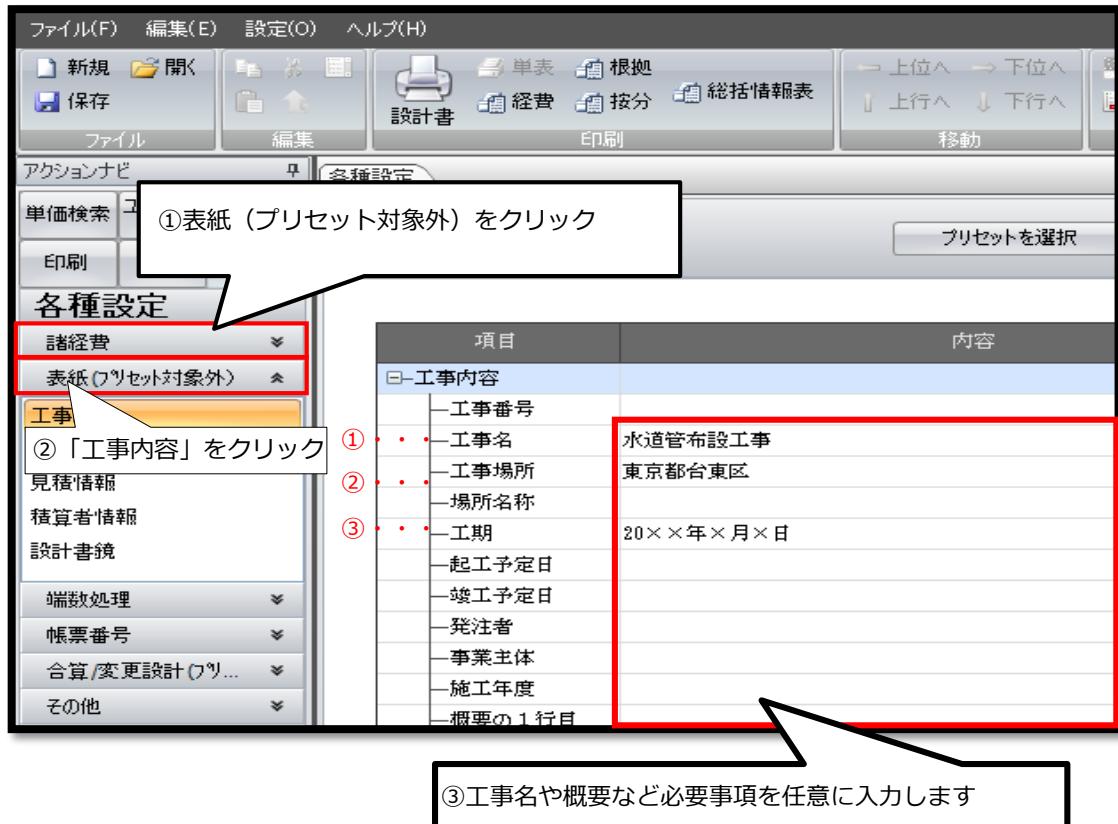
②経費条件を設定します。  
▼をクリックするとプルダウンメニューが開きますので、該当する項目を選択してください。

	科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ KS	工事種類	土木工事	
KB	工種区分	土木工事 (電気通信)	補正しない
KY	経費年度	土地改良工事	補正しない
Z23	共通仮設費補正	治山林道工事	計算しない
Z27	共通仮設費補正(週休)	公共建築工事	補正しない
Z71	現場環境改善費区分	公共住宅工事	補正しない
Z56	共通仮設費補正(被災地)	水道工事(水道実務必携基準)	計算しない
Z57	現場管理費補正(被災地)	除染工事	補正しない
Z58	現場管理費補正(工事場所)	港湾工事	補正しない
Z60	その他	民間工事	補正しない
		水道実務必携委託設計	
		水道施設維持管理業務委託	
		農業集落排水施設	

工事種類、工種区分により経費率が変わりますので、設計書や入札公告から適切なものを選択します。

## 2.表紙の入力

表紙（プリセット対象外）をクリックすると、工事内容などの入力画面に移動します。



これらの内容は積算中いつでも変更することができます。

次に、積算者情報を入力します。



積算者情報は一度入力すると記憶され、変更がない限り入力する必要はありません。



印刷例

工事設計書	
工事名称	水道管布設工事
工事費総額 ￥	
(内訳) 工事価格	￥
消費税	￥
発注者名	
工 期	20××年×月×日
工事場所	東京都台東区
場所名称	
工事概要	
<p>株式会社エージェンシーソフト 竹内邦彦 〒 101-0052 東京都千代田区神田小川町3-6</p> <p>TEL 03-5283-9705 FAX ♪♪</p>	

### 3. 見積情報の入力

民間工事などで見積書を提出する場合は、見積情報を入力すると表紙部分に反映されます。

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

各種設定

諸経費

表紙(ワリセット対象外)

工事内容

積算条件

見積情報

積算者  
報

設計

① 「見積情報」をクリック

帳票番号

各種設定

プリセット: 00\_デフォルト

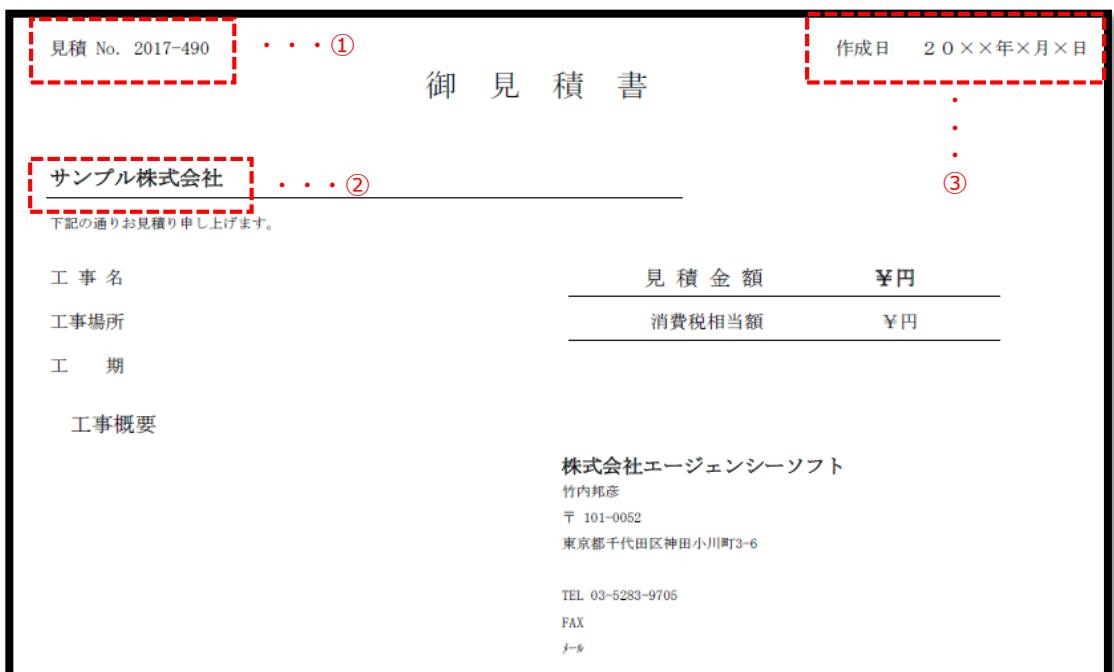
② 見積宛先など必要事項を入力します

項目

□-見積情報

見積番号	2017-490	… ①
見積宛先	サンプル株式会社	… ②
見積作成日	20××年×月×日	… ③
諸負額		
諸負額増…		
決済条件		
有効期限		

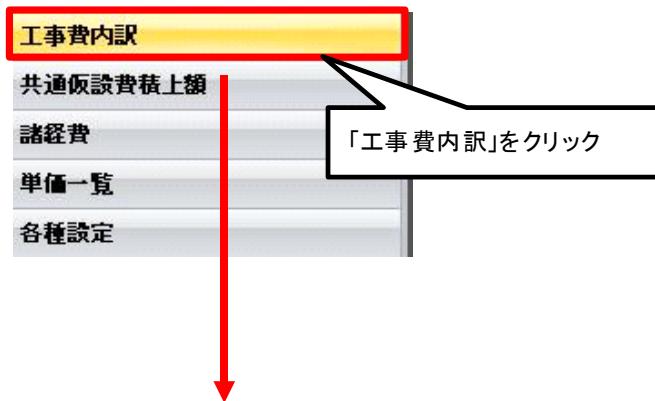
印刷例



## 4.直接工事費の作成

積算条件の設定、表紙の入力が終わりましたら、次は直接工事費を作成します。

工事費内訳画面を開きます。



直接工事費画面が開きます。

## 4-1 設計書画面の機能



### ★ アクションナビの主な機能

**単価検索**：単価検索画面を開きます。

**ユーザ単価**：特殊な単価や代価を保存しておくことができます。

**再計算**：数量や単価を変更したとき、合計金額などを再計算します。

**印刷**：印刷設定画面を開きます。

**保存**：現在の設計書を保存します。

**工事費内訳**：直接工事費や共通仮設費積み上げはここから行います。

**諸経費**：諸経費画面を開きます

**単価一覧**：代価一覧と同様に使われている単価の一覧を表示します。

**各種設定**：表紙や諸経費、端数処理などの設定画面です。

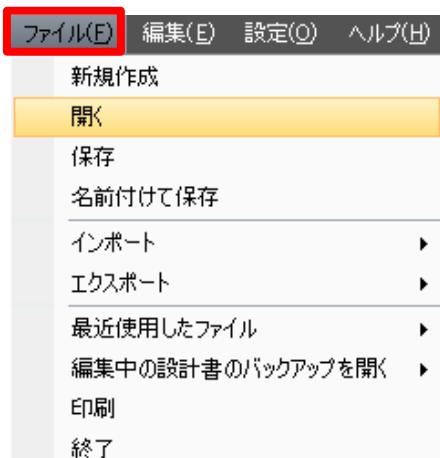
#### 4-1-1 ツールバーの説明

ツールバーには「ファイル」「編集」「設定」「ヘルプ」の4つのメニューがあります。



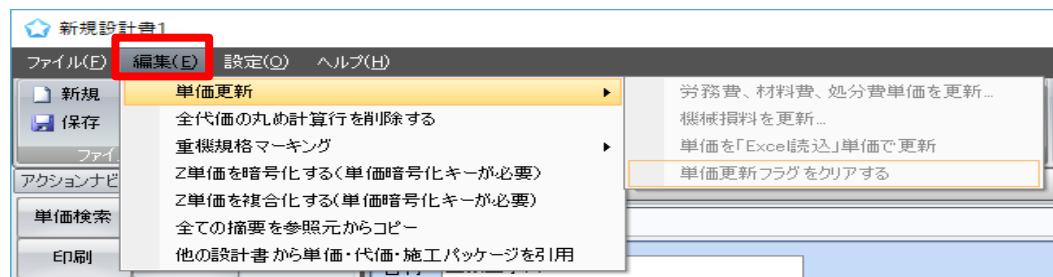
#### ★ ファイルのメニュー

このメニューから保存やCSVファイルの取り込みができます。



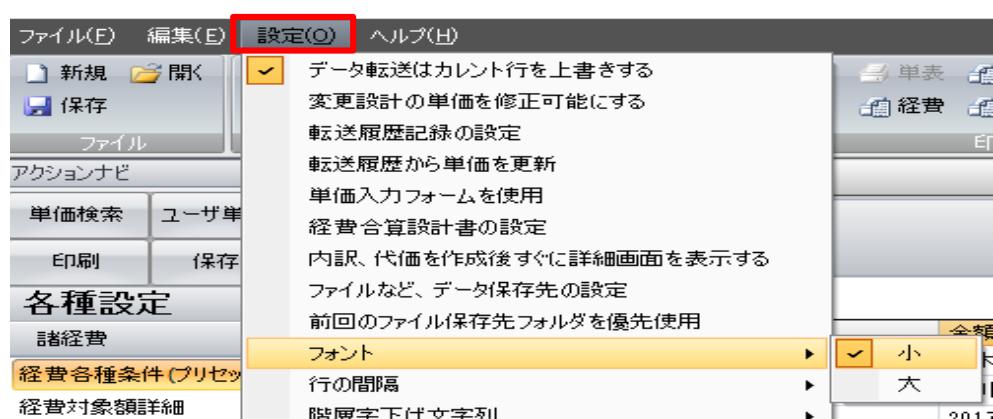
#### ★ 編集のメニュー

単価更新から労務費や機械損料などを更新できます。



#### ★ 設定のメニュー

ファイルなどのデータ保存先の設定変更や、文字のサイズを変更することができます。



## ★ ヘルプのメニュー

頂のホームページへ移動します。



ファイル(F) 編集(E) 設定(O) **ヘルプ(H)**

↓

**agencysoft** 「積算ソフト 頂いいただき」開発元  
エージェンシーソフト

03-5283-9705 (平日9:00~18:00) お問い合わせ  
一般のお客様 官公庁のお客様 会社案内

ホーム 製品情報 値格 よくあるご質問 お知らせ **サポート**

ホーム > サポート

**サポートセンター**  
どんなことでも、お気軽にお問い合わせください。



**無料体験版**  
14日間、気軽にお試しください。サポートあり。  
[無料体験版のご請求](#)

**今すぐ購入**  
分割払い可能。お得意プランあります。  
[積算ソフト頂のご注文](#)

**お電話でのお問い合わせ**  
**03-5283-9707**  
受付時間：平日9:00～18:00

**メールでのお問い合わせ**  
[info@agencysoft.jp](mailto:info@agencysoft.jp)宛のメール、またはお問い合わせフォームをご利用ください。

[お問い合わせフォーム](#)

**よくある質問・お知らせ**

- [「よくある質問」を見る](#)
- [「お知らせ」を見る](#)

**お問い合わせ** **お知らせ一覧**

2019年1月8日 頂ユーザーの皆様へ  
[【お詫びとお願い】プログラム・データ更新ができない事象について](#)

2019年4月22日 お知らせ  
[2019年ゴールデンウィーク休業期間のお知らせ](#)

2019年2月22日 お知らせ

## 4-1-2 コマンドバーの説明

コマンドバーの主な機能をご説明します。



### ・編集



**コピー：切り取り：**

**ツリーを閉じる：**

**貼り付け：**

**上行複製：**現在選択している行のすぐ上の行を複製します。内訳や代価の場合は下位表（明細）も含めて複製します。

### ・印刷



**設計書：**設計書全体を印刷します。

**単表：**選択した内訳表や代価表を印刷します。

**経費：**諸経費を印刷します。

**根拠：**諸経費根拠表を印刷します。

**按分：**按分した設計書を印刷します

**総括情報表：**落札額や請負比率を印刷します。

### ・移動



**行の移動：**設計書内の現在選択している行を上下行に入れ替えることができます。例えば4行目に追加した項目を2行目に移動する場合は、移動したい4行目をクリックして選択された状態(オレンジ色になります)にしてから上向矢印を2度クリックすると2行上がって2行目へ移動します。

**位の移動：**左右の矢印は階層の移動に使います。例えば③階層目の下に新たに階層を作ると、1階層下がって④階層として作成されます。これを上の階層と同じ深さの③階層に変更したい場合などに、④階層目をクリックして選択状態にしてから左向き矢印を1度クリックすると、1段階左に移動して3階層になります。階層の移動はどの時点でも可能です。また、移動する階層の下位にある階層も一緒に移動します。

### ・その他



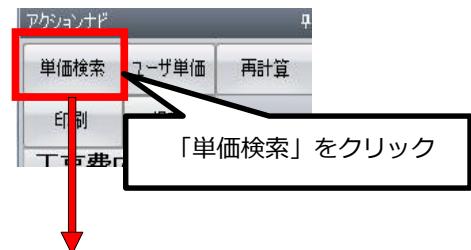
**電卓：**画面上に計算機が表示され、机上に電卓がなくてもパソコン上で計算することができます  
(ただし関数電卓には対応しておりません)

**バージョン情報：**頂のバージョンを確認できます。

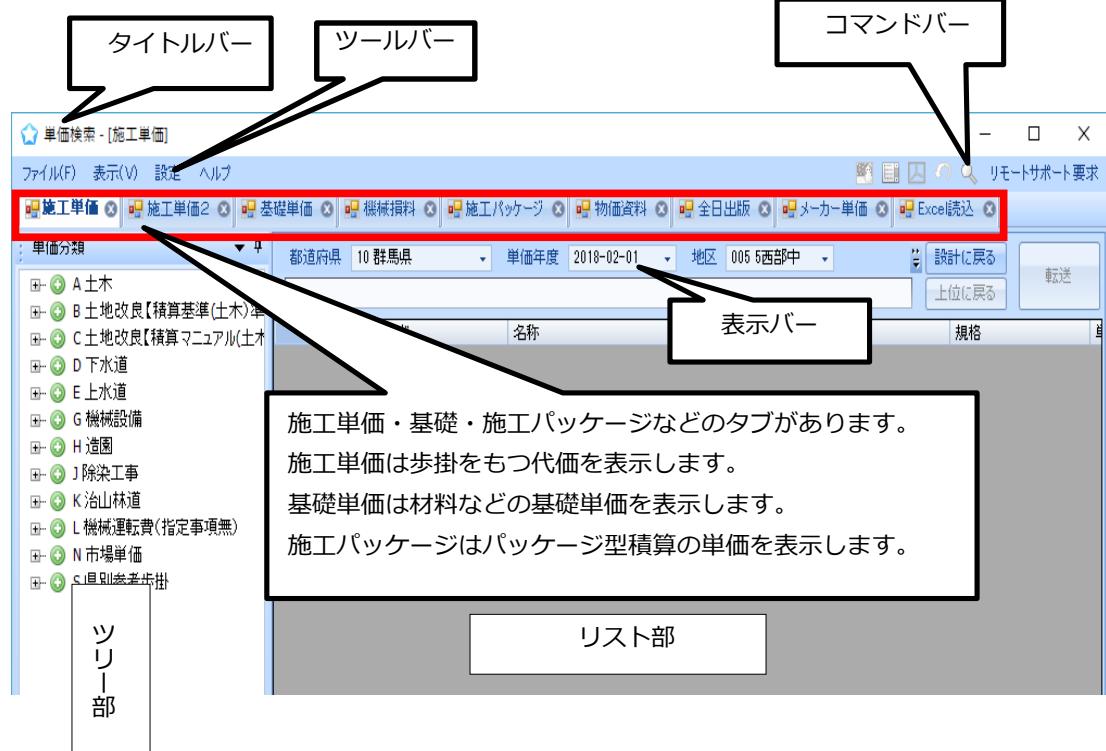
**工事価格表示：**工事費内訳や共通仮設費積上の画面上で工事価格を確認できます。

## 4-2 単価検索画面の機能

単価検索画面を開きます。



単価検索画面が開きます。



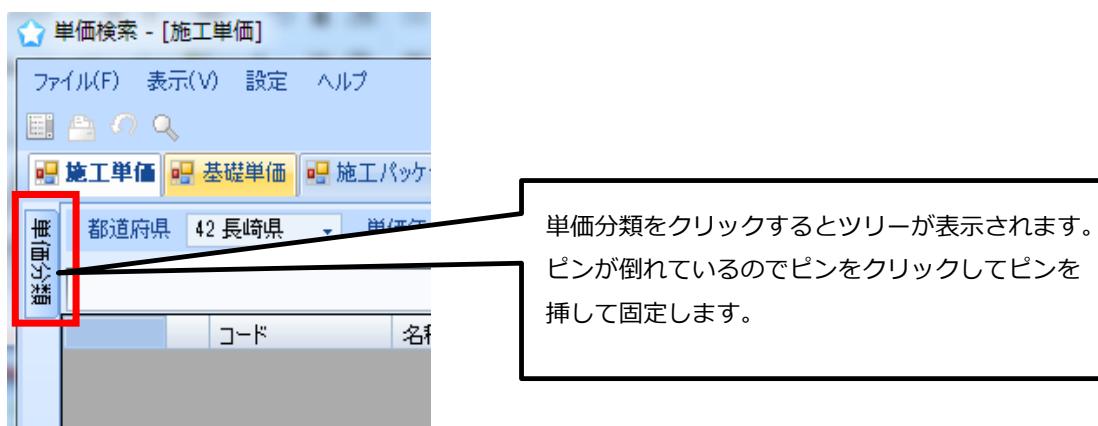
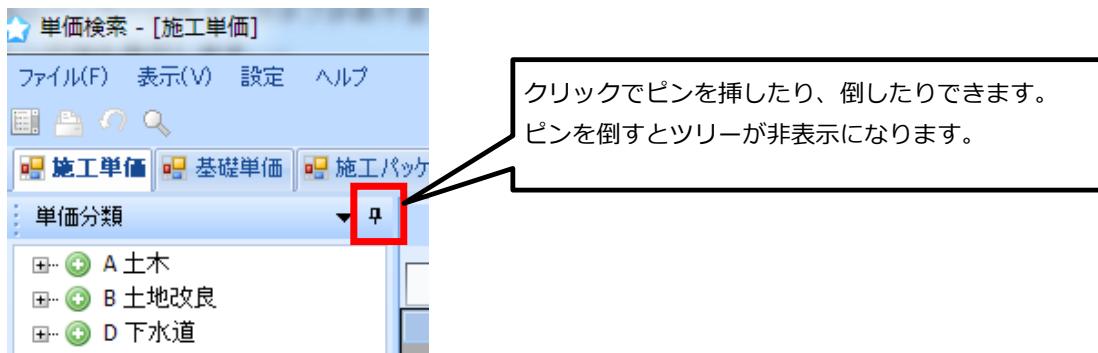
- (1) タイトルバーには「単価検索-[施工単価]」と表示されます。
- (2) ツールバーには作業を補助するメニューが用意されています。
- (3) コマンドバーには4つの作業メニューとリモートサポート要求が用意されています。
- (4) 表示バーには「都道府県名」「単価年度」「地区」「歩掛年度」「豪雪補正」「被災地補正」が表示されます。  
地区リストはヘルプから閲覧できます。正しく積算するためにはこれらを正しく設定していただく必要があります。
- (5) 「施工単価」は代価（標準歩掛）を、「基礎単価」は材料や労務単価などの下位表を持たない基礎単価をそれぞれ表示します。「施工パッケージ」は施工パッケージの単価を表示します。
- (6) リスト部はツリー部で選択した代価や単価を表示します。

#### 4-2-1 クリップ機能

ツリーの表示を固定（表示）、非表示にすることができます。

■ ピンを挿している状態 →ツリーが固定される

■ ピンを倒した状態 →ツリーが非表示



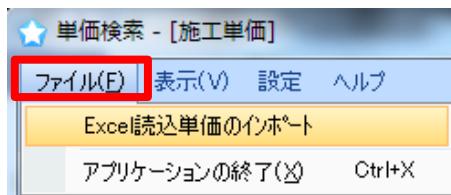
## 4-2-2 ツールバーの説明

ツールバーには「ファイル」「表示」「設定」「ヘルプ」の4つのメニューがあります。



### ★ ファイルのメニュー

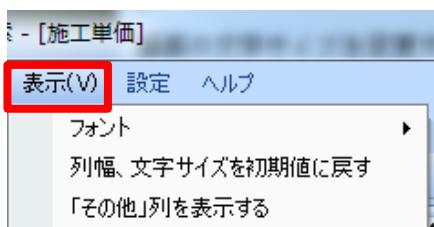
Excel 読込単価をインポートするときに使います。



### ★ 表示のメニュー

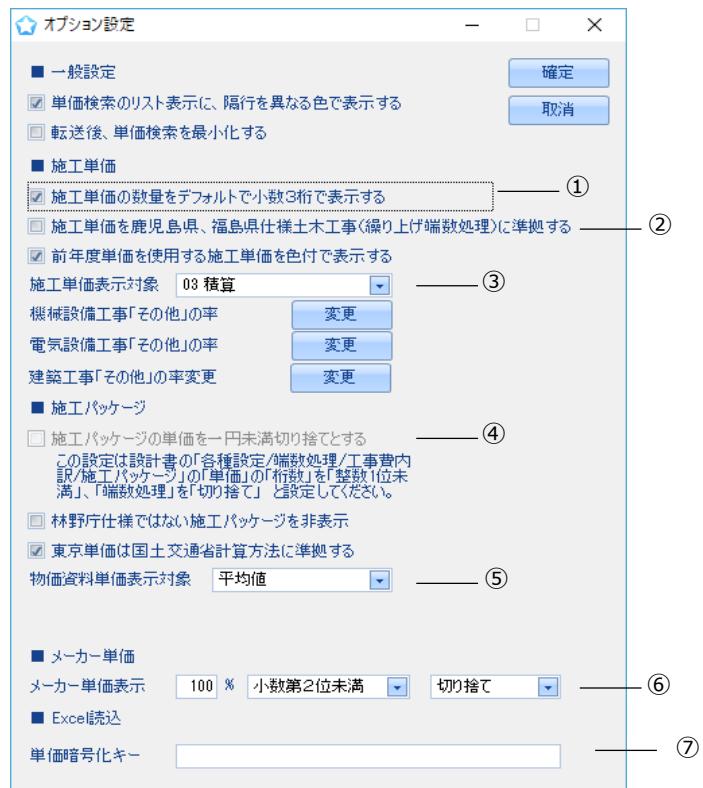
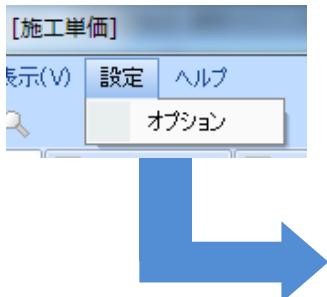
文字サイズの「大」と「小」が選択できます。列幅や文字サイズを初期値に戻します。

リスト部に「その他」列を表示させます。



## ★ 設定のメニュー

オプション設定が選択できます。



① 代価数量を3桁表示にします。（初期設定は2桁表示です）

② 鹿児島県、福島県のユーザ用の設定です。

③ 施工単価表示対象：「土木」「積算」「管工事」「公園工事」が選択できます。

（総合積算を契約しているお客様のみ選択可能です。）

④ 施工パッケージ単価を切り捨てにする設定です。

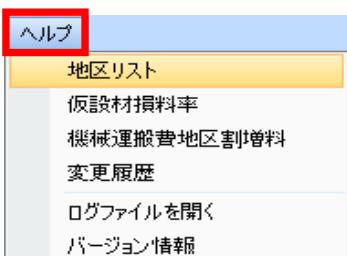
⑤ 「物価資料」の単価の表示方法の設定ができます。※詳しくはP120をご覧ください。

⑥ 単価検索のメーカー単価を自由に変更できます。

⑦ Excelで暗号化して作成した独自単価を表示させる際に必要なキーを入力する欄です。  
(発注者用機能)

## ★ヘルプのメニュー

地区リストを開きます。工事場所の地区番号がわからない時に地区リストで確認できます。



#### 4-2-3 コマンドバーの説明

コマンドバーの主な機能をご説明します。



**夜間・通勤・冬期補正**：夜間工事等の補正を行う際に使用します。

※詳しくは81ページ～を参照してください



**全てのツリーを閉じる**：

作業しているうちにツリー部分が長く展開して、目的のコードや工種が見つけにくくなることがあります。

このアイコンをクリックするとすべてのツリーが閉じて最初の状態に戻ります。



**印刷**：代価表を印刷するときに使います(色がついていないときは印刷できません)



**ジャンプ元に戻る**：E上水道工事のツリー内に、水道実務必携に単価表及び端数調整の諸雑費行がない工種があります。その工種はツリー内の〇〇“には作成せず”70 歩掛(2)”にまとめてあります。ツリー内の〇〇でそのような工種を選択した場合、“70 歩掛(2)”の代価表を表示するジャンプ機能があります。

【例】 上水道工事で E-6-1 布設工・総経費行なし →★E-70-6-1

などの表現があるとき、ダブルクリックするとE-70-6-1 にジャンプして”70 歩掛け(2)”にあるその代価表を表示します。そのときツリー部もE-70-6-1付近を表示します。当該代価表を張り付けた後、【ジャンプ元に戻る】をクリックすると、ツリー部の表示が元のE-6-1 に戻ります。



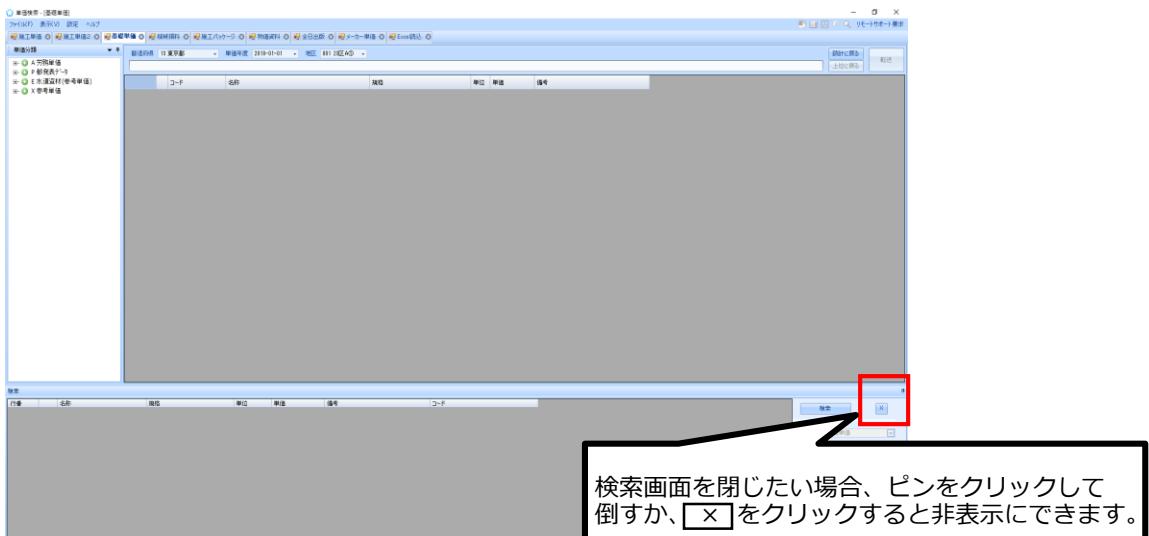
**検索**：ツリー部から目的の代価や単価が見つからない時に、工種名などから検索することができます。

アイコンをクリックすると単価検索システム画面の下に検索用画面が表示されます。

#### 補足説明

- (1) 現在選択しているタブの中から検索をします。歩掛けを検索する場合は「施工単価」のタブを選択してから検索をし、労務単価や材料などを検索する場合は「基礎単価」のタブを選択してください。
- (2) 検索用画面にもクリップ機能がありますのでピンで検索用画面を固定表示にしておくことができます。

(3) スペースキーの活用。舗装「スペース」切断と入力すると文字が離れていても検索できます。  
この例では舗装版切断も表示されます。



**リモートサポート要求**：単価検索画面からリモート操作を要請するときに使います。  
※インターネット環境が必要です。

#### 4-2-4 表示バーの説明

表示バーの主な機能をご説明します。



都道府県 22 静岡県 単価年度 2019-04-01 地区 012 富士212 歩掛年度 2019 機械損料年度 2018-07-01 ☐ 豪雪 ☐ 被災地 戻る 上位に戻る 転送

**都道府県ボックス**：ご契約の都道府県が表示されています。

**単価年度ボックス**：労務費や資材などの基礎単価の年度を表示しています。スタートメニューの「データ更新」から更新をすると単価年度ボックスに更新された月が追加されます。

**地区ボックス**：生コンや碎石など都道府県で地区ごとに公表している単価があります。お使いの県で区分している地区に分類してありますので、当該工事の地区に合わせて選択してください。

市町村名と地区との関係が不明の時は、ツールバーの「ヘルプ」→「地区リスト」の順でクリックします。表示されるエクセルシートの一覧表から確認してください。

**歩掛年度ボックス**：歩掛年度を表示しています。

**機械損料年度ボックス**：機械損料年度を表示しています。

**豪雪補正ボックス**：機械損料の豪雪補正を設定します。全県が豪雪補正地区に指定されている場合は初期設定でチェックが入っていますが、県内で豪雪地区に該当しない地区がある場合はチェックが入っていません。その場合は積算を開始する前にチェックを入れる必要があります

**被災地補正ボックス**：国土交通省の被災地の歩掛を使用する場合はチェックを入れて下さい。

**上位に戻る**：現在のツリーの位置からひとつ前のツリー画面に戻ります。

**転送**：単価検索のデータを設計書へ転送し貼り付けます。

#### 補足説明

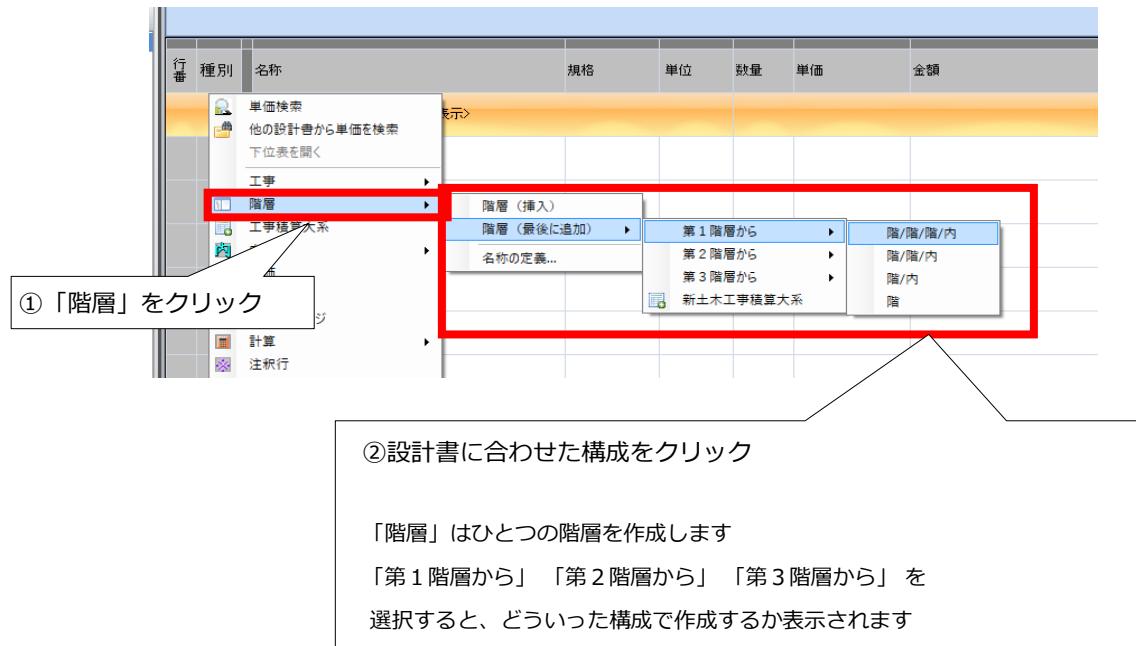
- (1) 歩掛は毎年変更されますが、いつの時点で新しい歩掛を採用するかは発注官庁によってまちまちです。新年度になって労務費や資材単価は新年度単価を採用しても、歩掛と機械損料はしばらく昨年度分を使用しているのが現状です。
- (2) 頂では機械損料は単価年度ではなく歩掛年度に連動しています。新年度になつても歩掛と機械損料は旧年度という場合は、歩掛年度を前年度、単価年度は新年度4月に設定すれば対応できます。

## 5.階層の作成

階層を作成するには、「任意に作成」する方法と「工事積算大系」を利用する方法があります。

### 5-1 任意に階層を作る場合

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。



選択した構成の「階層」が作成されました。

The screenshot shows the 'Construction Cost Internal Account' table. The table has columns: 行番 (Line No.), 種別 (Type), 名称 (Name), 規格 (Specification), 単位 (Unit), 数量 (Quantity), and 単価 (Unit Price). There are four rows:

行番	種別	名前	規格	単位	数量	単価
1	①	〈新規階層〉		式	1	
2	②	〈新規階層〉		式	1	
3	③	〈新規階層〉		式	1	
4	内	〈新規内訳〉		式	1	

A callout box labeled ③ points to the 'Name' column of the fourth row with the text: ③名前を任意のものに編集します.

## 5-2 工事積算大系を使用する場合

国土交通省の工事積算大系を選択できます。  
直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。

① 工事積算大系をクリックします。

工事積算大系の選択画面が出てきます

④ 最下位レベルの貼り付け時に 階層・内訳・代価から該当するものを 選択してください。

② 使用するタブをクリックします

こちらで階層などを確認できます

③ 使用したい項目にチェックを入れます

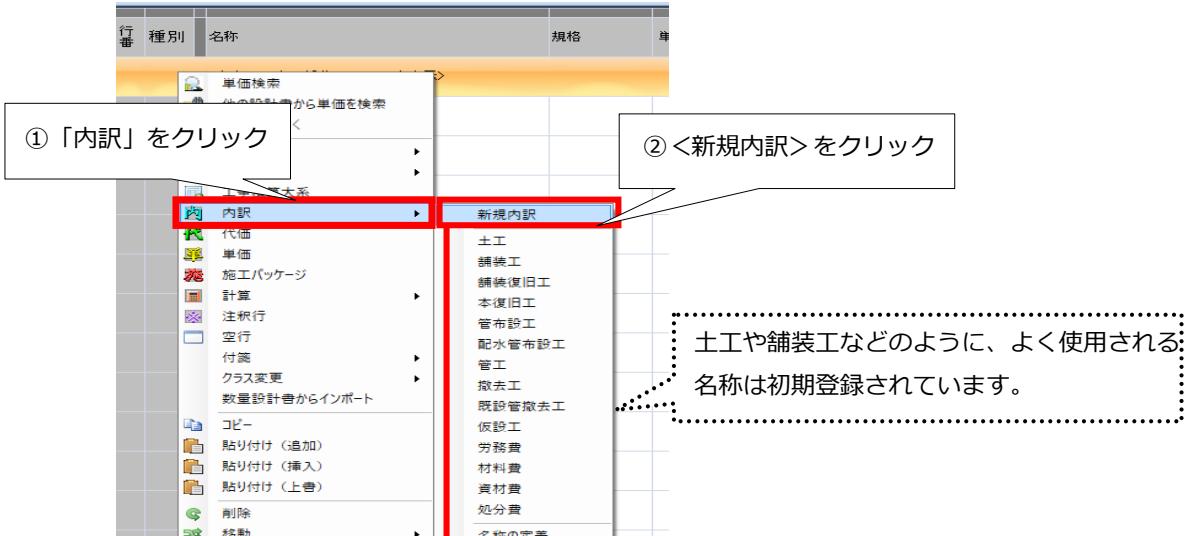
⑤ 「転送」をクリックします

選択した工事積算大系が設計書に転送されました。  
一度に複数の項目も転送できます。  
(転送したいすべての項目にチェックを入れて、転送してください)

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)  
新規 開く コピー 切り取る ツリーを開じる  
保存 削除 貼り付け 上行挿入  
印刷 リポート 設計書 印刷  
単価検索 ユーザ単価 再計算  
印刷 保存  
工事費内訳  
直接工事費  
名前: 直接工事費  
合計  
行番 種別 名称 規格 単位 数量 単価 金額 摘要  
1 ① 路堤・護岸 式 1  
2 ② 河川土工 式 1  
3 ③ 挖削工 式 1  
4 ④ 挖削 式 1

## 6.内訳の作成

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。



内訳が作成されました。

③名称を変更します。  
名称をダブルクリックするか、  
キーボードの F2 ボタンで編集できます。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1	内	<新規内訳>					

内訳の明細 (下位表)を作成します。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1	内	<新規内訳>					

④内訳の明細 (下位表)を作成します。  
行番部分をダブルクリックで「下位表」へ移ります。  
もしくは右クリックからメニューbaruを開き「下位表を開く」を  
クリックでも同じように下位表へ移ります。

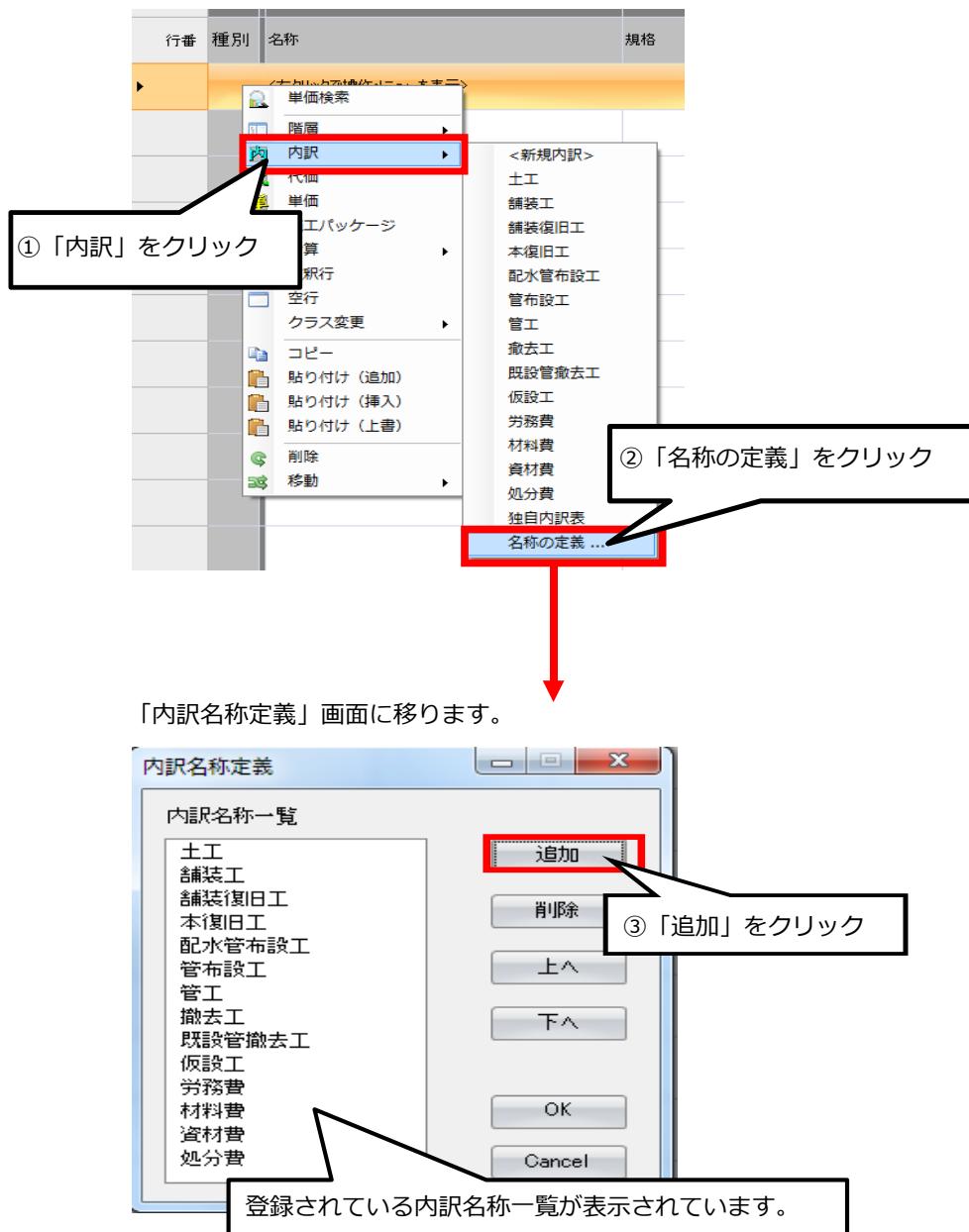
下位表へ移りました。 内訳の内容を編集します。

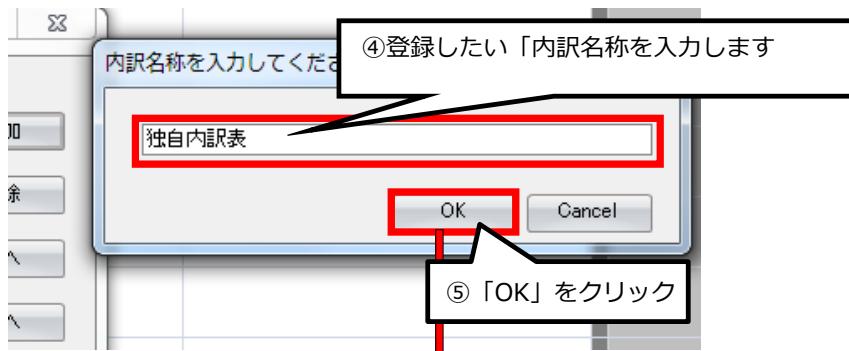
行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
		<右クリックで操作メニュー>						

## 6-1 内訳名称を作成して登録する

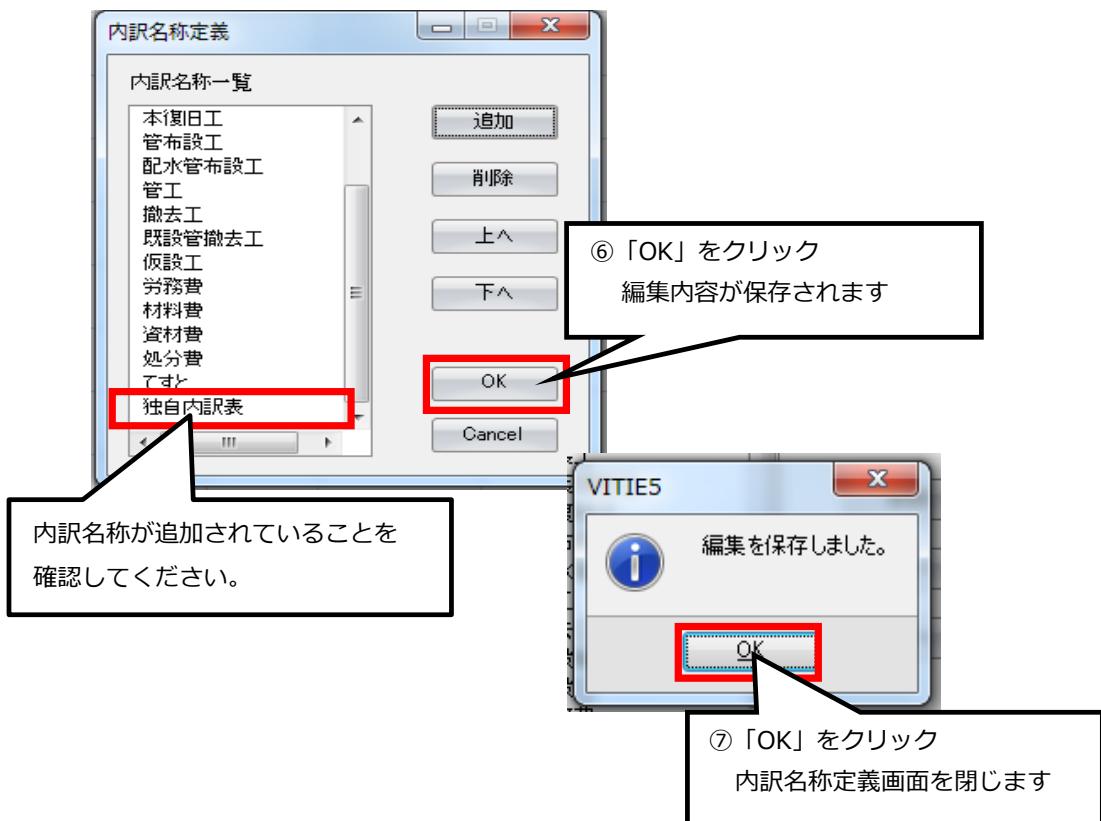
ユーザが自由に内訳の名称を登録することができます。

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。





内訳名称一覧に追加登録されます。



#### 補足説明

- (1) 削除する場合は、内訳名称一覧から削除名称をクリックし「削除」をクリックします。
- (2) 名称をクリックし「上へ」「下へ」で名称一覧での位置を編集できます。  
(例：よく使用するものは上に、使わないものは下に)

## 7.新規代価（単価）の作成

標準代価の中にはない歩掛は新規代価として作成します。

新規代価を作りたい行の名称欄を右クリックで操作メニューを呼び出します。

The screenshot shows the 'Direct Work Cost' entry screen. A context menu is open over the fifth row, which contains the item 'NS継手接合 直管'. The menu items include '単価検索', '階層', '変換', '代価' (which is highlighted with a red box), '施工パッケージ', '計算', and '注釈行'. A callout box with the text '①右クリックで操作メニューを呼び出し、「代価」をクリックします。' points to the '代価' option in the menu.

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	配水管工事		式	1	
2	②	配水管布設				
3	③	配水管布設(A地区)				
4	代	鉄管吊込据付(機械)	100mm	m	100	1,139
5	代	NS継手接合 直管	100mm	口	20	1,934

選択した行に「新規代価」ができます。（「単価」を選択すると「新規単価」ができます）

The screenshot shows the 'Direct Work Cost' entry screen with a new row added at the bottom. The new row is highlighted with a red box and contains the text '<新規代価>'. The columns for '規格', '単位', '数量', and '単価' are also highlighted with red boxes and show the value '0'.

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	配水管工事		式	1	
2	②	配水管布設		式	1	
3	③	配水管布設(A地区)		式	1	
4	代	鉄管吊込据付(機械)	100mm	m	100	1,139
5	代	NS継手接合 直管	100mm	口	20	1,934
6	代	<新規代価>		式	0	0

ここで新しい代価の名称と単位及び数量を入力します。（単価の場合はここで名称・規格・単位・数量・単価を直接入力します）

ここでは名称を「仮管布設工」、単位を「m」、数量を「15」と入力してみます。

直接工事費

直接工事費

名称: 直接工事費

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	①	配水管工事		式	1	
2	②	配水管布設				
3	③	配水管布設(A地区)				
4	代	鋳鉄管吊込据付(機械)	φ100mm	m	100	1,139
5	代	NS継手接合 直管	100mm	□	20	1,934
6	代	仮管布設工		式	15	0

②名称欄をクリックし、名称を入力します。  
(ここでは「仮管布設工」)

③単位欄をクリックし、プルダウンメニューから  
単位を選択します。(ここでは「m」)  
プルダウンメニューがない場合はキーボードから  
入力することもできます

④行番の上をダブルクリック、または右クリックで  
操作メニューから「下位表を開く」を選択します。

仮管布設工の下位表（代価詳細）に移動しました。

まず積算数量を「10」に変更し、代価を作成します。（10m当たりや100m当たりなどで作成する場合に必ず設定する必要があります。初期設定では「1」になっています）

10m当たり普通作業員2.0人及び諸雑費を労務費の5%として作成してみます。

単価検索を利用して基礎単価の普通作業員を貼り付けます。

番	規格	単位	数量	単価	金額
1	普通作業員	人	2	18,300	36,600

次に任意計算「労務費の5%」の式を作ります。

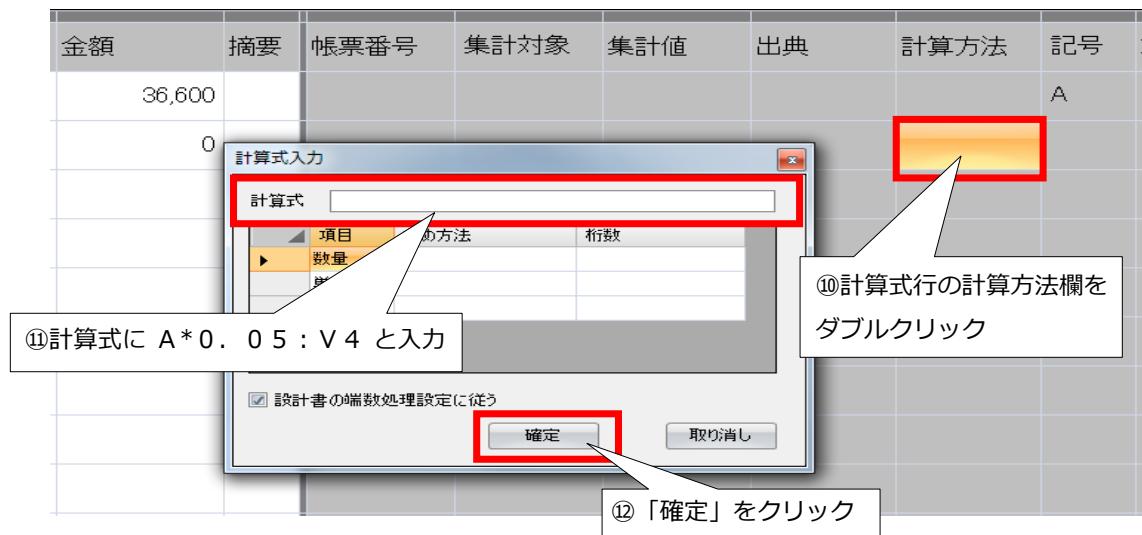
記号欄をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。（ここでは「A」を選択）

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	手	普通作業員		人	2	18,300	36,600							
2	式	計算式		式	1		0							A

⑨記号欄をクリックし、プルダウンメニューから「A」を選択します

続いて計算方法欄をダブルクリックし、計算式入力画面を開きます。

ここでは「計算式」に  $A * 0.05 : V4$  と入力。



計算式行の金額欄に計算された金額「1,830」が入りました。

金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
36,600							A
1,830						A*0.05:V4	

仮管布設工の代価が完成です。

直接工事費 代価詳細														
直接工事費 > 配水管工事 > 配水管布設 > 配水管布設(A地区) > 仮管布設工														
名称 仮管布設工			帳票番号 代価第3号		コード UHM9VR									
規格			積算数量		10		単位 m							
行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	手	普通作業員		人	2	18,300	36,600						A	
2	式	計算式		式	1		1,830						A*0.05	

## 補足説明

- (1) A \* 0. 0 5 は記号Aの付いた金額の5%を意味しています。
- (2) 代価表の合計金額を有効数字4ヶタで切り捨てて丸めたい場合は：V 4と入力します。  
(有効数字4ヶタで丸める必要がない場合は不要です)
- (3) 代価表の合計金額を有効数字4ヶタで切り上げて丸めたい場合は、「諸雑費（有効4桁丸め）国交省、厚生省」を選択します。
- (4) 有効数字4ヶタとは高位の数字から4ヶタで、例えば「5 3 4 , 8 2 9 円」の場合は上から4ヶタは「5 3 4 8 …」となり百円単位で丸めることになります。  
切り下げの場合は「5 3 4 , 8 0 0 円」となり、切り上げの場合は「5 3 4 , 9 0 0 円」となります。
- (5) 作成した代価を今後も利用する場合は、ユーザ単価に保存しておくことができます。

## 計算方法を使用した割増と割引【例】

- ① 労務費（普通作業員）と機械経費（コンクリートカッタ運転）の合計額の5 6 %増しの場合

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	人	普通作業員		人	0.42	18,300	7,686	100/C1 (C1=240)					B	
2	代	コンクリートカッタ運転[バキューム式]	切削深20cm級	日	0.42	28,340	11,902	100/C1	代価第5002号				E	
3	人	★コンクリートカッタ(フレード)	径22インチ	枚	0.21	81,500	17,115						A	
4	式	計算式		式	1		10,969						(B+E)*0.56	

①右クリックで操作メニューから  
「計算」内の「任意計算」を選択します

②記号欄をクリックし、普通作業員は「B」、  
コンクリートカッタ運転は「E」を選択

③計算式に (B + E) \* 0. 5 6 と入力

- ② 労務費と機械経費の合計額の2 0 %引きの場合

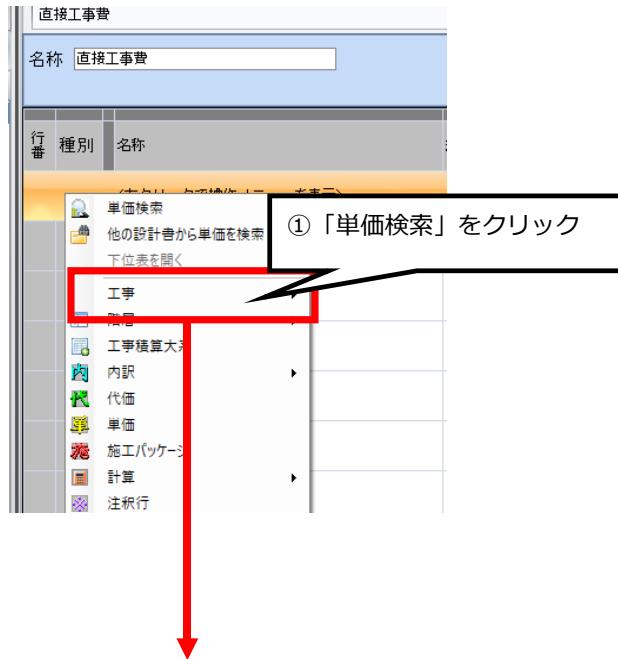
行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値	出典	計算方法	記号
1	人	普通作業員		人	0.42	18,300	7,686	100/C1 (C1=240)					B	
2	代	コンクリートカッタ運転[バキューム式]	切削深20cm級	日	0.42	28,340	11,902	100/C1	代価第5002号				E	
3	人	★コンクリートカッタ(フレード)	径22インチ	枚	0.21	81,500	17,115						A	
4	式	計算式		式	1		-3,917						-(B+E)*0.2	

①右クリックで操作メニューから  
「計算」内の「任意計算」を選択します

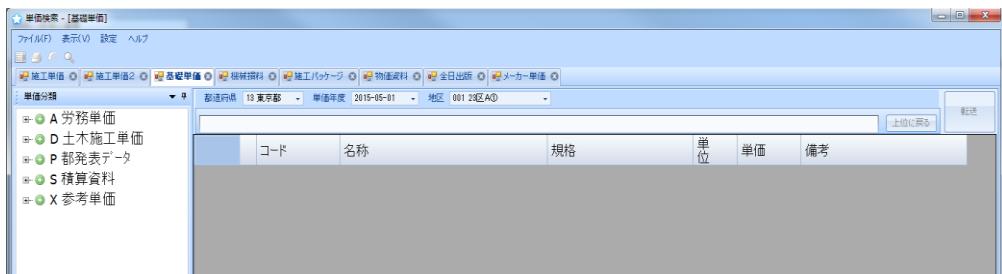
②記号欄をクリックし、普通作業員は「B」、  
コンクリートカッタ運転は「E」を選択  
③計算式に - (B + E) \* 0. 2 と入力

## 8.単価検索からの単価の転送

直接工事費画面にて、右クリックで操作メニューを呼び出します。



単価検索画面が表示されますので、利用したい単価を選択します。



## 8-1 基礎単価の場合（材料や労務単価）

- ①「基礎単価」のタブをクリックします。
- ②利用したい単価をクリックします。
- ③「転送」をクリックします。

③「転送」をクリック

②利用したい単価をクリック

行番	名称	規格	単位	単価
1	P01201200010	D5 400×6m	本	108,000
2	P01201200020	D5 450×6m	本	131,000
3	P01201200030	D5 500×6m	本	157,000
4	P01201200040	D5 600×6m	本	214,000
5	P01201200050	D5 700×6m	本	252,000
6	P01201200060	DB種 300×6m	本	74,300
7	P01201200070	DB種 350×6m	本	86,800
8	P01201200080	DA種 600×6m	本	227,000
9	P01201200090	DA種 700×6m	本	266,000

設計書に単価が追加されますので数量を入力します。

④数量を入力します

直接工事費						
名称 直接工事費						
行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	単	ダクトイル鉄管 内面モルタル GX形1種	外面標準 径75mm×長4m 75.0kg	本	0	22,500

## 8-2 施工単価の場合

施工単価は、基礎単価と違い代価で構成されています。  
単価が表示されていますが、このままでは転送できません。

コード	名称	規格	単価	備考
1	小型バックホウ掘削積込	山積0.08m <sup>3</sup> [平積0.06] m <sup>3</sup>	2,403	{SUU「水道事業業務必携」二編-1章-1節-1}
2	小型バックホウ掘削積込	山積0.13m <sup>3</sup> [平積0.1] m <sup>3</sup>	2,278	{SUU「水道事業業務必携」二編-1章-1節-1}

下位表（明細表）に移りました。

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記	算	式	備考
1	Y00000000002...	土木一般世話...	人	2.4	21,900	52560	B			
2	Y00000000000...	普通作業員	人	6.4	18,400	117760	B			
3	E-1-1-1-1-1	小型バックホウ運...	山積0.08m <sup>3</sup> [...	2.326	30,060	69919	E			100/43
4	Y0000001000...	諸経費	式	1	61	61	D	*	U4	端数処理

設計書に代価が追加されます。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
1	小型バックホウ掘削積込	山積0.08m <sup>3</sup> [平積0.06]	m <sup>3</sup>	0	2,403	0		

## 8-3.施工パッケージについて

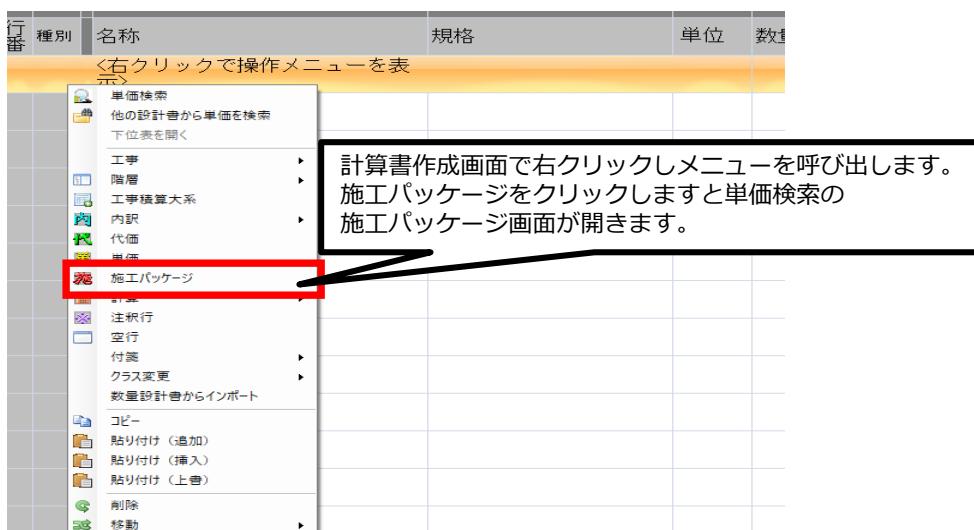
設計書で使用されている舗装版切断や床掘りなどの中には、  
新しい積算方式である「施工パッケージ」が導入されているものがあります。

### 8-3-1 施工パッケージの検索

★単価検索から施工パッケージを検索する場合



★設計書作成画面から施工パッケージを検索する場合



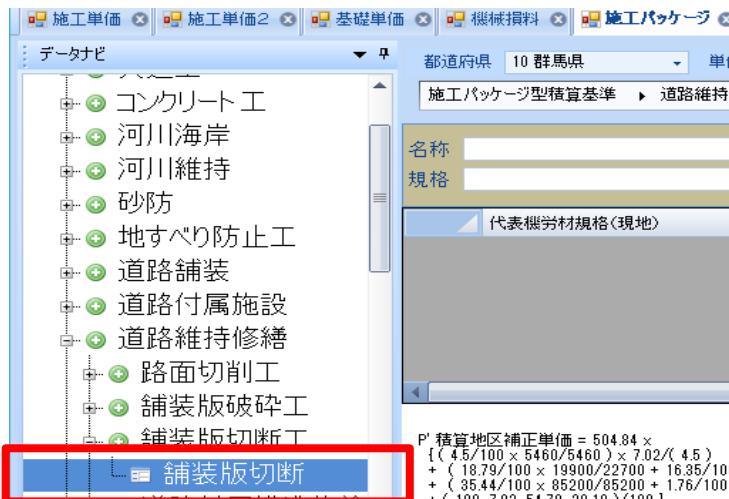
単価検索の施工パッケージ画面に移動しました。

施工単価や基礎単価と同じように使用する、単価年度と地区、適用年度、施工パッケージ年度（施工P年度）を設定します 適用年度によって施工パッケージの構成比が変わります



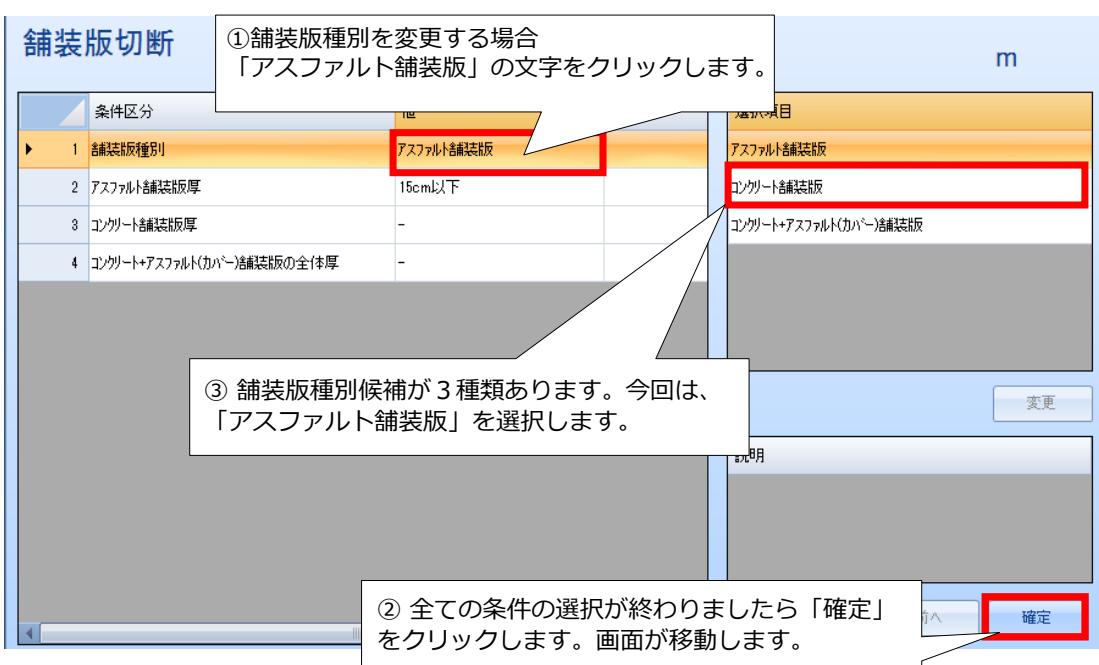
施工パッケージの舗装版切断を検索してみます。

道路維持修繕→舗装版切断工→舗装版切断をクリックし進みます。



舗装版切断までクリックし進むと条件入力画面が表示されます。

設計書を見ながら施工パッケージの条件を選択します。



施工パッケージの計算結果が表示されます。

④ 歩掛と同じように中身を確認し、右上の  
転送ボタンをクリックし、設計書に転送します。



The screenshot shows a software interface for construction cost estimation. At the top, there are dropdown menus for '都道府県' (Prefecture) set to '群馬県', '単価年度' (Price Year) set to '2018-02-01', '地区' (Region) set to '001 塚原', '施工P年度' (Construction P Year) set to '2017-04-01', and '機械損耗年度' (Machine Wear Year). To the right of these are buttons for '設計に戻る' (Return to Design), '上位に戻る' (Return to Higher Level), and a large blue '転送' (Transfer) button, which is highlighted with a red box. Below this header, a navigation bar shows '施工パッケージ型積算基準' → '道路維持修繕' → '舗装版切断工' → '舗装版切断'. The main area displays a table of cost items:

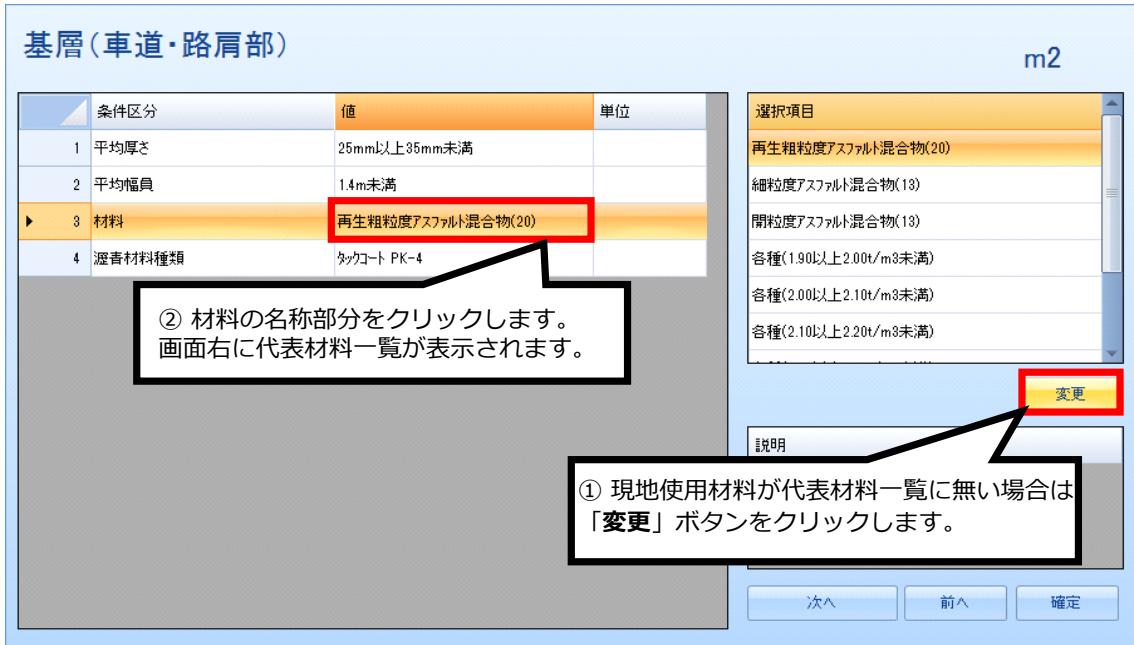
名称	帳票番号	コード	標準単価			
舗装版切断	施工第2号	UeacLM-SAP207	504.84			
規格	アスファルト舗装版,15cm以下,--	条件変更	単位	積算単価	479.7	
		m				
<b>代表機労材規格(現地)</b>	<b>単位(現地)</b>	<b>構成比</b>	<b>単価(現地)</b>	<b>コード</b>	<b>代表機労材規格(東京)</b>	<b>単位(東京)</b>
K 機械	-	7.02				-
K1 コンクリートカッタ[バキューム式・湿式] 切削刃深20cm級 ブレード... 供用日		4.5	5,460	M116101402040	コンクリートカッタ [バキューム... 供用日	
R 労務	-	54.79				-
R1 特殊作業員	人	18.79	19,900	Y0000001624	特殊作業員	人
R2 普通作業員	人	18.35	18,400	Y0000001625	普通作業員	人
Z 材料	-	38.19				-
Z1 コンクリートカッタ-ブレード 56cm	本	35.44	85,200	Y0000001471	コンクリートカッタ (ブレード... 本	
Z2 ガソリン レギュラー 燃料	L	1.76	128	Y0000000275	ガソリン レギュラー スタンド L	

### 8-3-2 施工パッケージの材料を変更する方法

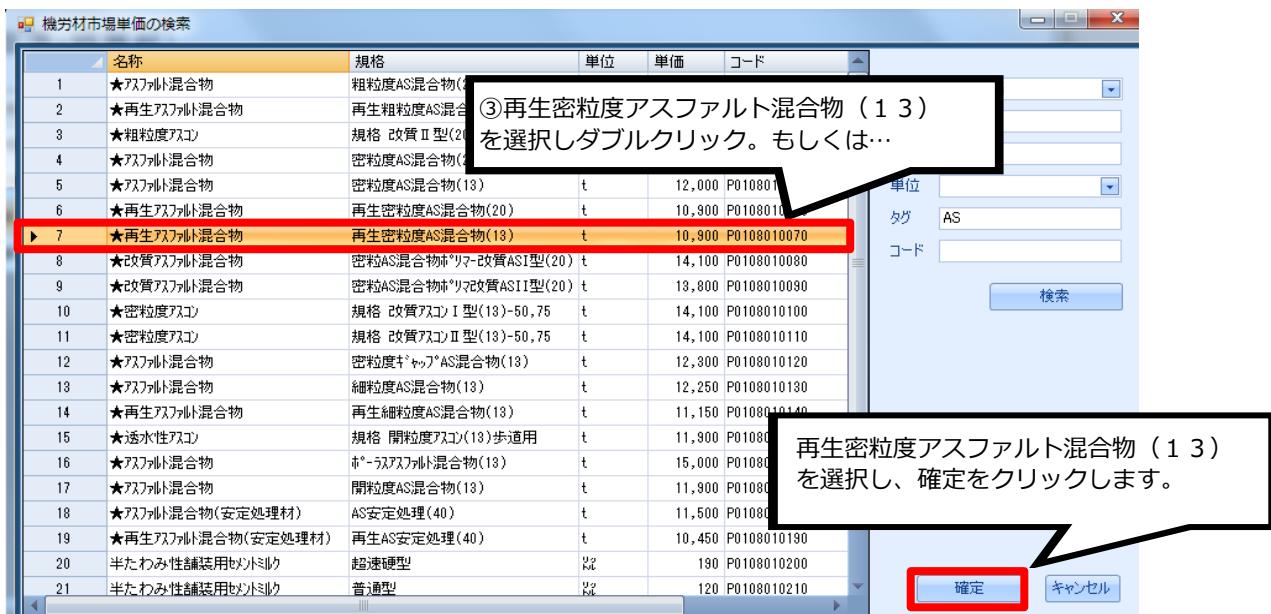
(代表機労材規格一覧に記載がない規格を積算する場合)

#### 「アスファルト舗装工」

再生粗粒度アスファルト混合物（20）を再生密粒度アスファルト混合物（13）に変更。



使用材料の候補一覧画面に移動します。



(注意点) アスファルト混合物を変更する場合は、同一の「標準締固め後密度」を採用しているアスファルト混合物の標準単価や機労材構成比を準用する必要があります。

選択した材料に変更されます。

ここでは、再生粗粒度アスファルト混合物（20）から再生密粒度アスファルト混合物（13）に。

**基層(車道・路肩部)**

m2

条件区分	値	単位
1 平均厚さ	25mm以上35mm未満	
2 平均幅員	1.4m未満	
▶ 3 材料	★再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13) t	
4 漆青材料種類	タックコート PK-4	

④条件選択が完了したら、最後に「確定」ボタンをクリックします。

⑤選択した条件で施工パッケージを計算し、積算単価が表示されます。  
転送ボタンをクリックすると設計書に転送されます。

都道府県	11 埼玉県	単価年度	2016-04-01	地区	001 県南	適用年度	2015-10-01	機械機料年度	設計に戻る	上位に戻る	転送
施工パッケージ型積算基準 → 道路維持修繕 → 講装版切断工 → 講装版切断											
名称	基層(車道・路肩部)	帳票番号	施工第1号	コード	UUz3eM-P171_1	標準単価	1,700.0	単位	m <sup>2</sup>	積算単価	1,837
規格	25mm以上35mm未満,1.4m未満★再生アスフ	条件変更									
代表機労材規格 (現地)				単位 (現地)	構成比	単価(現地)					
K	機械	-		0.65							
K1	振動ローラ (舗装用) [ハンド・ガバ・式] 質量 0.5～...	供用日		0.37		1,360					
K2	振動コンパクタ[前進型] 質量 40～60kg	供用日		0.19		312					
R	労務	-		54.87							
R1	特殊作業員	人		24.59		21,400					
R2	普通作業員	人		17.13		19,000					
R3	土木一般世話役	人		5.19		21,900					
Z	材料	-		44.48							
▶ Z1	★再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	t		42.07		10,900					
Z2	★アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	㍑		2.18		91					
Z3	★ガソリン レギュラー	㍑		0.16		100					
Z4	★軽油 1. 2号	㍑		0.04		88					

## 9.行の削除

削除したい行を選択し、右クリックで操作メニューを呼び出します。



選択した行が削除されました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
▶ 1	機械	管路埋戻費(機械埋戻) 砂 口ス率+0.11	小型バックホウ山積0.13m³[平積0.10]	m³	20	2,423	48,460

### ★複数行削除する場合

例. 行番 1 ~ 3 を削除する

行番 1 にカーソルを合わせクリックします。shift キーを押しながら行番 2 ・ 行番 3 をクリックします。

または行番 1 を指定（左クリック）した状態で行番 2 → 行番 3 へカーソルを移動させると複数行選択できます。

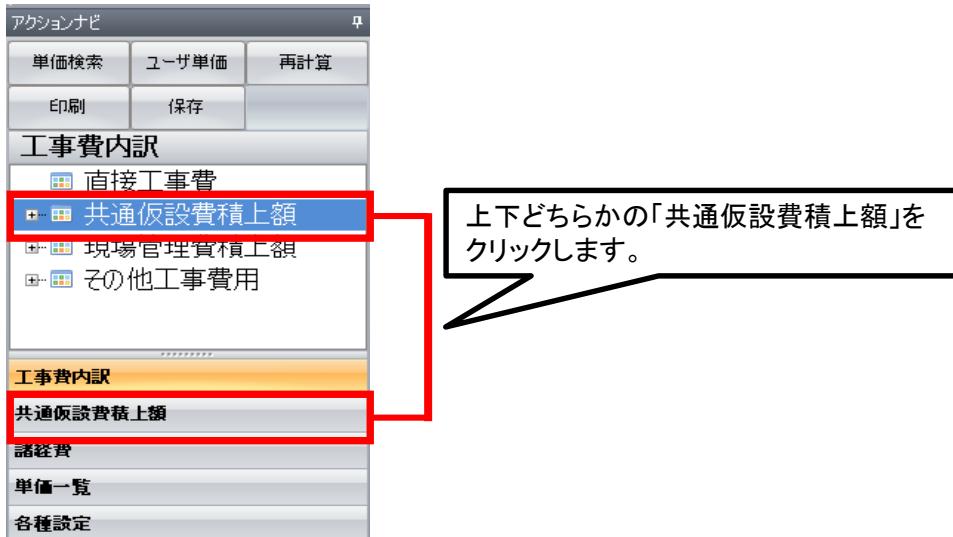
範囲指定された行はオレンジ色に着色されます。右クリックで操作メニューを呼び出し、

「削除」をクリックします。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1	機械	小型バックホウ掘削積込	山積0.08m³[平積0.06]	m³	10	2,288	22,880
2	機械	鉄管吊込据付(機械)	75mm以下	m	5	1,038	5,190
▶ 3	機械	路盤工(施工幅18m未満)	碎石(C-40) 厚10cm	m²	15	758	11,370

## 10.共通仮設費積上額の入力

直接工事費画面にて、共通仮設費積上額画面を開きます。

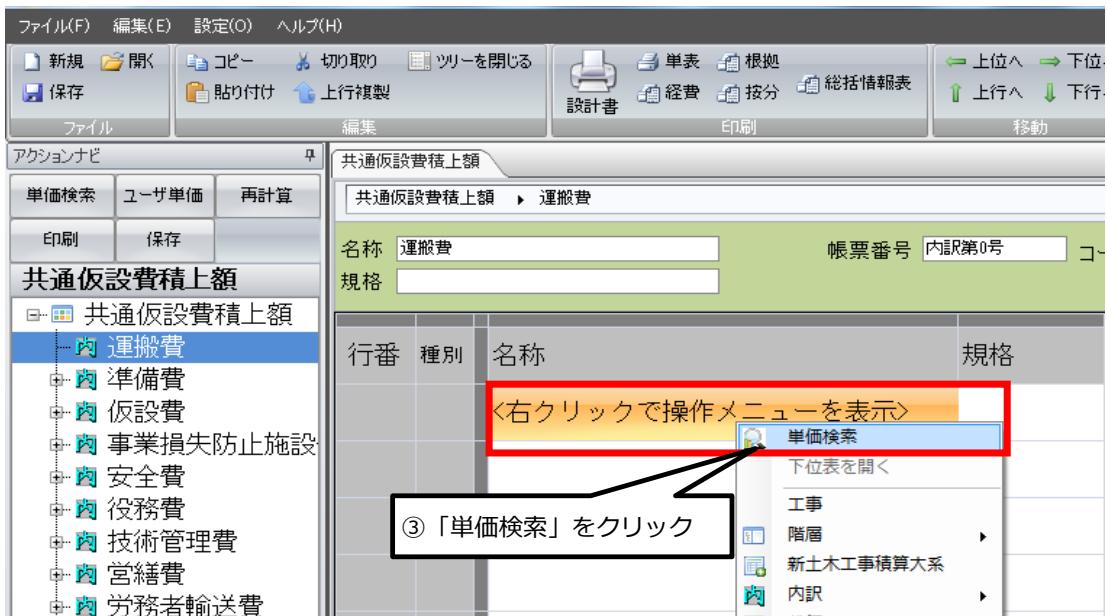


共通仮設費の各種積み上げ項目が表示されます。

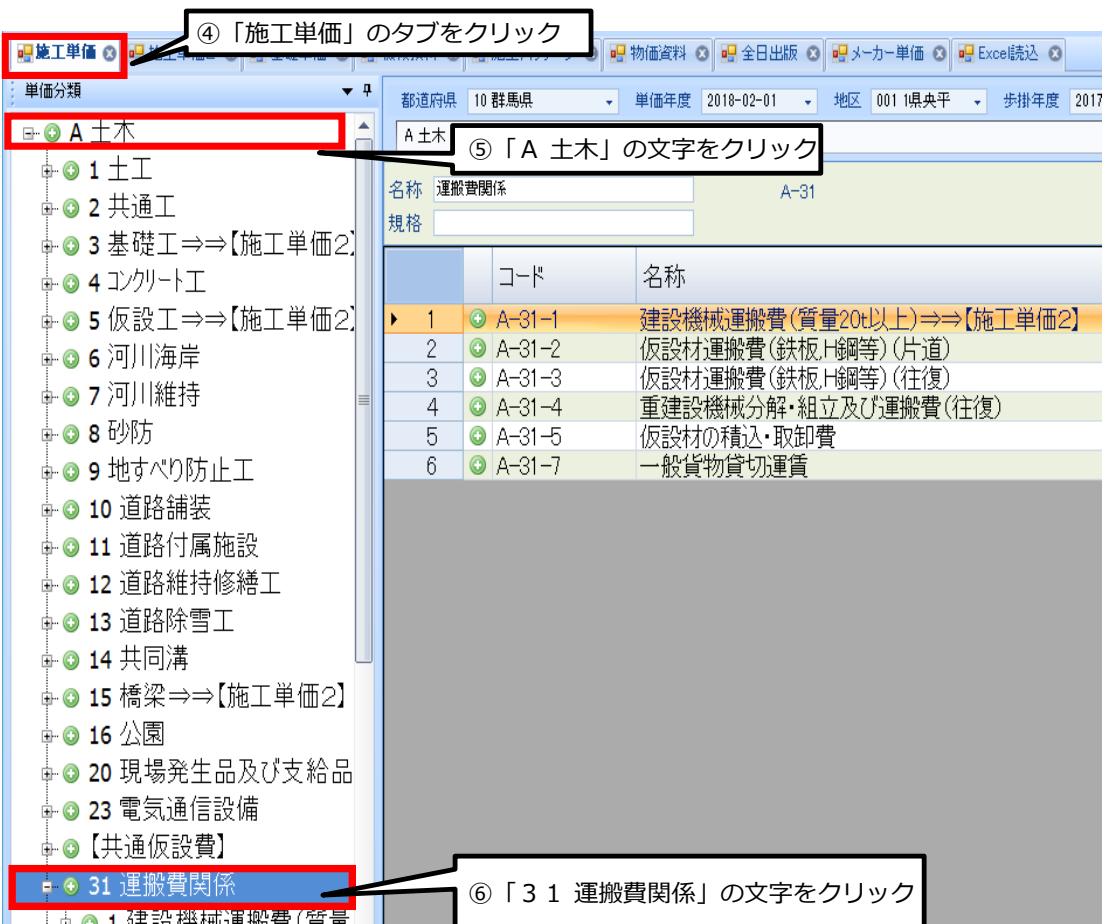
ここでは、「仮設運搬費」を運搬費として積み上げます。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	内	運搬費		式	1	
2	内	準備		式	1	
3	内	②行番号をダブルクリック		式	1	
4	内	事業損失防止施設費		式	1	
5	内	安全費		式	1	
6	内	役務費		式	1	
7	内	技術管理費		式	1	
8	内	營繕費		式	1	
9	内	労務者輸送費		式	1	
10	内	現場環境改善費		式	1	

内訳書（下位表）が開きます。右クリックで操作メニューを呼び出します。



単価検索画面が開きます。



「A-3 1-3 仮設材運搬費（鉄板・H鋼等）（往復）」から条件を選択します。

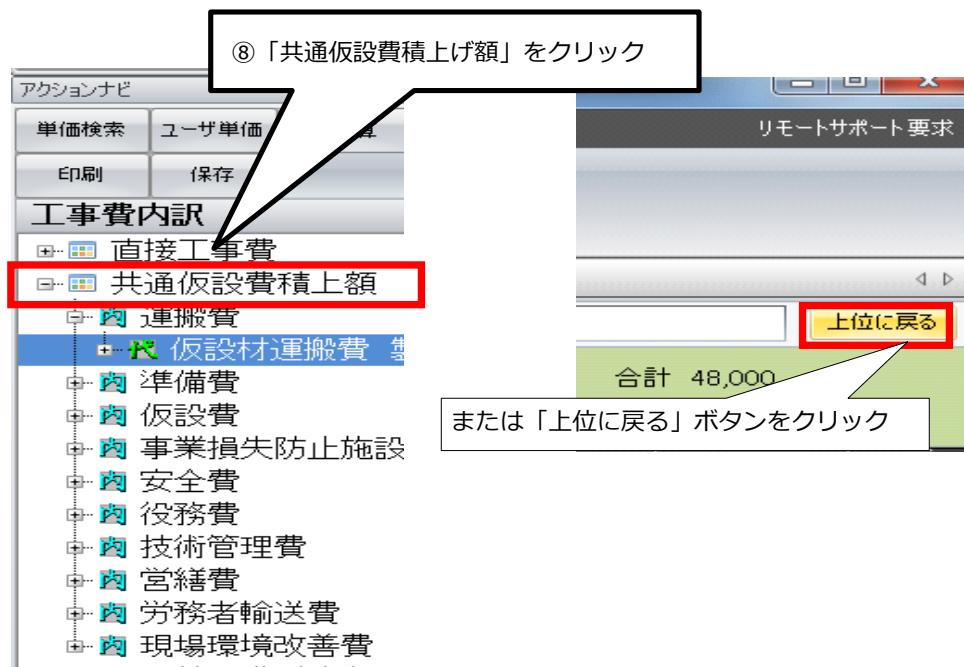
The screenshot shows the 'Construction Unit Price' (施工単価) software interface. On the left, there is a tree view of categories under 'A 土木' (Civil Engineering), including '3 基礎工⇒⇒【施工単価】' (Foundation Work ⇒⇒ Construction Unit Price) which is expanded to show '5 仮設工⇒⇒【施工単価】' (Temporary Work ⇒⇒ Construction Unit Price). On the right, a detailed view of 'A-31 運搬費関係' (Transport Cost Relation) is shown. A table lists various transport costs, with row 3 ('仮設材運搬費(鉄板・H鋼等)(往復)' - Transport Cost for Temporary Materials (Sheet Metal, H-beam, etc.) (Round Trip)) highlighted by a red border.

The screenshot shows the 'Mechanical Cost' (機械損料) software interface. It displays a list of transport cost items under 'A-31-3-1-1'. Item 1 ('仮設材運搬費 製品長12m以内 10kmまで 往復' - Transport Cost for Temporary Materials, Product Length 12m or less, up to 10km, Round Trip) is highlighted with a red border. A callout box contains the instruction: '⑥ 「A-3 1-3-1-1-1 仮設材運搬費 製品長12m以内 10kmまで 往復」の文字をダブルクリックし転送ボタンをクリック。' (Double-click the text 'A-3 1-3-1-1-1 仮設材運搬費 製品長12m以内 10kmまで 往復' and click the transfer button).

内訳書（下位表）に戻り、単価が貼り付きました。

The screenshot shows the 'Construction Cost Breakdown' (工事費内訳) software interface. It displays a breakdown of costs, with '仮設材運搬費' (Transport Cost for Temporary Materials) selected. A callout box contains the instruction: '⑦ 数量を入力します' (Enter the quantity). The quantity column for the selected transport cost item is highlighted with a red border.

画面左の「共通仮設費積上額」の文字をクリック、または画面右上の「上位に戻る」ボタンで上位（共通仮設費積上額画面）に戻ります。



金額が入っていることを確認します。

共通仮設費積上額								
共通仮設費積上額								
行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
1	内	運搬費		式	1	4,800	4,800	
2	内	準備費		式	1			
3	内	仮設費		式	1			
4	内	事業損失防止施設費		式	1			
5	内	安全費		式	1			
6	内	役務費		式	1			
7	内	技術管理費		式	1			
8	内	營繕費		式	1			
9	内	労務者輸送費		式	1			
10	内	現場環境改善費		式	1			

## 11.諸経費の計算



その時点での直接工事費の合計額と、それに対応する間接費の率額が自動計算され表示されます。

科目名	金額/値(当世代)	計算方法	桁数	丸め方法
A 直接工事費	2,380,000 固定値		整数1位(1円)未満	切り捨て
B 共通仮設費率額	298,000 固定値		整数4位(1千円)未満	切り捨て
C 共通仮設費対象額	2,380,000 自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て
D 共通仮設費率	12.53% 自動計算		小数第4位未満	四捨五入
E1 現場環境改善費率額	計算しない			
F1 現場環境改善費対象額	計算しない			
G6 現場環境改善费率	計算しない			
H 共通仮設費積上額	自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て
I 共通仮設費計	298,000 自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て
J 純工事費	2,678,000 自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て
K 現場管理費率額	1,125,000 自動計算		整数4位(1千円)未満	切り捨て
L 現場管理費対象額	2,678,000 自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て
M 現場管理费率	42.02% 自動計算		小数第4位未満	四捨五入
MG 現場管理費積上額	自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て
N 現場管理費計	1,125,000 自動計算		整数4位(1千円)未満	切り捨て
O 工事原価	3,803,000 自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て
P 一般管理費率額	7.8%			
Q 一般管理費対象額	3,803,000			
R 一般管理費率	7.8%			
U 契約保証費				
W1 一般管理費調整額				
W 一般管理費等計	767,000 自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て
ZG その他工事費用	自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て
X 工事価格	4,570,000 自動計算		整数5位(1万円)未満	切り捨て
Y 消費税	363,600 自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て
YR 消費税率	8%	自動計算	小数第2位未満	四捨五入
ZA 工事費計	4,935,600 自動計算		整数1位(1円)未満	切り捨て

工事価格は初期設定では1000円未満切り捨てになっていますが、10000円未満切り捨てや丸めなど自由に変更できます。

詳細設定と率の補正を行います。

アクションナビ	単価検索	ユーザ単価	再計算
	印刷	保存	
各種設定			
諸経費			
経費各種条件			
経費対象額詳細			
経費計算結果			
表紙(ワリセト対象外)	▼		
端数処理	▼		
帳票番号	▼		
合算/変更設計(ワリセト対象外)	▼		
その他	▼		

### 1. 経費各種条件の確認

↓

### 2. 経費対象額詳細の確認

↓

### 3. 再計算ボタンをクリック

## 11-1 土木工事

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

各種設定

諸経費

経費各種条件(プリセット対象外)

経費対象額詳細

経費計算結果

表紙(プリセット対象外)

端数処理

帳票番号

合算/変更設計(プリセット対象外)

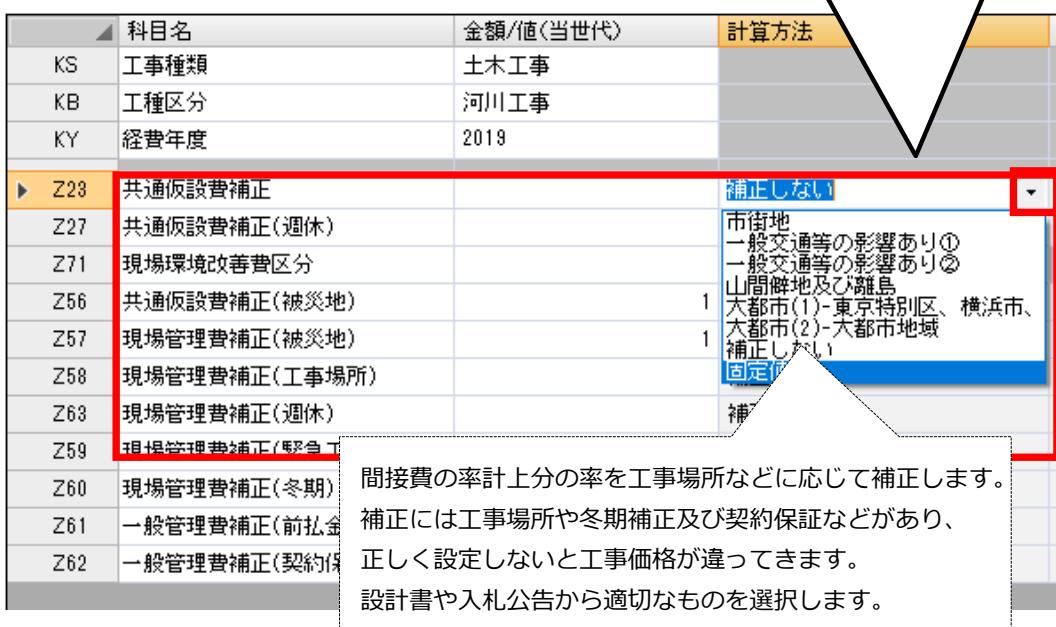
その他

①「経費各種条件」をクリック

②工事種類、工種区分を選択します。  
金額/値(当世代)欄をクリックすると▼印が表示されます。  
▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。  
該当する項目を選択してください。  
(ここでは工事種類を「土木工事」、工種区分を「河川工事」に設定します。)

科目名	金額/値(当世代)	補正方法
KS 工事種類	土木工事	補正しない
KB 工種区分	河川工事	補正しない
KY 経費年度	2019	計算しない
Z23 共通仮設費補正		1 補正しない
Z27 共通仮設費補正(週休)		1 補正しない
Z71 現場環境改善費区分		補正しない
Z56 共通仮設費補正(被災地)		補正しない
Z57 現場管理費補正(被災地)		補正しない
Z58 現場管理費補正(工事場所)		補正しない
Z63 現場管理費補正(週休)		補正しない
Z59 現場管理費補正(緊急工事)		補正しない
Z60 現場管理費補正(冬期)		補正しない
Z61 一般管	工事種類、工種区分により経費率が変わるので、 設計書や入札公告から適切なものを選択します。	補正しない
Z62 一般管		補正しない

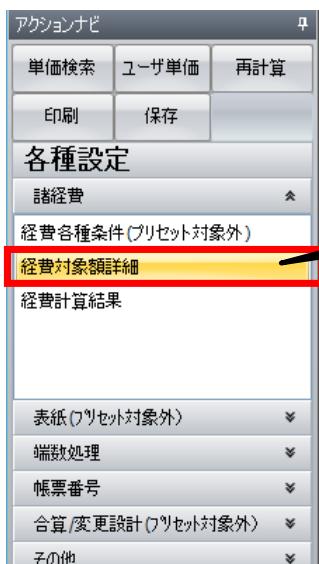
③共通仮設費補正や一般管理費補正を入力します。  
 計算方法欄をクリックすると▼印が表示されます。  
 ▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。  
 該当する項目を選択してください。



	科目名	金額/値(当世代)	計算方法
KS	工事種類	土木工事	
KB	工種区分	河川工事	
KY	経費年度	2019	
Z23	共通仮設費補正		補正しない
Z27	共通仮設費補正(週休)		市街地 一般交通等の影響あり①
Z71	現場環境改善費区分		一般交通等の影響あり②
Z56	共通仮設費補正(被災地)		山間僻地及び離島
Z57	現場管理費補正(被災地)		大都市(1)-東京特別区、横浜市、 大都市(2)-大都市地域
Z58	現場管理費補正(工事場所)		補正しない
Z63	現場管理費補正(週休)		固定
Z59	現場管理費補正(堅角丁)		補
Z60	現場管理費補正(冬期)		
Z61	一般管理費補正(前払金)		
Z62	一般管理費補正(契約保証)		

### 補足説明

▼からプルダウンメニューを開いて条件を選択するものと、冬期補正など数値を直接入力するものがあります。



アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

各種設定

諸経費

経費各種条件(プリセット対象外)

経費対象額詳細

経費計算結果

表紙(ワリセット対象外)

端数処理

帳票番号

合算/変更設計(ワリセット対象外)

その他

④「経費対象額詳細」をクリック

ここにある項目は、間接費の率計算の対象額に影響を与える項目です。

⑤該当する項目がある場合には  
金額を入力します

直接工事費や共通仮設費積上額を入力する際、集計対象を設定すると自動的に金額が表示されます。  
金額欄に直接入力することもできます。  
(直接入力した場合は「自動計算」が「固定金額」に変わります)

土木工事の各項目と間接費対象額との関係は下表のとおりです。

間接工事費		共通仮設費	現場管理費	一般管理費
項目	対象額	対象額	直接工事費+共通仮設費 =純工事費	純工事費+現場管理費 =工事原価
桁等購入費	×	○	○	○
処分費等				
支給品費等	桁等購入費	×	○	×
	一般材料費	○	○	×
	別途製作の製作費	×	×	×
	電力	○	○	×
無償貸与機械評価額		○	○	×
鋼橋門扉等工場原価		×	×	○
現場発生品		×	×	×
ダム工事	支給電力料 (基本料金含む)	×	×	×
	無償貸与機械評価額	○	×	×

○は対象とする ×は対象としない

1. 共通仮設費対象額とは直接工事費+支給品費+無償貸与機械評価額+事業損失防止施設費です。
2. 桁等購入費とはPC 桁,簡易組立式橋梁,グレーチング床版,門扉,ポンプ,大型遊具(設計製作品),光ケーブルの購入費です。
3. 別途製作する標準柱(F型柱,WF型柱,オーバーヘッド式)の場合の扱いは、鋼橋,門扉等工場原価の取り扱いに準じます。(t 当り製作単価として取扱う場合)

処分費等の取扱いは下表のとおりです

区分	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%以下で、かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合
共通仮設費	処分費等は 全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
現場管理費	処分費等は 全額を率計算の対象とする	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
一般管理費	処分費等は 全額を率計算の対象とする	処分費等が「共通仮設費対象額（P）」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。

処分費とは下記のものとし、「処分費等」を含む工事の積算は、当該処分費等を直接工事費に計上し、間接工事費等の積算は上の表のとおりです。

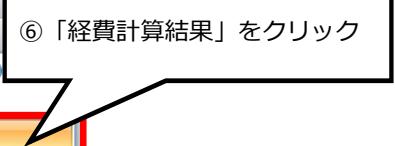
1. 処分費（再資源化施設の受入費を含む）
2. 上下水道料金
3. 有料道路利用料

(注) 処分費等は、準備費に含まれる処分費も含みます。なお、準備費に含まれる処分費は伐採、徐根などに伴うものです。

経費各種条件、経費対象額詳細の入力が終わりましたら、経費計算結果を確認します。

アクションナビ	
単価検索	ユーザ単価
再計算	
印刷	
保存	
<b>各種設定</b>	
諸経費	
経費各種条件(プリセット対象外)	
経費対象額詳細	
<b>経費計算結果</b>	
表紙(プリセット対象外) ▾ 端数処理 ▾ 帳票番号 ▾ 合算/変更設計(プリセット対象外) ▾ その他 ▾	

⑥「経費計算結果」をクリック



入力した条件、金額により自動計算されています

経費計算結果画面

科目名	金額/単位(当世値)	計算方法	桁数
A 直接工事費	2,000,000	自動計算	整数 1位 (1円) 未満
B 外構工事費	200,000	自動計算	整数 2位 (10円) 未満
C 井戸掘削工事費	2,000,000	自動計算	整数 3位 (100円) 未満
D 共通仮設費率	<b>12.5%</b>	自動計算	整数 4位 (1千円) 未満
E1 現場管理費(共通費率)		計算しない	整数 5位 (1万円) 未満
F1 現場環境改修費(計上額)		計算しない	整数 6位 (10万円) 未満
G8 現場環境改修費率		計算しない	整数 7位 (100万円) 未満
H 共通仮設費積上額		自動計算	
I 共通仮設費計	<b>250,000</b>	自動計算	小数第 1位 (1円) 未満
J 砂利等骨材費	2,070,000	自動計算	小数第 2位 (10円) 未満
K 砂利等骨材費率	1,120,000	自動計算	小数第 3位 (100円) 未満
L 現場管理費(計上額)	2,070,000	自動計算	小数第 4位 (1千円) 未満
M 現場管理費率	<b>42.0%</b>	自動計算	小数第 5位 (1万円) 未満
MG 現場管理費積上額		自動計算	小数第 6位 (10万円) 未満
N 現場管理費計	<b>1,120,000</b>	自動計算	小数第 7位 (100万円) 未満
O 工事料価	<b>3,004,000</b>	自動計算	
P 一括管理費(計上額)	771,001	自動計算	
Q 一括管理費(計上額)	3,004,000	自動計算	
R 一括管理費率	<b>20.2%</b>	自動計算	
U 設計料(計上額)	-	自動計算	有効数字 1桁
V1 一括管理費調整額	-5,001	自動計算	有効数字 2桁
V 一括管理費(計上額)	<b>766,000</b>	自動計算	有効数字 3桁
ZG その他の工事費用		自動計算	有効数字 4桁
X 工事総額	<b>4,570,000</b>	自動計算	有効数字 5桁

小数第 1位 (1円) 未満  
 小数第 2位 (10円) 未満  
 小数第 3位 (100円) 未満  
 小数第 4位 (1千円) 未満  
 小数第 5位 (1万円) 未満  
 小数第 6位 (10万円) 未満  
 小数第 7位 (100万円) 未満

小数第 1位未満  
 小数第 2位未満  
 小数第 3位未満  
 小数第 4位未満  
 小数第 5位未満  
 小数第 6位未満  
 有効数字 1桁  
 有効数字 2桁  
 有効数字 3桁  
 有効数字 4桁  
 有効数字 5桁  
 有効数字 6桁  
 有効数字 3桁(整数丸め)  
 有効数字 4桁(整数丸め)  
 有効数字 5桁(整数丸め)  
 特殊端数処理

小数第 5位 (1万円) 未満

(2) 共通仮設費と現場管理費の率額や工事価格は1000 円未満切り捨てになっています。

有効数字や端数処理の設定を変更するには、有効数字行または端数処理行の「自動計算」などの文字をクリックして▼を出します。

▼をクリックするとプルダウンメニューから有効数字や端数処理の設定を選択できます

53

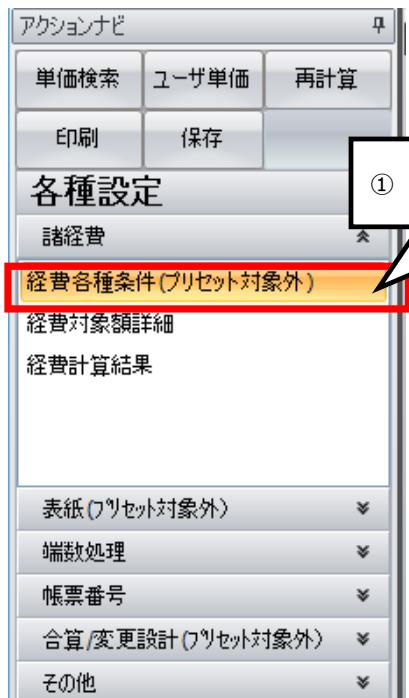


## 補足説明

- (1) 諸経費画面で設定を変更すると「再計算ボタン」が赤くなります。最後に必ず「再計算ボタン」をクリックして再計算をさせてください。
- (2) 一般管理費等計の下にある「Z G その他工事費用」は率の補正ではなく、金額で計上するときに使います。
- (3) 一般管理費調整額は工事価格を丸めるために一般管理費計の金額を切り捨てた金額です。

## 11-2 水道工事

水道工事は管材費の取扱いに特徴があります。



①「経費各種条件」をクリック

- 表紙(ワリセツ対象外) ▼
- 端数処理 ▼
- 帳票番号 ▼
- 合算/変更設計(ワリセツ対象外) ▼
- その他 ▼

②工事種類、工種区分を選択します

金額／値（当世代）欄をクリックすると▼印が表示されます。

▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。

該当する項目を選択してください。

(ここでは工事種類を「水道工事(水道実務～)」、工種区分を「開削工事及び～」に設定します。)

	科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ KS	工事種類	水道工事(水道実務必…	
KB	工種区分	開削工事及び小口径推…	
KY	経費年度	2018	
Z23	共通仮設費補正		補正しない
Z71	現場環境改善費区分		計算しない
Z56	共通仮設費補正(被災地)		1 補正しない
Z57	現場管理費補正(被災地)		1 補正しない
Z58	現場管理費補正(工事場所)		補正しない
Z59	現場管理費補正(緊急工事)		補正しない
Z60	現場管理費補正(冬期)		補正しない
Z61	一般管理費補正(前払金支出割合)		1 補正しない
Z62	一般		補正しない

工事種類、工種区分により経費率が変わるので、

設計書や入札公告から適切なものを選択します。

	科目名	金額
KS	工事種類	水道
KB	工種区分	開削
KY	経費年度	2018
Z23	共通仮設費補正	<input type="button" value="補正しない"/>
Z71	現場環境改善費区分	<input type="button" value="補正しない"/>
Z56	共通仮設費補正(被災地)	<input type="button" value="補正しない"/>
Z57	現場管理費補正(被災地)	<input type="button" value="補正しない"/>
Z58	現場管理費補正(工事場所)	<input type="button" value="補正しない"/>
Z59	現場管理費補正(緊急工事)	<input type="button" value="補正しない"/>
Z60	現場管理費補正(冬期)	<input type="button" value="補正しない"/>
Z61	一般管理費補正	<input type="button" value="補正しない"/>
Z62	一般管理費補正	<input type="button" value="補正しない"/>

③共通仮設費補正や一般管理費補正を入力します  
計算方法欄をクリックすると▼印が表示されます。  
▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。  
該当する項目を選択してください

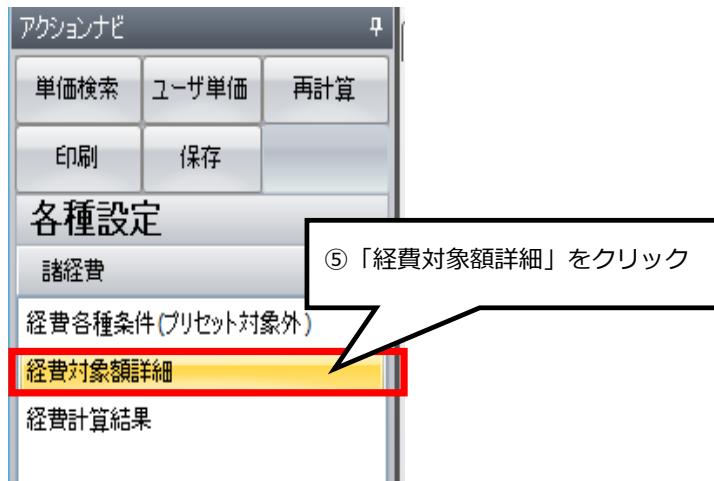
Z61 一般管理費補正 間接費の率計上分の率を工事場所などに応じて補正します。  
補正には工事場所や冬期補正及び契約保証などがあり、 正しく設定しないと工事価格が違ってきます。  
設計書や入札公告から適切なものを選択します。

設定の変更をすると、左上の「再計算」が赤くなりますので忘れずにクリックしてください。  
変更した経費条件で再計算されます。



### 11-2-1 管材費の設定

経費条件や各種補正の設定が終わりましたら、次に管材費や支給品などの率分の対象額に影響する項目を入力します。



科目名	金額/値(当世代)
Z1 直工に含まれる管材費	
Z2 支給品に含まれる管材費	
C1 対象管材費	
Z8 直工に含まれる処分費	
Z9 準備費に含ま	⑥直接工事費を入力するとき「集計対象」を管材費と設定すると自動的に計算上されます。もしくは管材費の合計金額を直接手入力します。
C22 処分費超過額	
C2 対象処分費	
Z6 衍等購入費	
Z36 支給品等(衍等購入費)	
Z37 支給品等(一般材料費)	
Z38 支給品等(別途製作の制作費)	
Z39 支給品等(電力)	
Z4 無償貸付機械評価額	
Z5 事業損失防止施設費	
Z7 鋼橋門扉等工場原価	
Z40 現場発生品	
Z44 外注費(共通仮設費)	

水道工事の各項目と間接費対象額との関係は下表のとおりです

間接工事費等		共通仮設費	現場管理費	一般管理費
項目	対象額	対象額	直接工事費 + 共通仮設費 = 純工事費	純工事費 + 現場管理費 = 工事原価
	管材費		○ (原則1/2の金額)	○ (原則1/2の金額)
桁等購入費		×	○	○
処分費等				
支給品等	管材費	○ (原則1/2の金額)	○ (原則1/2の金額)	×
	桁等購入費	×	○	×
	一般材料費	○	○	×
	別途製作の製作費	×	×	×
	電力	○	○	×
無償貸与機械評価額		○	○	×
鋼橋門扉等工場原価		×	×	○
現場発生品		×	×	×

○は対象とする ×は対象としない

1. 共通仮設費対象額とは直接工事費+支給品費+無償貸与機械評価額+事業損失防止施設費+準備費に含まれる処分費です。
2. 桁等購入費とはPC 桁,簡易組立式橋梁,グレーチング床版,門扉,ポンプの購入費です。
3. 管材費とは導水、浄水、送水、配水において水を直接輸送する管類とその接合材料、仕切弁、消火栓、空気弁等の弁類、その他流量計等の管路付属設備の費用を言う。なお、きょう類、さや管類、外面被覆材等の費用は含まない。※管材は管等の内面が水に接する材料である。
4. 現場発生品とは、同一現場で発生した資材を物品管理法で規定する処理を行わず再使用する場合をいいます。
5. 別途製作したものを一度現場に設置した後に発生品となり再度支給する場合の扱いは、別途製作費と同じ扱いとします。

※処分費はP52の11-1（土木工事）を参考にしてください。

### 11-3 設備工事

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

各種設定

諸経費

①「経費各種条件(プリセット対象外)」をクリック

経費対象額詳細  
経費計算結果

表紙(プリセット対象外)  
端数処理  
帳票番号  
合算/変更設計(プリセット対象外)  
その他

②工事種類、工種区分を選択します。  
 金額／値(当世代)欄をクリックすると▼印が表示されます。  
 ▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。  
 今回は工事種類を「公共建築工事」、工種区分を「改修機械設備工事」に設定します。

科目名	金額/値(当世代)	方法
▶ KS 工事種類	公共建築工事	
KB 工種区分	改修機械設備工事	
KY 経費年度	2019	
Z111 共通仮設費補正(監理事務所)	1 補正しない	
Z112 共通仮設費補正(鉄骨工事)	1 補正しない	
Z61 一般管工事	1 補正しない	
Z62 一般管工事	1 補正しない	

工事種類、工種区分により経費率が変わるので、  
設計書や入札公告から適切なものを選択します。

### 11-3-1 処分費（発生材処分費）や工期の設定

経費条件や各種補正の設定が終わりましたら、処分費（発生材処分費）や工期などの率分の対象額に影響する項目を入力します。

The screenshot shows the 'Various Settings' screen with the following interface elements:

- Action Bar:** Includes 'Single Value Search', 'User Single Value', 'Recalculation' (highlighted with a red box), 'Print', and 'Save'.
- Section Header:** 'Various Settings'.
- Section:** '諸経費' (Various Expenses).
  - '経費各種条件 (プリセット対象)' (Expense Various Conditions (Pre-set Target))
  - '経費対象額詳細' (Expense Subject Amount Details)
  - '経費計算結果'** (Expense Calculation Result) - This section is highlighted with a red box.
- Table:** Shows the calculation results for various expense items.

科目名	金額/値 (当)	計算方法
Z84 発生材処分費	(highlighted with a red box)	自動計算
Z40 直工に含まれる現場発生品		自動計算
Z41 現場発生品		自動計算
Z81 特定製品合計額		固定値
Z85 対象特定製品合計額		自動計算
Z83 その他工事費		固定値
▶ Z82 工期 (ヶ月)	(highlighted with a red box)	固定値
- Callout Boxes:**
  - ① 「経費対象額詳細」をクリック
  - ② 処分費（発生材処分費）や工期などの率分の対象額に影響する項目を入力します。
  - ③ 工期の入力は必ず必要です。 少数第1位まで入力してください。

設定の変更をすると、左上の「再計算」が赤くなりますので忘れずにクリックしてください。  
変更した経費条件で再計算されます。

The screenshot shows the action bar with the following buttons:

- Single Value Search
- User Single Value
- 再計算** (Recalculation) - This button is highlighted with a red box.
- Print
- Save

④ 「再計算」をクリック

## 11-4 民間工事

工事種類を「**民間工事**」に設定すると、共通仮設費・現場管理費・一般管理費に分かれている間接費を「**諸経費計**」として一本にまとめることができます。

①「経費各種条件」をクリック

②工事種類、工種区分を選択します。  
金額／値（当世代）欄をクリックすると▼印が表示されます。  
▼をクリックするとプルダウンメニューが開きます。  
今回は工事種類を「**民間工事**」に設定します。

科目名	金額/値(当世代)	算方法
▶ KS 工事種類	民間工事	
KB 工種区分	民間工事	
KY 経費年度	2019	

アクションナビ

単価検索	ユーザ単価	再計算
印刷	保存	

### 各種設定

諸経費

経費各種条件(プリセット対象外)

経費対象額詳細

③「経費計算結果」をクリック

経費計算結果

表紙(ワリセット対象外) ▼

端数処理 ▼

帳票番号 ▼

合算/変更設計(ワリセット対象外) ▼

その他 ▼

プリセット: 00\_デフォルト

選択 保存

科目名	金額/値(当世代)	計算方法	有効数字
M1 値引前直接工事費	1,000,000	自動計算	1円未満
M2 材料費の値引		固定値	
M3 その他の値引		固定値	
A 直接工事費	1,000,000	自動計算	1円未満
M6 諸経費率額	100,000	自動計算	1円未満
▶ M61 諸経費率	10.00%	自動計算	1円未満
M5 諸経費積上額		自動計算	1円未満
M4 諸経費計	100,000	自動計算	1円未満
M8 値引前工事価格	1,100,000	自動計算	1円未満
M9 工事価格の値引		固定値	
X 工事価格	100,000	自動計算	1000円未満
Y 消費税	0.000	自動計算	1円未満
YR 消費			
ZA 工事費			

④「諸経費計」を確認  
工事種類を民間工事に設定すると、間接費を共通仮設費や現場管理費などに分かれずに、諸経費計として一項目にまとめることができます。

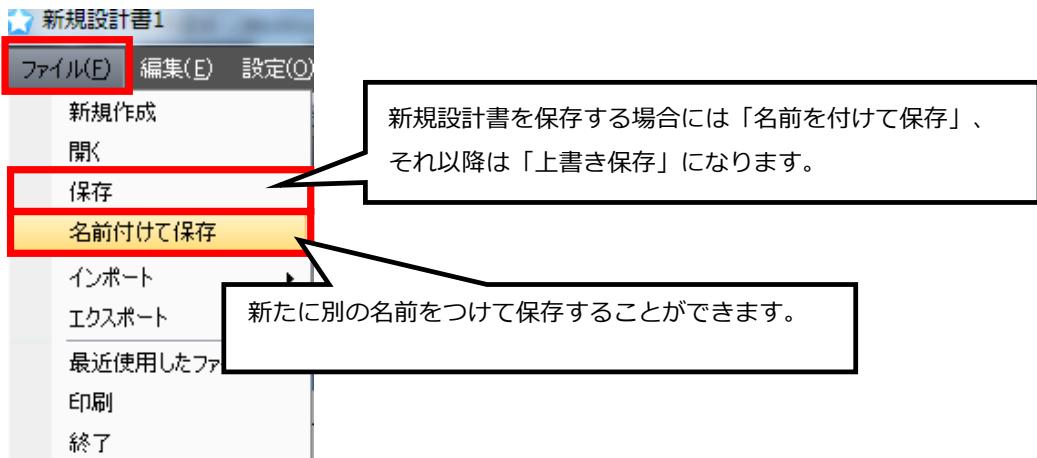
諸経費率は初期設定で 10 % (0.1) になっています。率を変更する場合は直接入力し再計算ボタンをクリックすると変更した率で経費計算されます。

## 12. 頂を終了（保存）する

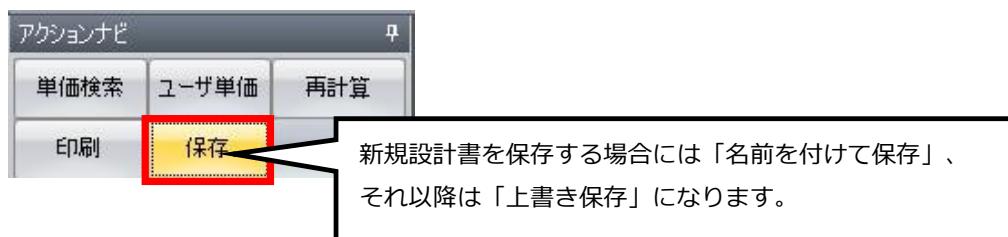
### 12-1 頂を保存する

注意！！自動保存ではないので必ず保存の実行が必要です。

ツールバーの「ファイル」メニューから保存ができます。



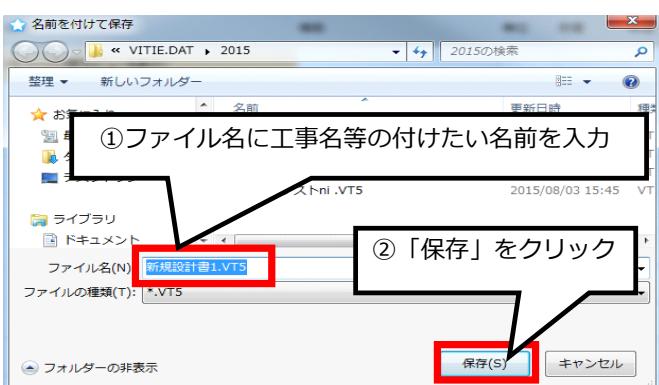
アクションナビの「保存」ボタンで保存ができます。



コマンドバーの「保存」からも保存できます。

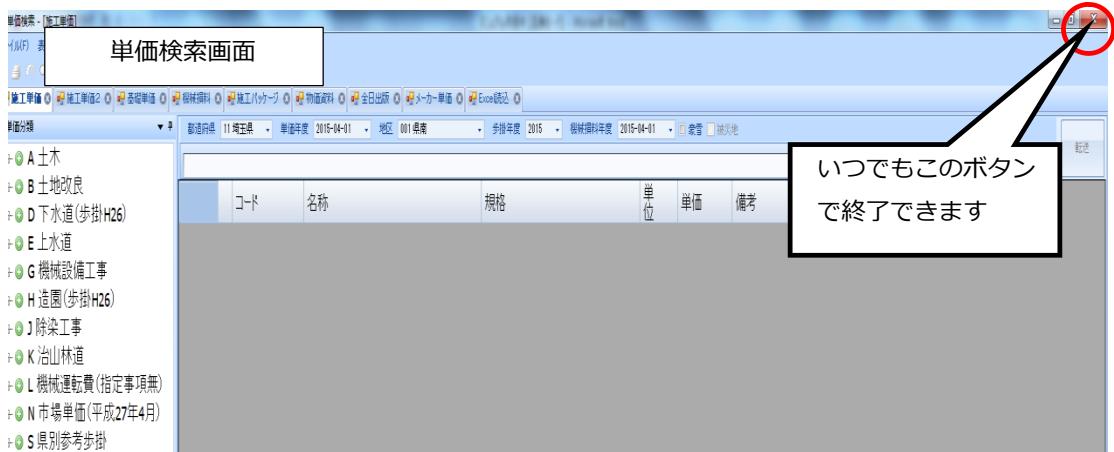


★ 新規設計書を保存する場合は「名前を付けて保存」画面が表示されます。

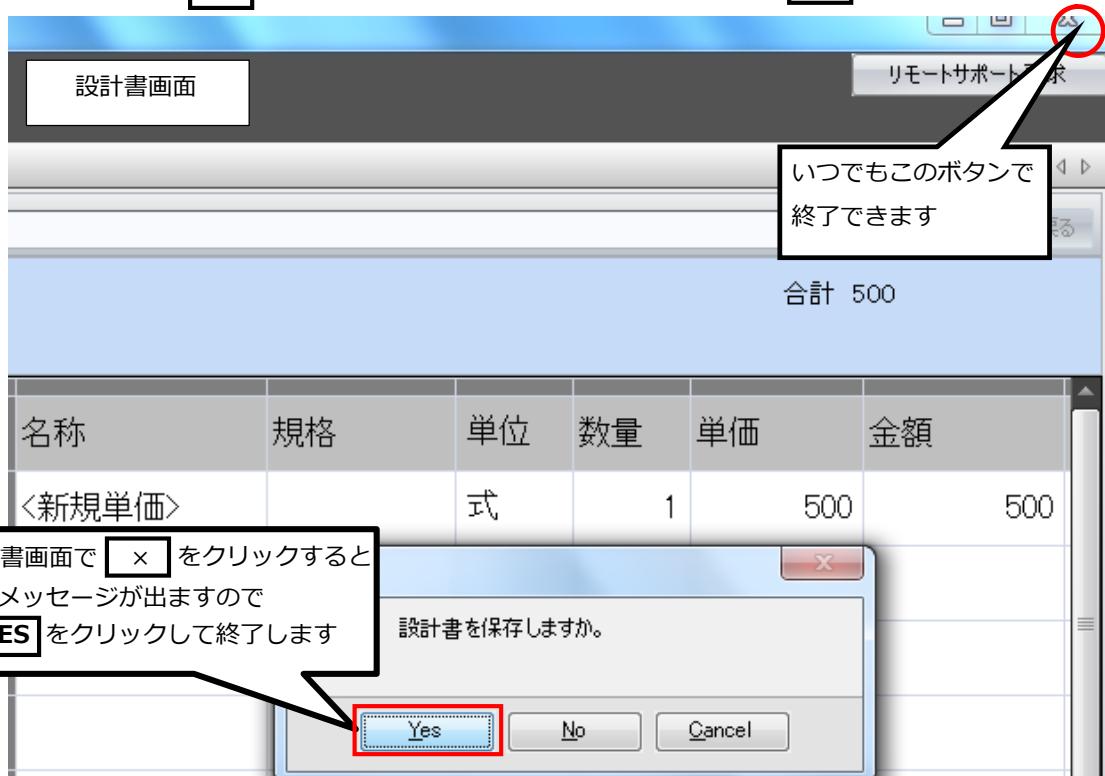


## 12-2 項を終了する

単価検索画面・設計書画面などの画面でも画面右上の ボタンで終了します。



設計書画面では をクリックすると確認メッセージが出ますので、**YES** で終了します。



# 工事価格関係

## 1.工事価格を任意の額に変更する

一通り積算が終了した後、積上げた工事価格を任意の金額に変更することができます。直接工事費など実際に積上げたものも変更する場合と、積上げた金額はそのままで諸経費の間接費率計算の金額だけで調整することもできます。

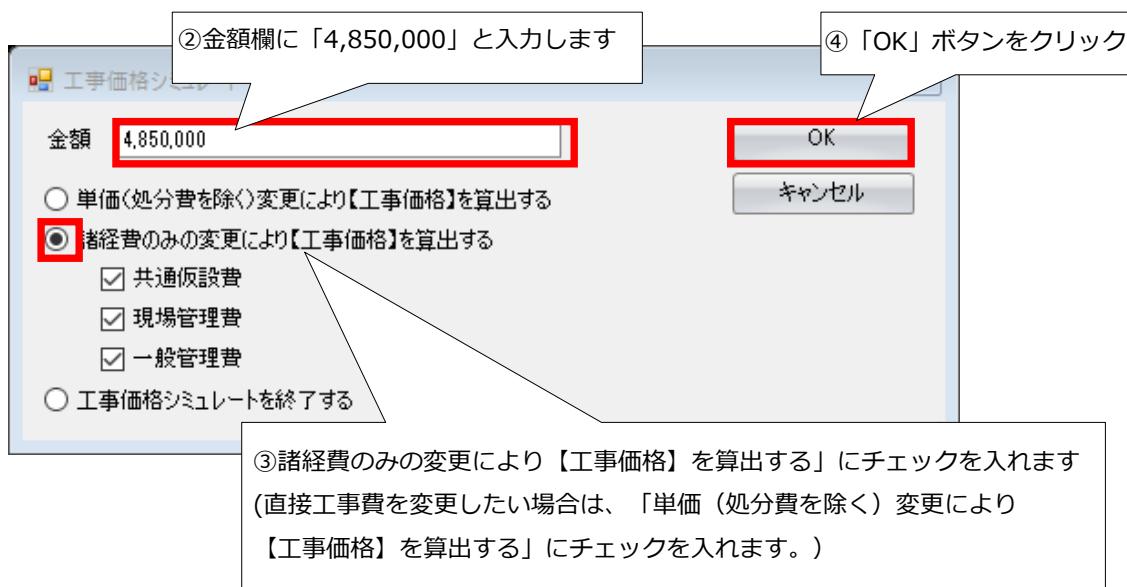
下記の例で直接工事費「2,465,960円」、工事価格「4,738,000円」で工事価格を「4,850,000円」に変更する手順を説明します。

各種設定			
プリセット: 00_デフォルト			
	科目名	金額/値(当世代)	計算方法
A	直接工事費	2,465,960	固定値
B	共通仮設費率額	308,000	自動計算
C	共通仮設費対象額	2,465,960	自動計算
D	共通仮設費率	12.53%	自動計算
E1	現場環境改善費率額		計算しない
F1	現場環境改善費対象額		計算しない
G6	現場環境改善費率		計算しない
H	共通仮設費積上額		自動計算
I	共通仮設費計	308,000	自動計算
J	純工事費	2,773,960	自動計算
K	現場管理費率額	1,165,000	自動計算
L	現場管理費対象額	2,773,960	自動計算
M	現場管理費率	42.02%	自動計算
MG	現場管理費積上額		自動計算
N	現場管理費計	1,165,000	自動計算
O	工事原価	3,938,960	自動計算
P	一般管理費率額	799,214	自動計算
Q	一般管理費対象額	3,938,960	自動計算
R	一般管理費率	20.29%	自動計算
U	契約保証費		一般管理費等に含まれる
W1	一般管理費調整額	-8,174	自動計算
W	一般管理費等計	791,040	自動計算
ZG	その他工事費用		自動計算
X	工事価格	4,730,000	自動計算
Y	消費税	378,400	自動計算
YR	消費税率	8%	自動計算
ZA	工事費計	5,108,400	自動計算



① 「工事価格シミュレート」アイコンをクリック

工事価格シミュレート画面が起動します。



⇒経費計算結果画面に戻ります。

A	<b>直接工事費</b>	<b>2,465,960</b>	<b>固定値</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>	
B	共通仮設費率額	321,000	自動計算	整数 4位 (1千円) 未満	切り捨て	
C	__共通仮設費対象額	2,465,960	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	
D	__共通仮設費率	<b>13.04%</b>	<b>自動計算</b>	<b>小数第4位未満</b>	<b>四捨五入</b>	
E1	現場環境改善費率額		計算しない			
F1	__現場環境改善費対象額		計算しない			
G6	__現場環境改善費率		計算しない			
H	共通仮設費積上額		自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	
I	共通仮設費計	<b>321,000</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>	
J	<b>統工事費</b>	<b>2,786,960</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>	
K	現場管理費率額	1,219,000	自動計算	整数 4位 (1千円) 未満	切り捨て	
L	__現場管理費対象額	2,786,960	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	
M	__現場管理費率	<b>43.74%</b>	<b>自動計算</b>	<b>小数第4位未満</b>	<b>四捨五入</b>	
MG	現場管理費積上額		自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	
N	現場管理費計	<b>1,219,000</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数4位(1千円)未満</b>	<b>切り捨て</b>	
O	<b>工事原価</b>	<b>4,005,960</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>	
P	一般管理費率額	846,058	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	
Q	__一般管理費対象額	4,005,960	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	
R	__一般管理費率	<b>21.12%</b>	<b>自動計算</b>	<b>小数第4位未満</b>	<b>四捨五入</b>	
U	契約保証費		一般管理費等に含まれる	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	
W1	一般管理費調整額	-2,018	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	
W	<b>一般管理費等計</b>	<b>844,040</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>	
ZG	その他工事費用		自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	
X	<b>工事価格</b>	<b>4,850,000</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数5位(1万円)未満</b>	<b>切り捨て</b>	<b>←シミュレート値</b>
Y	消費税	388,000	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	
YR	__消費税率	8%	自動計算	小数第2位未満	四捨五入	
ZA	工事費計	5,238,000	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て	

直接工事費は「2,465,960 円」のままで、共通仮設費・現場管理費の率金額と一般管理費が変更され、工事価格が「4,850,000 円」になりました。シミュレート結果であることを表す「シミュレート値」という文字が表示されています。

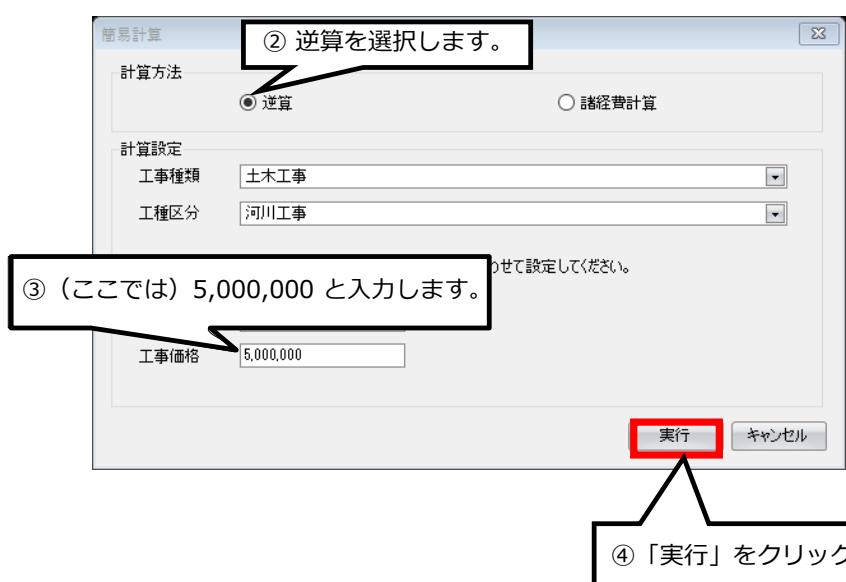
元に戻すには「工事価格シミュレートを終了する」にチェックをし、「OK」ボタンをクリックします。

## 2.工事価格から諸経費を逆算する

事前公表された工事価格から直接工事費や、基準書通りの率で計算した間接費を逆算させることができます。



工事種類や工種区分を選択し、工事価格を入力します。



諸経費画面が開きます。

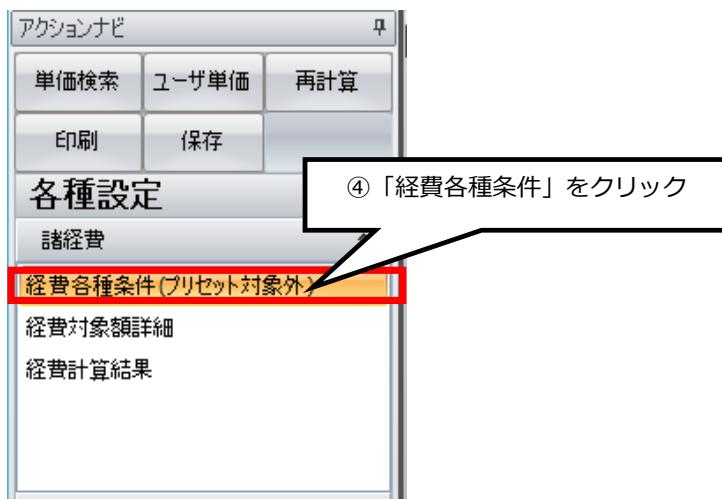
諸経費画面

科目名	金額/値(当世代)	計算方法	桁数	丸め方法
A <b>直接工事費</b>	<b>2,601,755</b>	<b>固定値</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>
B 共通仮設費半額	325,000	自動計算	整数 4位 (1千円) 未満	切り捨て
C __共通仮設費対象額	2,601,755	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て
D __共通仮設費率	<b>12.53%</b>	<b>自動計算</b>	<b>小数第4位未満</b>	<b>四捨五入</b>
E1 現場環境改善費率額		計算しない		
F1 __現場環境改善費対象額		計算しない		
G6 __現場環境改善費率		計算しない		
H 共通仮設費積上額		自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て
I <b>共通仮設費計</b>	<b>325,000</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>
J <b>純工事費</b>	<b>2,926,755</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>
K 現場管理費率額	1,229,000	自動計算	整数 4位 (1千円) 未満	切り捨て
L __現場管理費対象額	2,926,755	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て
M __現場管理費率	<b>42.02%</b>	<b>自動計算</b>	<b>小数第4位未満</b>	<b>四捨五入</b>
MG 現場管理費積上額		自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て
N <b>現場管理費計</b>	<b>1,229,000</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数4位(1千円)未満</b>	<b>切り捨て</b>
O <b>工事原価</b>	<b>4,155,755</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>
P 一般管理費率額	843,202	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て
Q __一般管理費対象額	4,155,755	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て
R __一般管理費率	<b>20.29%</b>	<b>自動計算</b>	<b>小数第4位未満</b>	<b>四捨五入</b>
U 契約保証費		一般管理費等に含まれる	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て
W1 一般管理費調整額	1,043	<b>固定値</b>	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て
W <b>一般管理費等計</b>	<b>845,288</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>
ZG その他工事費用		自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て
X <b>工事価格</b>	<b>5,000,000</b>	<b>自動計算</b>	<b>整数1位(1円)未満</b>	<b>切り捨て</b>
Y 消費税	400,000	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て
YR __消費税率	8%	自動計算	小数第2位未満	四捨五入
ZA 工事費計	5,400,000	自動計算	整数 1位 (1円) 未満	切り捨て

### 補足説明

- (1) 工事価格が「5,000,000」になっています。
- (2) 直接工事費が「2,601,755」で「固定金額」になっています。  
(積上げた金額ではないということを示しています。)
- (3) 経費各種条件画面で共通仮設費の施工場所による補正等、各種補正も設定を行います  
(詳細は50ページをご覧ください)
- (4) 経費対象額詳細画面で支給品や処分費、水道工事なら管材料費なども入力し、交通誘導員などの共通仮設費の積上げ金額も入力する必要があります。
- (5) 上記(3)、(4)を入力し設定することで正しい直接工事費や経費の金額が計算されます。  
(詳細は70ページをご覧ください)

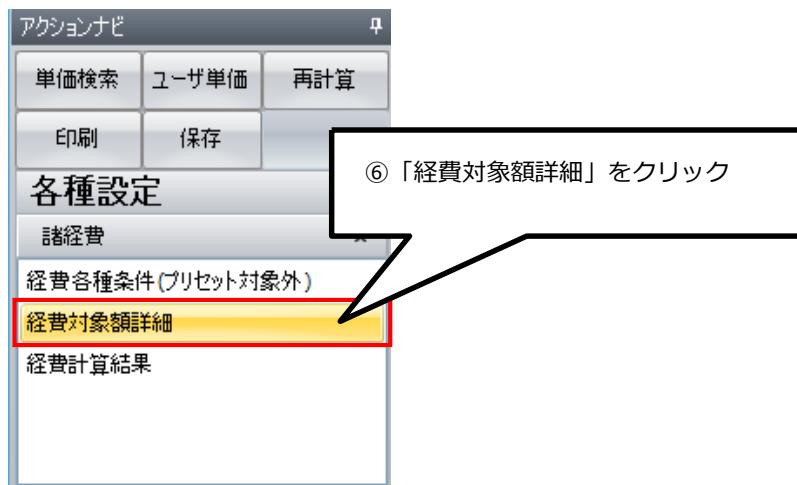
## 経費各種条件を設定方法



経費各種条件画面

	科目名	金額/値(当世代)	計算方法
KS	工事種類	土木工事	
KB	工種区分	河川工事	
KY	経費年度	2019	
Z23	共通仮設費補正		補正しない
Z27	共通仮設費補正(週休)		
Z71	現場環境改善費区分		
Z56	共通仮設費補正(被災地)		
Z57	現場管理費補正(被災地)		
Z58	現場管理費補正(工事組合)		
Z63	⑤共通仮設費の補正を選択		
Z59	計算方法欄をクリックすると▼印が表示されます。		
Z60	▼をクリックすると補正方法が表示されますので、		
Z61	設計書や入札公告から適切なものを選択します。		
Z62			

「経費対象額詳細」を入力します。



経費対象額詳細画面

⑦ 处分費などを入力

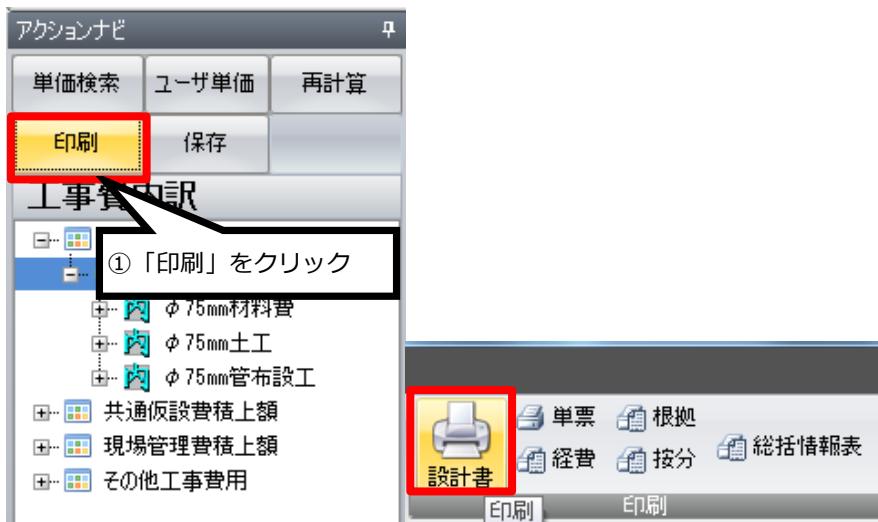
科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ Z8 直工に含まれる処分費		自動計算
Z9 準備費に含まれる処分費		自動計算
C2 対象処分費		自動計算
C22 処分費超過額		自動計算
Z6 衍等購入費		自動計算
Z36 支給品等(衍等購入費)		自動計算
Z37 支給品等(一般材料費)		自動計算
Z38 支給品等(別途製作の制作費)		自動計算
Z39 支給品等(電力)		自動計算
Z4 無償貸付機械評価額		自動計算
Z5 事業損失防止施設費		自動計算
Z7 鋼橋門扉等工場原価		自動計算
Z40 現場発生品		自動計算
Z44 外注費(共通仮設費)		自動計算
Z42 ダム工事に含まれる支給電力料		自動計算
Z43 ダム工事に含まれる無償貸付機...		自動計算

「再計算」ボタンをクリックします

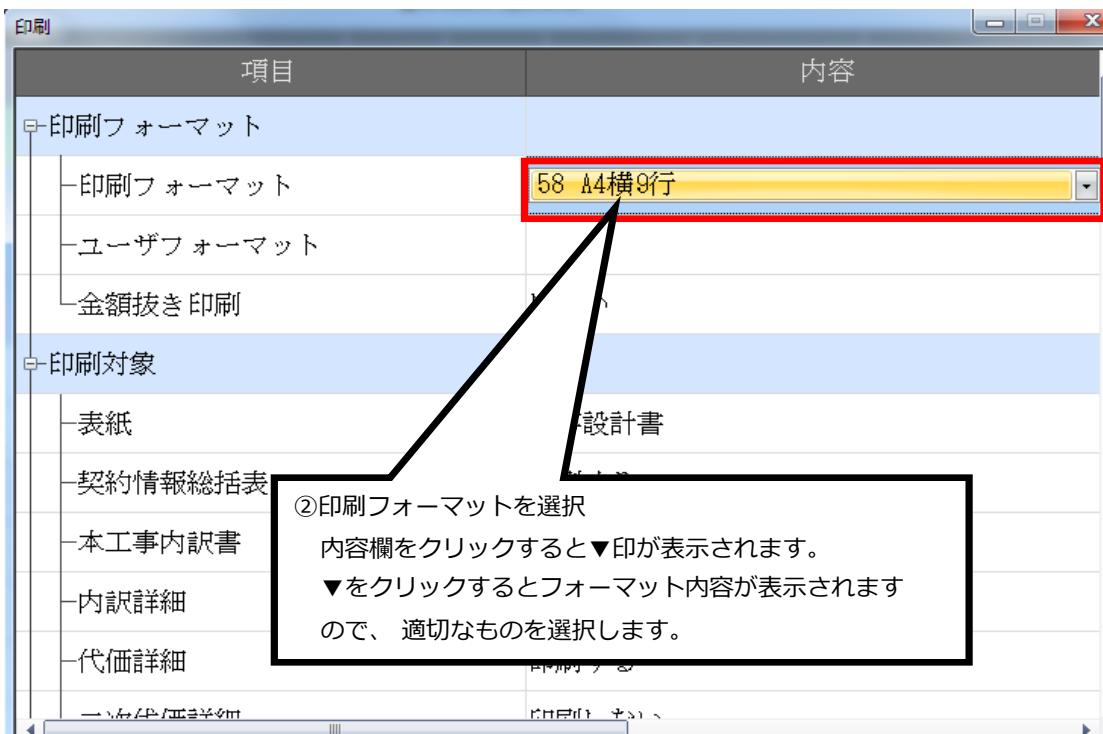


## 印刷関係

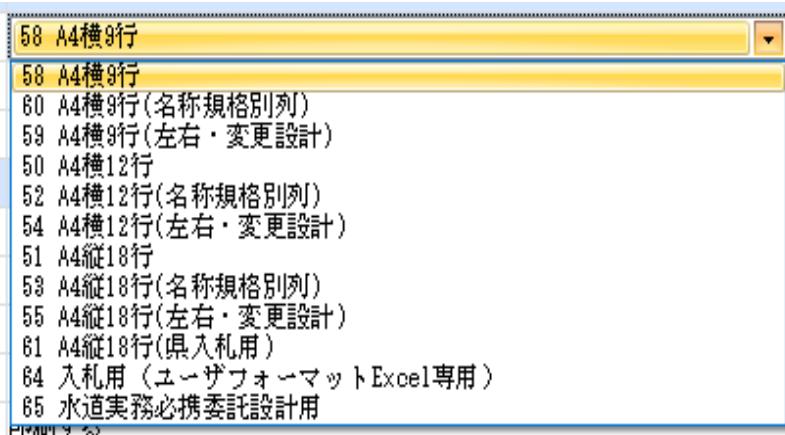
画面左の「印刷」、または画面上部のアイコンをクリックすると印刷設定画面へ移動します。



文字をクリックしますと設定一覧表が呼び出されます。



## 1.印刷フォーマットの各設定の説明



- ・名称規格別列

名称と規格をそれぞれ別列に表示します。

- ・左右・変更設計

当初設計を左列に、変更設計を右列に表示します。

- ・県入札用

一般的な入札金額内訳書に、頂で作成したデータ（各工種、経費）を表示します。

- ・入札用（ユーザフォーマットExcel 専用）

データを取り込んだ各市町村の入札金額内訳書に、頂で作成したデータ（各工種、経費）を表示します。

※積算する各市町村の入札金額内訳書データ（Excel 形式）を事前に弊社までお送りください。

ただし、一部取り込むことが出来ないデータがあります。

## 2.印刷対象の設定

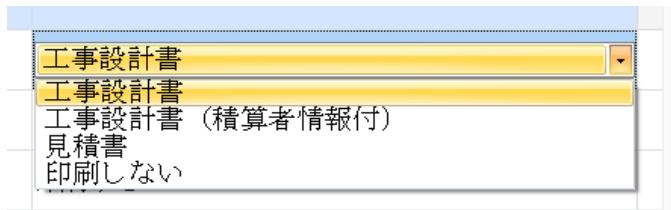
印刷対象「表紙」の設定をします。「工事設計書」をクリックします。

項目	内容
□印刷フォーマット	
└印刷フォーマット	58 A4横9行
└ユーザフォーマット	
└金額抜き印刷	する
□印刷対象	
└表紙	工事設計書
└総括情報表	印刷しない
└契約情報表	印刷しない

▼印が出ますのでクリックします。表紙の設定一覧表が呼び出されます。

項目	内容
□印刷フォーマット	
└印刷フォーマット	58 A4横9行
└ユーザフォーマット	
└金額抜き印刷	する
□印刷対象	
└表紙	工事設計書
└総括情報表	工事設計書 工事設計書（積算者情報付） 見積書
└契約情報表	
└一本工事内訳書	印刷しない

### 3.表紙の各設定についての説明



- ・工事設計書

各市町村でよく使われている表紙フォーマットで印刷します。  
(Excel で出力することで文字の配置など自由に編集出来ます)

- ・工事設計書（積算者情報付）

入力した積算者情報を表紙に印刷します。 (積算者情報の入力方法はマニュアル10ページ参照)

- ・見積書

民間工事などで見積書が必要なときに設定してください。御見積書として表紙が印刷されます。  
入力した見積情報を表紙に印刷します。 (見積情報の入力方法はマニュアル12ページ参照)

- ・印刷しない

表紙が必要無ければ印刷しないに設定します。

## 4. 単価表の設定

### ・4-1 出典を印刷

本工事内訳書、施工内訳書に出典が存在する場合は備考欄に表示されます。施工代価表に出典が存在する場合は備考欄及び印刷物右上に表示されます。「出典を印刷」の設定を「しない」にすると、全ての出典が印刷されません。

項目	内容
—代価表は新規代価のみ	印刷する
—代価表は変更後の項目のみ	印刷しない
—合算の印刷対象	全体
□-単価表の設定	
—出典を印刷	する
—備考欄を印刷	する
—金額が 0 の行を印字	する
—金額が 0 の諸雑費計算行を印字	する

### ・4-2 備考欄を印刷

備考欄に表示される項目は5つあります。

- ① 設計書作成時に入力した摘要項目
- ② 備考欄に表示される出典項目
- ③ 帳票番号
- ④ 経費の対象額と率
- ⑤ 各種集計対象の集計値

初期設定では備考欄を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると摘要項目（①）、出典項目（②）を非表示にし、印刷しないように出来ます。帳票番号（③）、経費の対象額と率（④）、各種集計対象の集計値（⑤）を非表示にするためには別の項目で設定する必要があります。

#### 4-3 帳票番号の印刷設定

単価表の設定	
出典を印刷	する
備考欄を印刷	する
金額が 0 の行を印字	しない
金額が 0 の諸雑費計算行を印字	する
帳票番号を印刷	しない
「名称」の列名	名 称

初期設定では帳票番号を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると帳票番号(③)を非表示にし、印刷しないように出来ます。

#### 4-4 変更後のみを印刷する

「備考」の列名	備 考
当世代（最新設計）の列名	変更設計
前世代（一個前の設計）の列名	当初設計
前世代の単価・数量・金額を印刷	しない

前世代の単価・数量・金額を印刷「しない」に設定します。印刷フォーマットを 50 番、51 番、58 番のいずれかに設定します。

## 5.その他

### 5-1 経費の対象額と率の印刷設定

□-その他	
—労務費の数量	印刷しない
—機械賃料の数量	印刷しない
—油脂類単価の数量	印刷する
—経費の率額の備考に対象額と率	印刷しない
—調整前工事価格を印刷する	印刷しない
—備考欄に各種集計対象の集計値	印刷する

初期設定では経費の率額の備考に対象額と率を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると経費の対象額と率（④）を非表示にし、印刷しないように出来ます。

### 5-2 各種集計対象の集計値の印刷設定

□-その他	
—労務費の数量	印刷しない
—機械賃料の数量	印刷しない
—油脂類単価の数量	印刷する
—経費の率額の備考に対象額と率	印刷しない
—調整前工事価格を印刷する	印刷しない
—備考欄に各種集計対象の集計値	印刷する

初期設定では経費の率額の備考に対象額と率を印刷「する」に設定されています。印刷を「しない」に設定すると経費の対象額と率（④）を非表示にし、印刷しないように出来ます。

以上4項目を「印刷しない」に設定していただくと備考欄を全て非表示で印刷出来ます。

## 6.印刷設定の保存・PDF・Excel出力・出力したファイルの保存

項目	内容
単価調査のタイトル	単価調査
その他	
労務費の数量	印刷しない
機械賃料の数量	印刷しない
油脂類単価の数量	印刷する
経費の率額の備考に対象額と率	印刷しない
調整前工事価格を印刷する	印刷しない
備考欄に各種集計対象の集計値	<input checked="" type="checkbox"/> 印刷する
施工パッケージの計算式のページ	印刷しない
施工パッケージの区分に単価地区名	印刷しない
施工パッケージの積算単価表に単価地区	印刷する
ページ番号	印刷する
両面印刷時偶数ページをトップマーク	しない
階層字下げ文字	
フォントサイズ	
本工事内訳書に諸経費	
工事設計書の表紙に工事種類	
工事設計書の表紙に経費条件	
経費条件に工事種類	
変更設計の変更のある部分を赤字	
合算時、全ての設計書の内訳	
する	

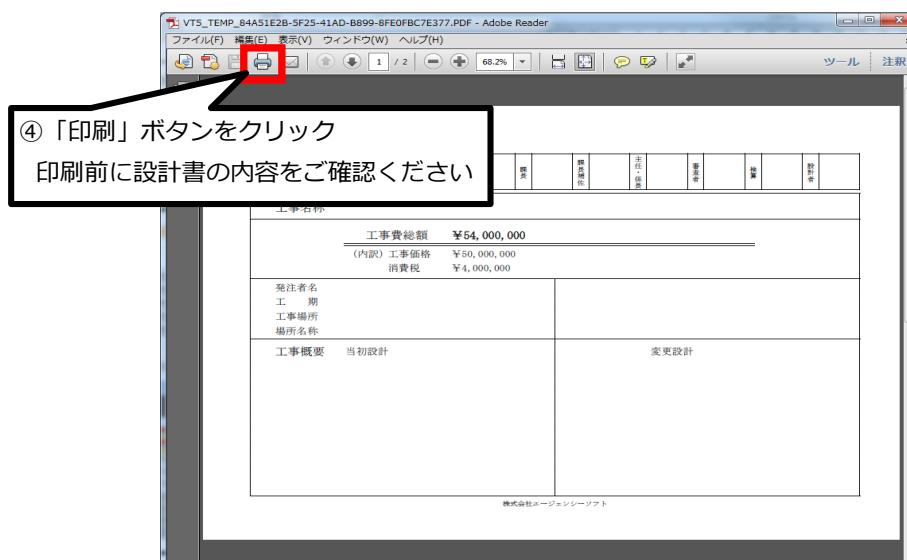
「印刷設定を保存」ボタンをクリックすると、現在設定した状態を保存できます。

次回からは、設定した状態が呼び出されます。

「出力したファイルを保存する」に☑チェックを入れると、「PDF出力」「Excel出力」する際に、名前を付けて保存することができます

③「PDF出力」または「Excel出力」をクリックするとプレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面が表示されました。（ここではPDF出力をしています）

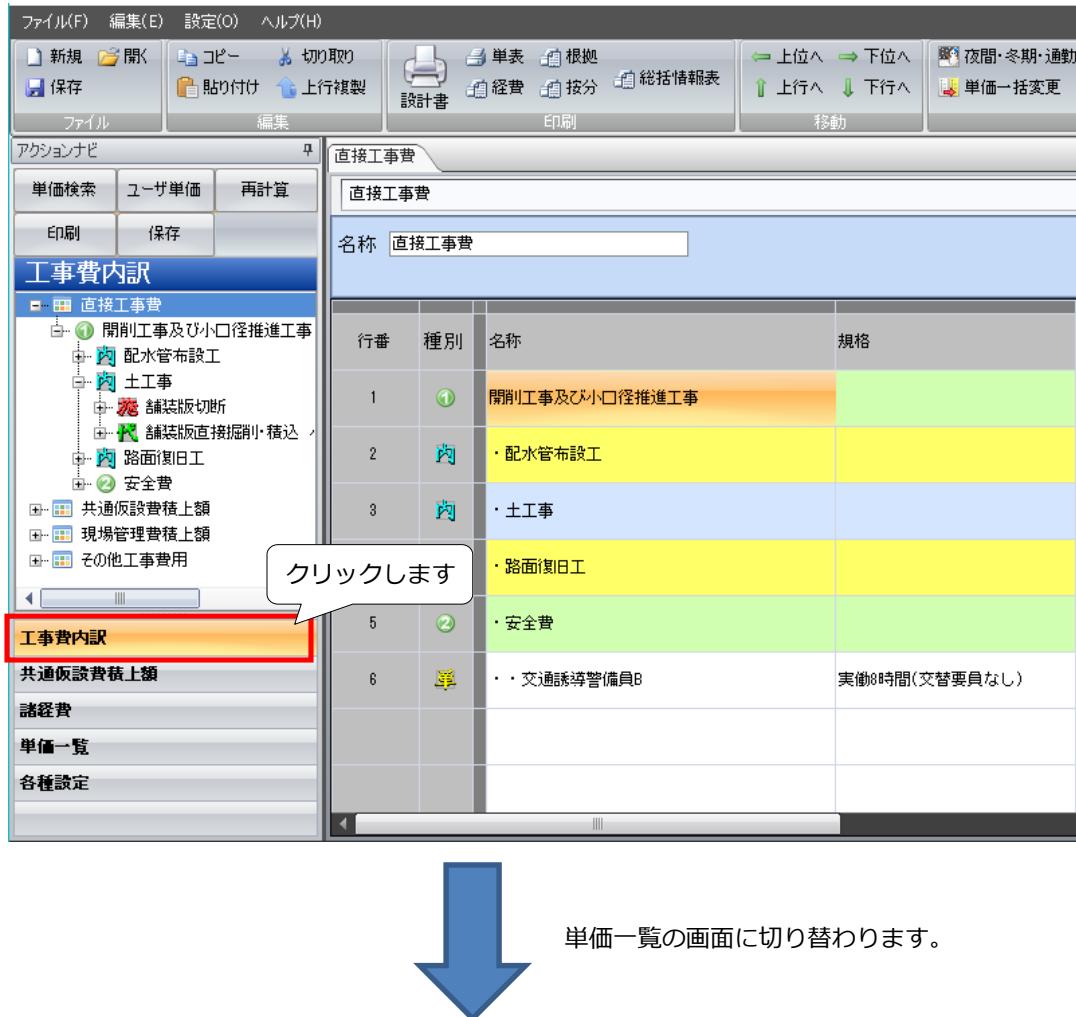


印刷ボタンをクリックすると、お使いのプリンターとつながります。  
プリンター画面に従って印刷してください。

# その他

## 1.前年度単価で作成した設計書を新年度単価、または別地区に更新する

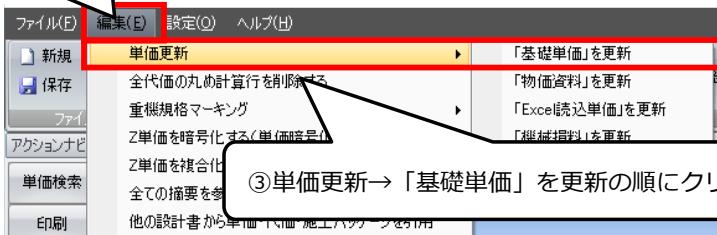
単価を更新したい既存設計書を開き、単価一覧をクリックします。



単価一覧の画面に切り替わります。

行番	名称	規格	単価
1	【労務費】		
2	交通誘導警備員B	実働8時間(交替要員なし)	220 11,800
3	土木一般世話役		1.129 23,800
4	普通作業員		1.324 20,900
5	特殊作業員		1.489 22,000
6	運転手(特殊)		0.488 22,500
7	【損料・貯料】		
8	コンクリートカタ[パネル式・湿式]	切削幅深20cm級 フレート径56cm	供用日 1.466 5,460

②編集をクリックします



更新単価一覧画面に切り替わります。

③単価更新→「基礎単価」を更新の順にクリックします。

水色になっている行が更新対象となります。

白色の行は名称等が一致しなかったため、更新の対象外です。

単価が更新されました！

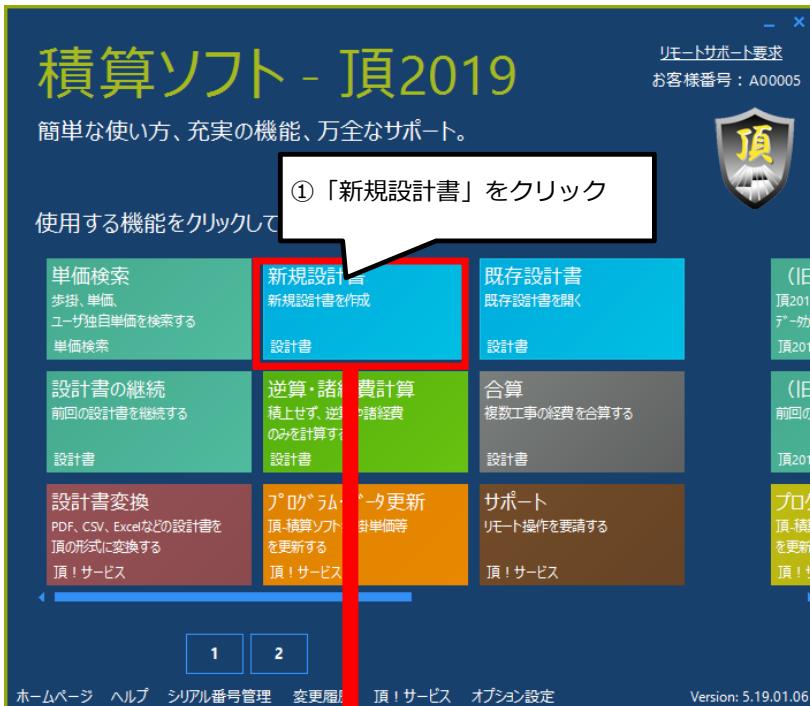
行番	名称	規格	単位	数量	単価	金額
31	パックホウ運転費(クレーン機能付2.9t吊)	クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35)	時間	8.225	7,003	6
32	パックホウ運転費(クレーン機能付2.9t吊)	クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35)	時間	5.375	7,003	4
33	フジツブ(上水栓) 研金製	φ20mm×φ13mm シールド付き1枚含	個	2	840	
34	フジツブ(上水栓) 研金製	φ25mm×φ13mm シールド付き1枚含	個	1	1,980	
35	フジツブ接合部品(GF) 7.5K SUS	φ75mm GFカセット、B/N含む	組	5	2,680	1
36	アルミフレームユニット型	φ20mm×800mm シールド付き1枚含	本	2	25,600	5
37	アルミフレームユニット型	φ25mm×800mm シールド付き1枚含	本	1	30,100	3
38	ホリゾンタルアーム	φ 75mm	m	393.713	304	12
39	ホリゾンタルアーム		m	604.4	604.4	6

青くなっている行が今回更新された単価です。

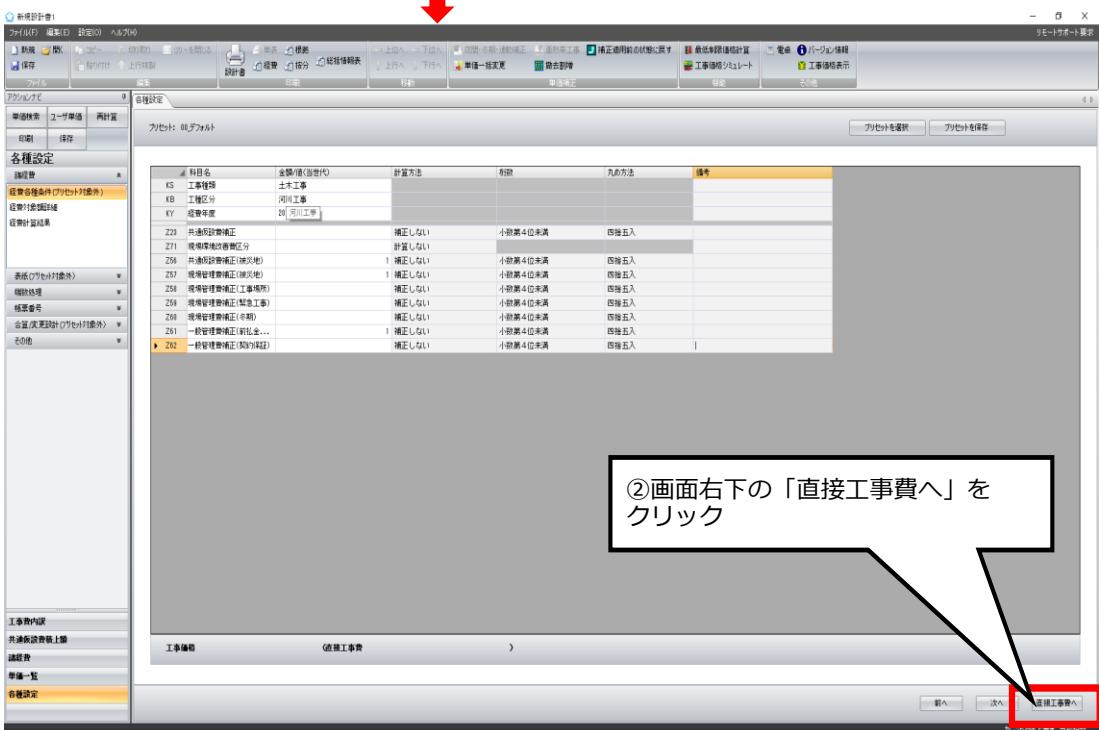
#### ※注意※

- (1) 更新の対象は、「労務単価」「材料単価」「市場単価」「処分費」です。  
「機械損料」は更新されません。機械損料の更新につきましては、メニューバーの「編集」をクリックし「単価更新」のプルダウンメニューから「機械損料を更新…」を選択し、更新してください。
- (2) 単価が更新されるのは、単価の「名称」「規格」「単位」が頂の単価検索システム内のデータと一致する場合のみです。
- (3) 一度更新した単価は元に戻すことはできません。
- (4) Excel読み込み単価の更新を行う場合は、「編集」をクリックし「単価更新」のプルダウンメニューから「単価をExcel読み込みで更新」をクリックし転送で更新できます。
- (5) 青いフラグを消すには、メニューバーの「編集」から「単価更新」のプルダウンメニューから「単価更新フラグをクリアする」を選択してください。

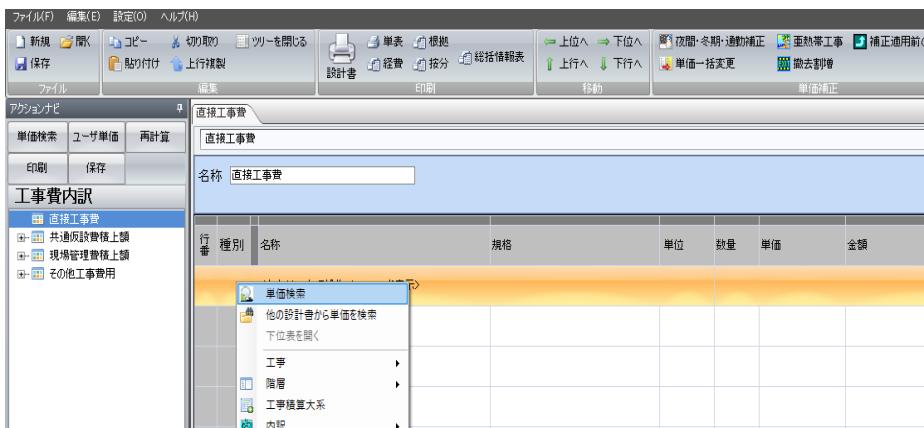
## 2.夜間・冬期・通勤補正



経費各種条件画面に移動しました。



直接工事費画面に移動しました。  
使用する施工パッケージを「単価検索」から転送します。



ここでは、例として基礎碎石を転送しました。

直接工事費

直接工事費

名称：直接工事費

③種別欄の「施」をダブルクリックし、下位表へ移動します

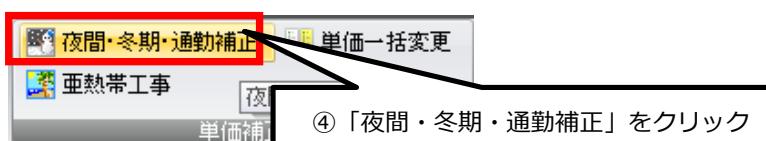
行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1		基礎碎石	7.5cm以下,再生クラッシャン 40~0	m <sup>2</sup>	10	879.6	8,796

下位表へ移動しました。

直接工事費 ▶ 基礎碎石

名称	帳票番号	コード		
基礎碎石	施工第1号	UINwtI-SAP033_1		
規格	条件変更	単位		
7.5cm以下,再生クラッシャン 40~0		m <sup>2</sup>		
代表機労材規格(現地)		構成比	単価(現地)	補正
K 機械	-	5.31		
K1 パック材貯料[かご型・排糞型(1~3次)](長期割...)	日	5.28	8,800	
R 労務	-	83.56		
R1 普通作業員	人	43.7	18,400	
R2 特殊作業員	人	18.98	19,900	
R3 土木一般世話役	人	10.48	21,900	
R4 運転手(特殊)	人	9.82	19,900	
Z 材料	-	11.13		
Z1 再生骨材 再生碎石 RC-40	m <sup>3</sup>	8.62	2,650	
Z2 軽油 パトロール給油	L	2.5	109	

コマンドバーの「夜間・冬期・通勤補正」をクリックし、設定画面を開きます。



## 2-1.夜間補正の場合



- ① 夜間補正の適用するにチェックを入れます。
- ② 補正率を入力します。  
(例) 15.0%の場合は1.5と入力します。
- ③ 名称の末尾に追加する文字列は自由に変更できます。  
今回は初期設定の(夜間)にしました。
- ④ 適用をクリックすると入力した補正率で労務単価が補正されます。

規格 7.5cm以下,再生グラッシャン 40~0 条件変更 営業 単位 m<sup>2</sup>

	代表機材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	補正
K	機械	-	5.31		
K1	パッカ車賃料 [かくう型・排糞型 (1~3次)] (長期割引) 山積0.8m <sup>3</sup> [平積0.6] ...	日	5.28	10,700	
R	労務	-	83.56		
R1	普通作業員(夜間)	人	43.7	22,350	
R2	特殊作業員(夜間)	人	18.98	26,700	
R3	土木一般世話役(夜間)	人	10.48	28,050	
R4	運転手(特殊)(夜間)	人	0.00	26,700	
Z	材料				
Z1	再生グラッシャン 40~0 mm			3,300	
Z2	軽油 ハトロール給油,2~4L	L	2.0	118	

普通作業員などの労務単価を冬期補正しました。  
補正された労務単価の名称の末尾に(夜間)と入りました。

## 2-2.通勤補正の場合



- ① 通勤補正の適用するにチェックを入れます。
- ② 補正率を入力します。ここでは5%と入力します。
- ③ 名称の末尾に追加する文字列は自由に変更できます。今回は初期設定の(通勤補正5%)にしました。
- ④ 適用をクリックすると入力した補正率で労務単価が補正されます

直接工事費 → 基礎碎石

名称	基礎碎石(通勤補正5%)	帳票番号	施工第1号	コード	UMX&UI-SAP033_
規格	7.5cm以下,再生ケッシャラン 40~0	条件変更		単位	m <sup>2</sup>
	代表機労材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	補正式
▶ K	機械	-		5.31	
K1	パッケージ料[加~型・排糞型(1~3次)](長期割引) 山積0.8m <sup>3</sup> [平積0.6] ...	日	5.28	10,700	
R	労務	-		83.56	
R1	普通作業員(通勤補正5%)	人	43.7	18,065	
R2	特殊作業員(通勤補正5%)	人	18.98	18,690	
R3	土木一般世話役(通勤補正5%)	人	10.48	19,635	
R4	運転手(特殊)(通勤補正5%)	人	9.82	18,690	
Z	材料	-	11.13		
Z1	再生ケッシャラン 40~0mm	m <sup>3</sup>	8.62	3,300	
Z2	軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	L	2.5	118	

普通作業員などの労務単価を通勤補正しました。  
補正された労務単価の名称の末尾に(通勤補正5%)と入りました。

## 2-3.冬期補正の場合



- ① 冬期補正の適用するにチェックを入れます。
  - ② 補正率を入力します。 (例) 3%の場合は3と入力します。
  - ③ 名称の末尾に追加する文字列は自由に変更できます。今回は初期設定の(冬期補正3%)にしました。
  - ④ 適用をクリックすると入力した補正率で労務単価が補正されます。
- ※運転手（特殊・一般）及び助手は補正の対象外です。

直接工事費 ▶ 基礎碎石					
名称	基礎碎石(冬期補正3%)	帳票番号	施工第1号	コード	UMX&U1-SAP033
規格	7.5cm以下,再生クラッシャン 40~0	条件変更		単位	m <sup>2</sup>
K	機械		単位(現地)	構成比	単価(現地)
K1	パッケージ料[かご型・排糞型 (1~3次)] (長期割引) 山積0.8m <sup>3</sup> [平積0.6] ...	日	5.28	10,700	
R	岩盤	-	93.58		
R1	普通作業員 (冬期補正3%)	人	43.7	15,759	
R2	特殊作業員 (冬期補正3%)	人	18.98	18,334	
R3	土木一般世話役 (冬期補正3%)	人	10.48	19,261	
R4	運転手(特殊)	人	9.82	17,800	
Z	材料	-	11.13		
Z1	再生クラッシャン 40~0mm	m <sup>3</sup>	8.62	3,300	
Z2	軽油 ハートル給油,2~4KL積載車給油	L	2.5	118	

普通作業員などの労務単価を冬期補正しました。  
補正された労務単価の名称の末尾に(冬期補正3%)と入りました。  
運転手は対象外ですので補正されていません。

## 2-4.二つの補正を同時に行う場合



- ① 冬期補正、通勤補正にチェックを入れます。
- ② それぞれの補正率を入力します。
- ③ 名称の末尾に追加する文字列を編集します。今回は(冬期補正3%)、(通勤補正5パーセント)としました。
- ④ 適用をクリックすると入力した補正率で労務単価が補正されます。

	代表機労材規格(現地)	単位(現地)	構成比	単価(現地)	補正式
K	機械	-	5.31		
K1	パッケージ料[か-う型・排糞型 (1~3次)] (長期割引) 山積0.8m <sup>3</sup> [平積0.6] ...	日	5.28	10,700	
R	労務	-	83.56		
R1	普通作業員 (冬期補正3%) (通勤補正5%)	人	43.7	16,524	
R2	特殊作業員 (冬期補正3%) (通勤補正5%)	人	18.98	19,224	
R3	土木一般世話役 (冬期補正3%) (通勤補正5%)	人	10.48	20,196	
R4	運転手(特殊) (通勤補正5%)	人	9.82	18,690	
Z	材料	-	11.13		
Z1	再生ケラシヤ(40~0mm)	m <sup>3</sup>	8.62	3,300	
Z2	軽油 W#10-1給油,2~4KL積載車給油	L	2.5	118	

労務単価をそれぞれ冬期、通勤補正しました。

補正された労務単価には(冬期補正3%)、(通勤補正5%)が名称の末尾に追加されます。  
運転手は冬期補正の対象外ですので補正されず名称にも(通勤)だけ追加されます。

## 2-5.冬期補正（現場管理費の補正）の場合

積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合、  
寒冷地手当を支給する為に現場管理費を補正しています。

### (1) 積雪寒冷地の施工期間

施工期間	適用地域	備考
11月1日～3月31日	北海道、青森県、秋田県	積雪地特性を11月中の降雪が5日以上ある事
12月1日～3月31日	上記以外の地域	

(2) 工場製作工事及び冬期条件下で施工することが前提となっている除排雪工事等は適用しない。

### (3) 補正の計算式

$$\text{積雪寒冷地域補正率} (\%) = \boxed{\text{冬期率}} \times \boxed{\text{補正係数}} \rightarrow$$

↓

冬期率 = 12月1日～3月31日 (11月1日～3月31)までの工事期間 ÷ 工期

積雪寒冷地域の区分	補正係数
1級地	1.8
2級地	1.6
3級地	1.4
4級地	1.2

### (4) 補正の計算例

場所 : 4級地 → 補正係数 1.20  
工事期間 : 10月1日～3月31日 計123日  
冬期工事期間 : 12月1日～3月31日 計62日 の場合

① まず、冬期率を算出します。

$$\text{冬期率} = \frac{12月1日～1月31日までの工事期間}{工期} = \frac{62日}{123日} = 0.504 \approx 0.50$$

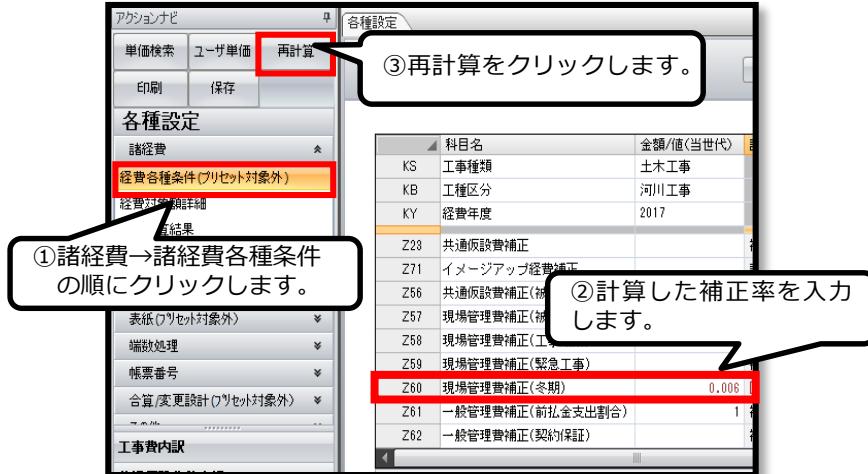
② 積雪寒冷地域補正率を算出します。

積雪寒冷地域補正率 = 0.50 (冬期率) × 1.20 (補正係数) = **0.60%** となります。

※頂に入力する際には、計算結果を100で割った数字を入力してください。

(ここでは  $0.6 \div 100 = 0.006$  になります。)





④ 諸経費→経費計算結果をクリックし補正結果を確認します。

現場管理費率をご確認ください。積雪寒冷地域補正率の0.6%が補正されています。

科目名	金額/値(当世代)
純工事費	11,138,000
現場管理費率額	4,243,000
—現場管理費対象額	11,138,000
<b>現場管理費率</b>	<b>38.1%</b>
現場管理費積上額	
現場管理費計	4,243,000
工事原価	15,381,000
一般管理費率額	2,771,656
—一般管理費対象額	15,381,000
<b>一般管理費率</b>	<b>18.02%</b>
契約保証費	
一般管理費調整額	-2,656

→

科目名	金額/値(当世代)
純工事費	11,138,000
現場管理費率額	4,310,000
—現場管理費対象額	11,138,000
<b>現場管理費率</b>	<b>38.7%</b>
現場管理費積上額	
現場管理費計	4,310,000
工事原価	15,448,000
一般管理費率額	2,783,729
—一般管理費対象額	15,448,000
<b>一般管理費率</b>	<b>18.02%</b>
契約保証費	
一般管理費調整額	-1,729

38.1%から38.7%に  
0.6%補正されました。

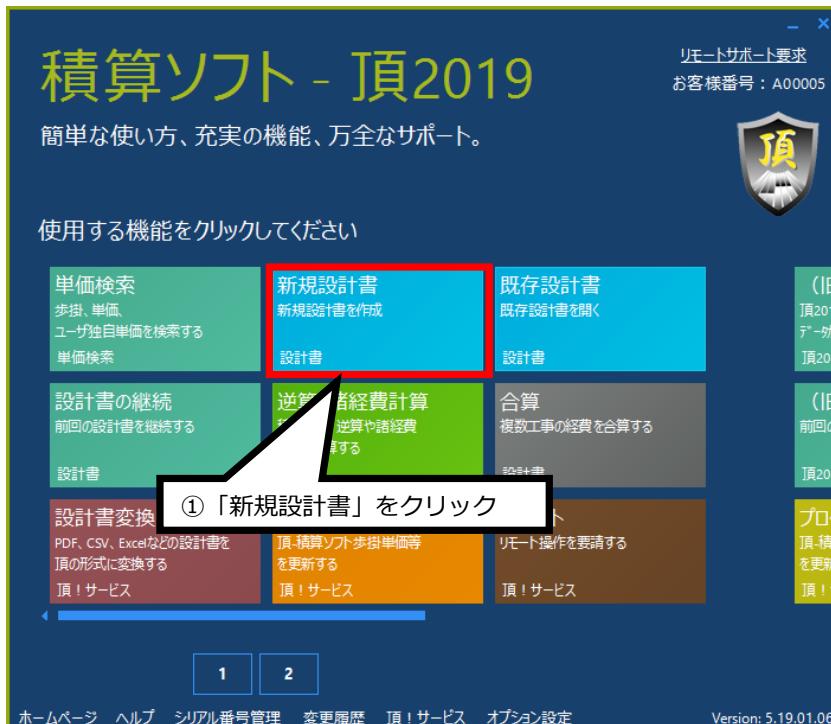
### 3.ユーザ単価

#### 3-1 ユーザ単価の作成

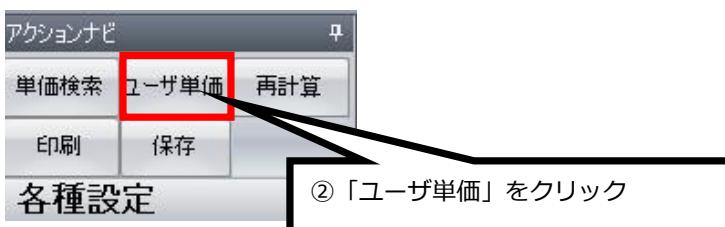
設計書の中には地域独自の歩掛がいくつか存在します。

独自の歩掛は「ユーザ単価」で一度作成すれば、次回から作成する手間が省けます

新規設計書を開きます。

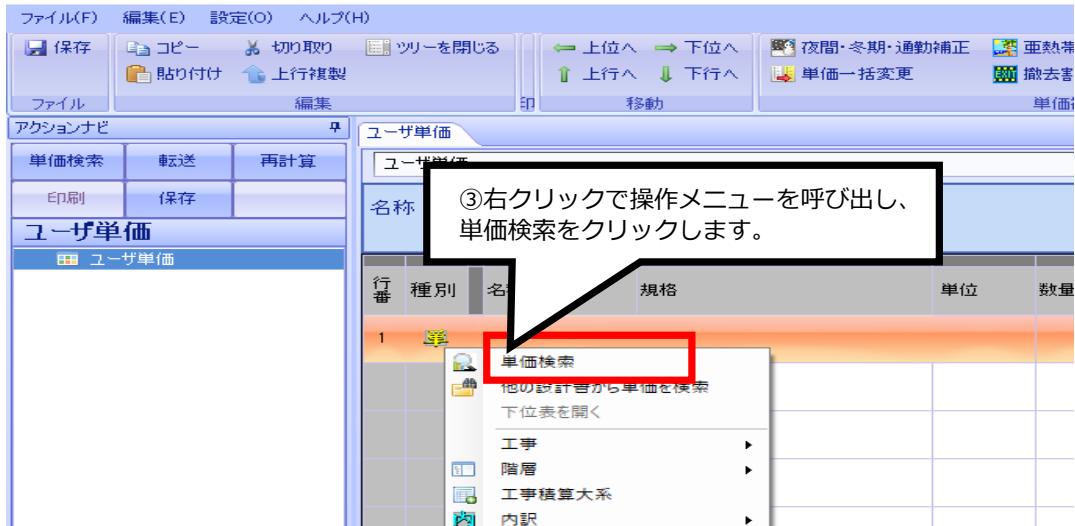


新規設計書画面が開いたら、ユーザ単価画面を開きます。



ここでは「管路埋戻（洗砂）」をユーザ単価として作成し登録します。  
洗砂の使用が独自の部分です。

青色の画面（ユーザ単価画面）に移動します。

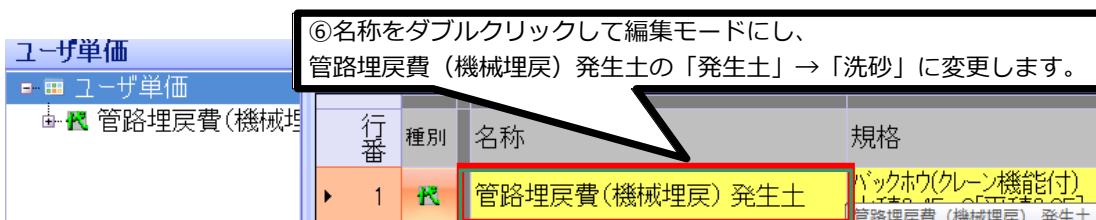


単価検索画面に移動します。

「E 上水道」 → 「E-1 上水管路土工」 → 「E-1-2 管路埋戻」 → 「1 機械埋戻（水道・標準）」 「E-1-2-1-01 発生土」 → 「E-1-2-1-01-4 管路埋戻費（機械埋戻）発生土」を選択し 転送します。



ユーザ単価画面に戻ります



名称 ユーザ単価

⑦行番をダブルクリックし  
下位表（代価表）の画面へ移動します。

行番	種別		規格	単位
1	代	管路埋戻費(機械埋戻) 洗砂	バックホウ(クレーン機能付)山積0.45m <sup>3</sup> [平積0.35]	m <sup>3</sup>

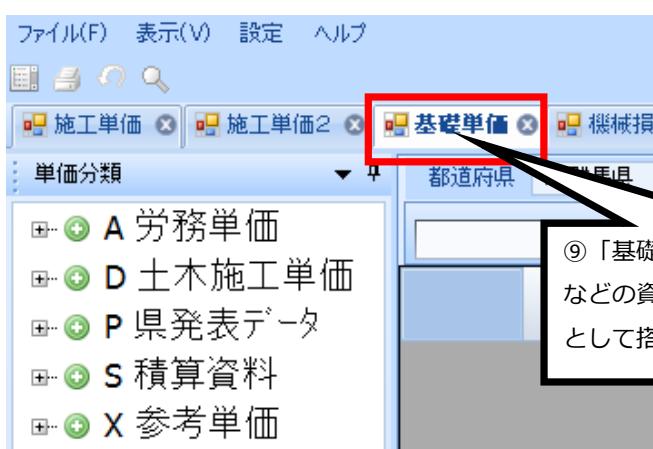
下位表（代価表）が表示されました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量
1	単	土木一般世話役		人	2.1
2	単	普通作業員		人	5.9
3	代	バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排糞型(1次)]	山積0.45m <sup>3</sup> [平0.35]2.9t吊	h	42
4	代	タシバ運転(賃料)	60~80kg	日	3
5	単	諸雑費		式	1
▶					
<span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">単価検索</span> <input type="radio"/> 内訳 <input checked="" type="radio"/> 代価 <input type="radio"/> 単価					

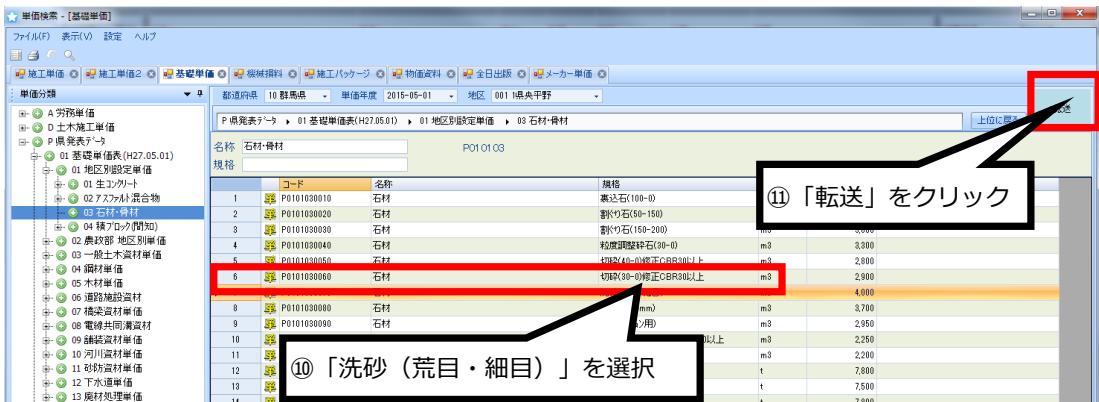
⑧下位表に移動し、諸雑費の下の行で右クリックし  
単価検索をクリックします。

単価検索画面に移動しました。

単価検索から「洗砂」を選択し転送します。



基礎単価のタブ内から洗砂(粗目・細目)を選択し、転送します。



下位表（代価表）画面に移動しました。

諸雑費の下行に転送されました。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	単	土木一般世話役		人	2.1	21,800
2	単	普通作業員		人	5.9	17,300
3	代	バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)]	山積0.45m <sup>3</sup> [平0.35]2.9t	h	4.2	7,045
4	代	ダンバ運転(賃料)	60~80kg	日	3	20,500
5	□	諸雑費		式	1	61
▶ 6	単	石材	洗砂(荒目・細目)	m <sup>3</sup>	126	4,000

数量の入力を終え完成しました。左のユーザ単価をクリックし上の画面へ戻ります。

ユーザ単価		規格	積算数量
ユーザ単価		100	単位 m <sup>3</sup>
⑬ 「ユーザ単価」をクリック			
1	単	土木一般世話役	人
2	単	普通作業員	人
3	代	バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型(1次)]	h
4	代	ダンバ運転(賃料)	日
5	□	諸雑費	式
6	単	石材	m <sup>3</sup>

管路埋戻費（洗砂）の作成が完了しました。

ユーザ単価						
ユーザ単価		種別	名称	規格	単位	数量
▶	1	代	管路埋戻費（機械埋戻）洗砂	バックホウ(クレーン機能付) 山積0.45m3[平積0.35]	m3	0

### ★ユーザ単価の保存

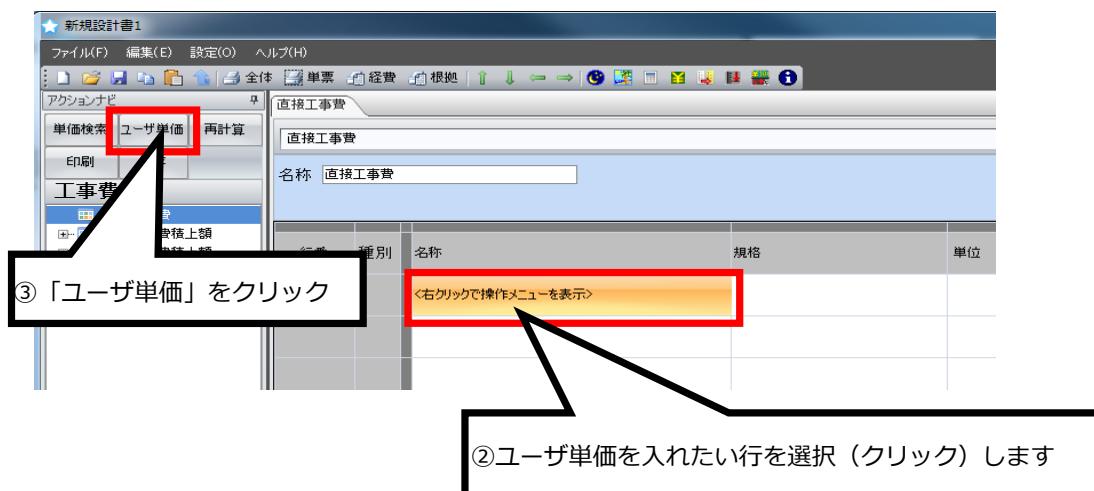
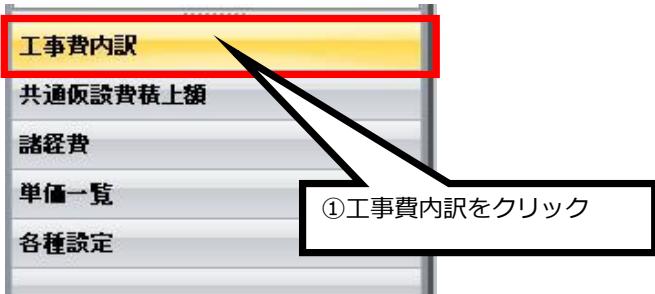
「保存」ボタンで作成したユーザ単価を保存できます。



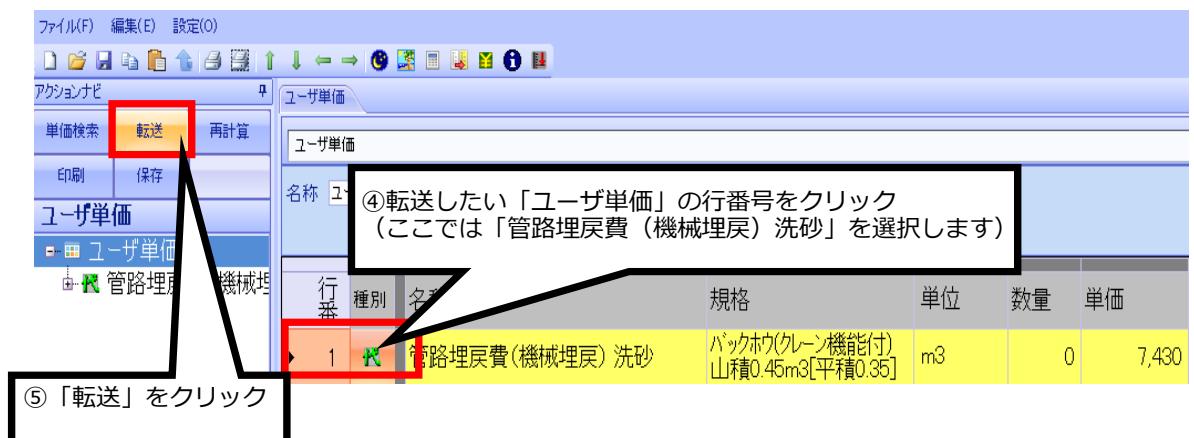
The screenshot shows the 'User Price' creation screen. At the top, there is a toolbar with various buttons like Save, Copy, Paste, and Print. Below the toolbar is a navigation bar with tabs like 'File', 'Edit', 'Setting', and 'Help'. On the left, there is a sidebar with a tree view showing 'User Price' and its sub-item '管路埋戻費（機械埋戻）洗砂'. The main area is titled 'User Price' and contains a table with one row. The table has columns for '行番' (Line No.), '種別' (Type), '名称' (Name), '規格' (Specification), and '単位' (Unit). The first row shows '1', '代', '管路埋戻費（機械埋戻）洗砂', 'バックホウ(クレーン機能付)  
山積0.45m3[平積0.35]', and 'm3'. A callout box labeled '⑬ 「保存」をクリック' (Click 'Save') points to the 'Save' button in the toolbar, which is highlighted with a red box.

### 3-2 ユーザ単価の転送

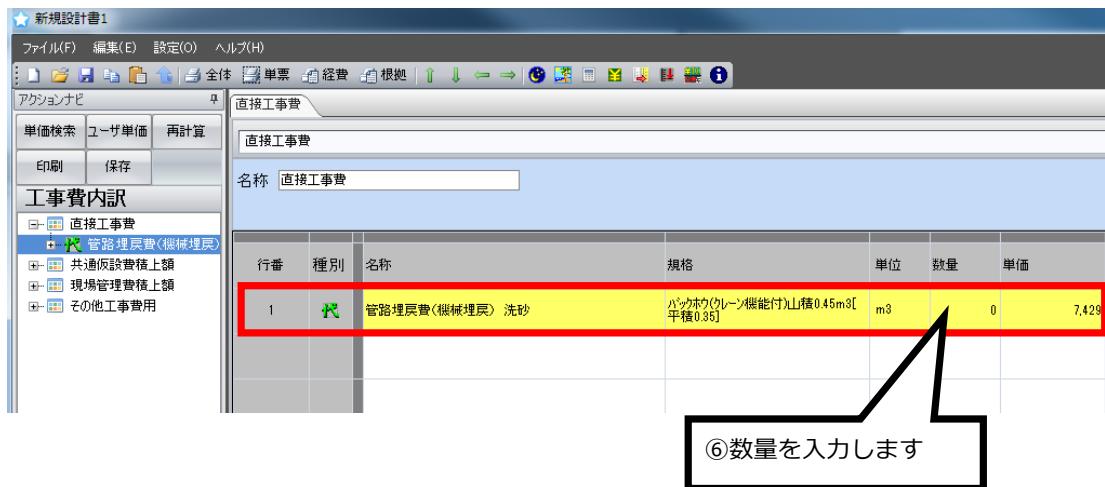
設計書画面から工事費内訳画面を開きます。



ユーザ単価画面が表示されます



設計書画面に戻り、ユーザ単価が転送されました。

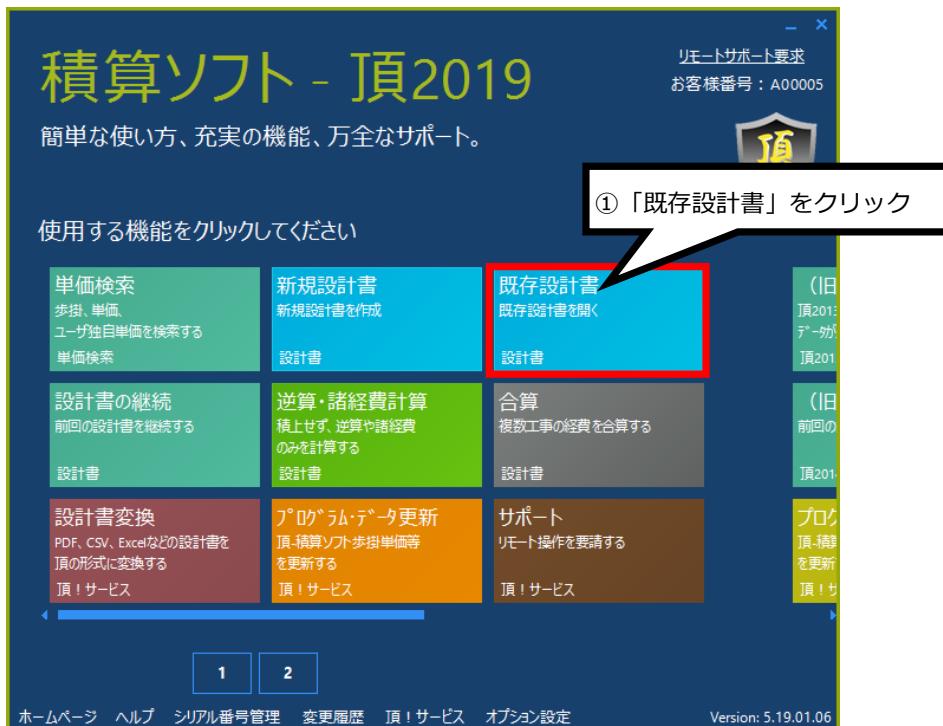


## 4. 変更設計について

### 4-1 変更設計書の作成

注意 当初設計書をコピーした設計書ファイルで変更設計を作成してください。

既存設計書から変更したい設計書を選択し開きます。

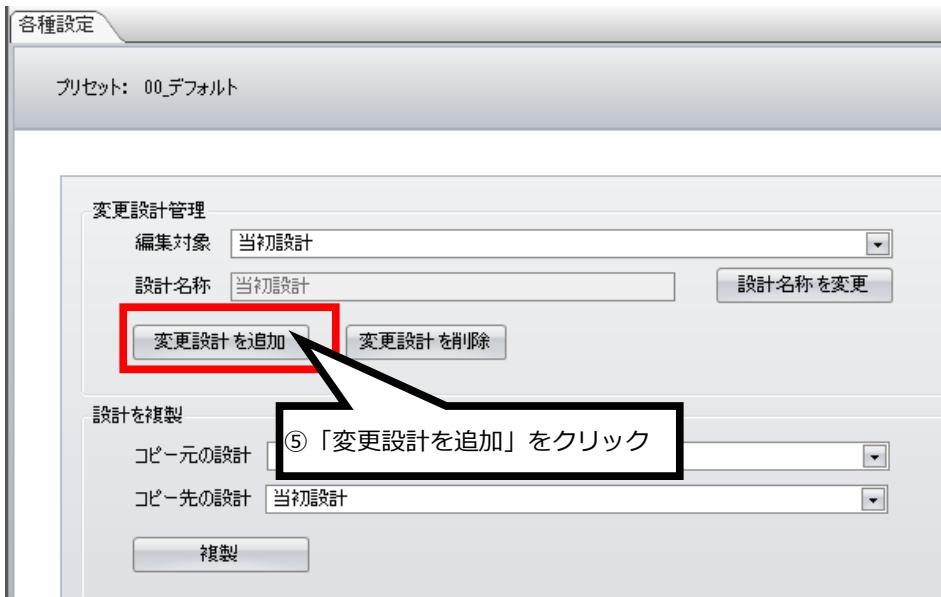


各種設定をクリックすると下記メニューが表示されます。

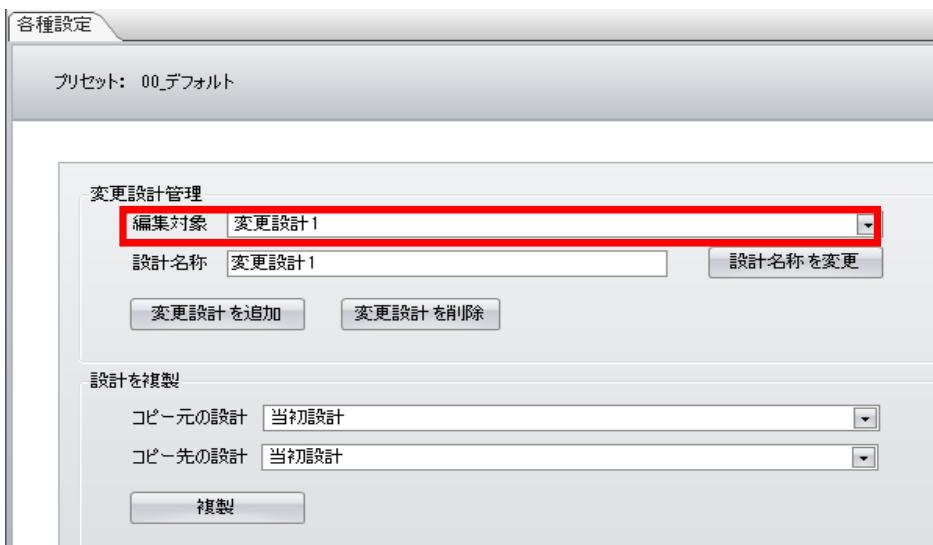
The screenshot shows two windows. The left window is titled 'Various Settings' and lists options: 'Common Item Price Adjustment', 'Various Expenses', 'Single Price List', and 'Various Settings'. A callout with the number ② points to the 'Various Settings' item, which is highlighted with a red box. The right window is titled 'Action Navigation' and shows a grid of buttons: 'Single Price Search', 'User Single Price', 'Recalculation', 'Print', and 'Save'. Below this is the 'Various Settings' menu, which includes 'Various Expenses', 'Table', 'Account Book', 'Change Design (Not Set as Default)', and 'Change Design'. A callout with the number ③ points to the 'Change Design (Not Set as Default)' item, which is highlighted with a red box. Another callout with the number ④ points to the 'Change Design' item, which is also highlighted with a red box.

合算/変更設計（プリセット対象外）をクリックし、  
変更設計を選択します。

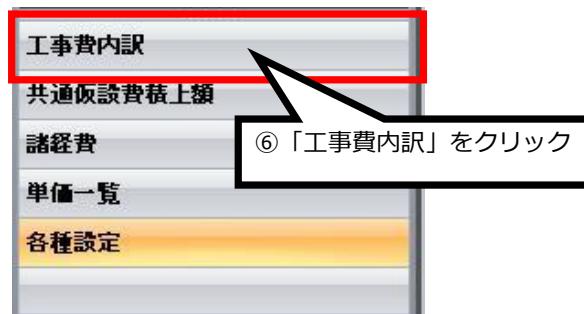
変更設計画面が開きました。



変更設計が追加され編集対象の欄が変更設計 1 に変わりました。



工事費内訳の画面に移動します。



変更前が表示された画面になります

種別	名称	規格	単位	変更前数量	変更前単価	変更前金額	数量	単価	金額	摘要
①	Φ150mm布設工事		式	1		3,310,234	1		3,310,234	
内	・Φ150mm材料費		式	1	1,109,141	1,109,141	1	1,109,141	1,109,141	
内	・Φ150mm土工		式	1	190,167	190,167	1	190,167	190,167	
内	・Φ150mm管布設工		式	1	1,484,014	1,484,014	1	1,484,014	1,484,014	
内	・Φ150mm弁類設置工		式	1	163,717	163,717	1	163,717	163,717	
内	・Φ150mm仮設工		式	1	362,645	362,645	1	362,645	362,645	
②	・直接経費		式	1		550	1		550	
内	・排水費		式	1	550	550	1	550	550	550

元設計と同じものがコピーされています

⑦ 数量など変更内容を入力します。

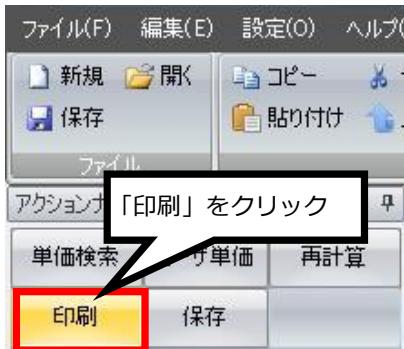
代価や内訳の変更は必ず下位表を開いて、下位表（明細表）で修正してください。

数量や単価、金額の変更が発生した部分は数字が赤色に変わります。

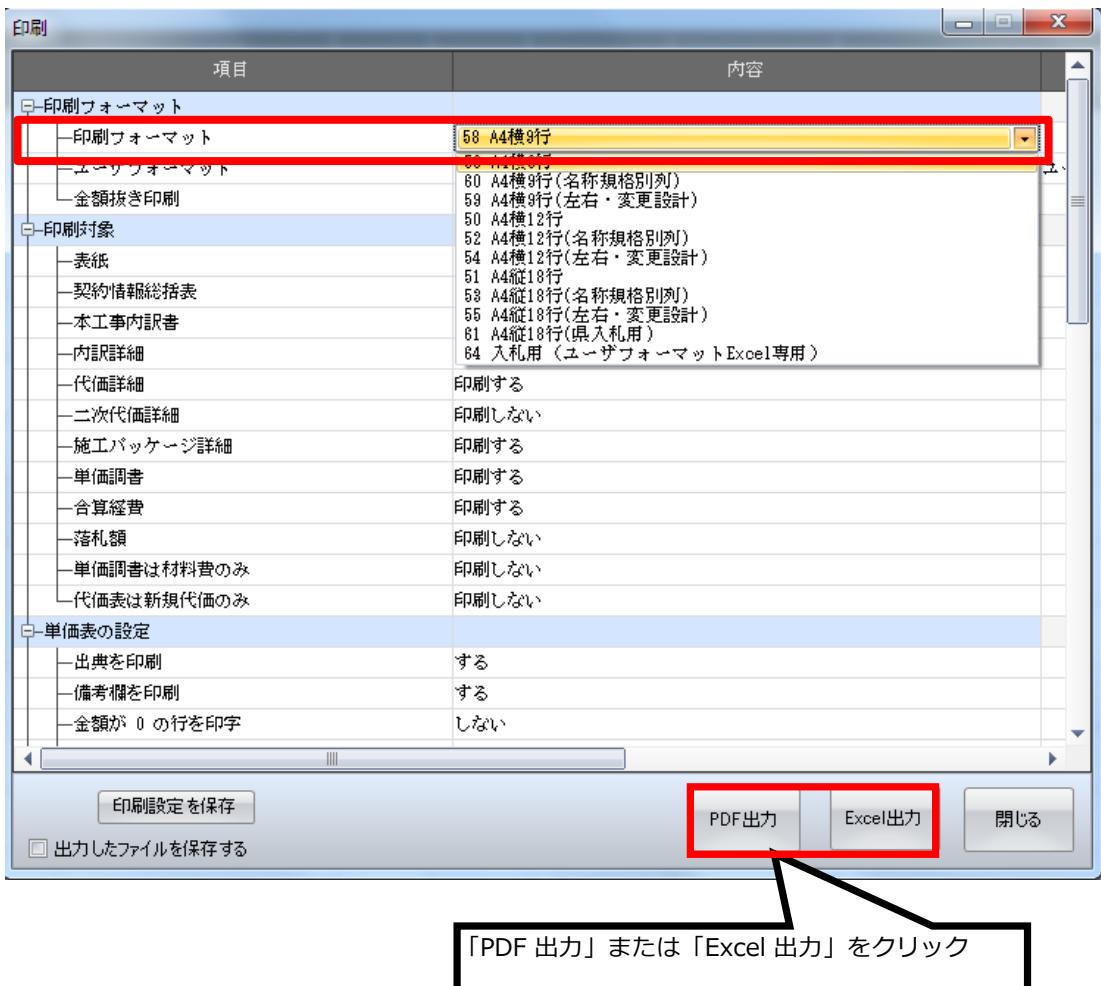
種別	名称	規格	単位	変更前数量	変更前単価	変更前金額	数量	単価	金額	摘要
①	Φ150mm布設工事		式	1		3,310,234	1		4,494,634	
内	・Φ150mm材料費		式	1	1,109,141	1,109,141	1	2,293,541	2,293,541	
内	・Φ150mm土工		式	1	190,167	190,167	1	190,167	190,167	
内	・Φ150mm管布設工		式	1	1,484,014	1,484,014	1	1,484,014	1,484,014	
内	・Φ150mm弁類設置工		式	1	163,717	163,717	1	163,717	163,717	
内	・Φ150mm仮設工		式	1	362,645	362,645	1	362,645	362,645	
②	・直接経費		式	1		550	1		550	
内	・排水費		式	1	550	550	1	550	550	550

## 4-2 変更設計書の印刷

変更設計書を作成し、印刷ボタンをクリックします。



まず、初期設定（58A4 横9行）の印刷フォーマットで印刷してみます。



印刷の初期設定では上下段表示になります。

変更があった部分は上段が変更前、下段が変更後です。

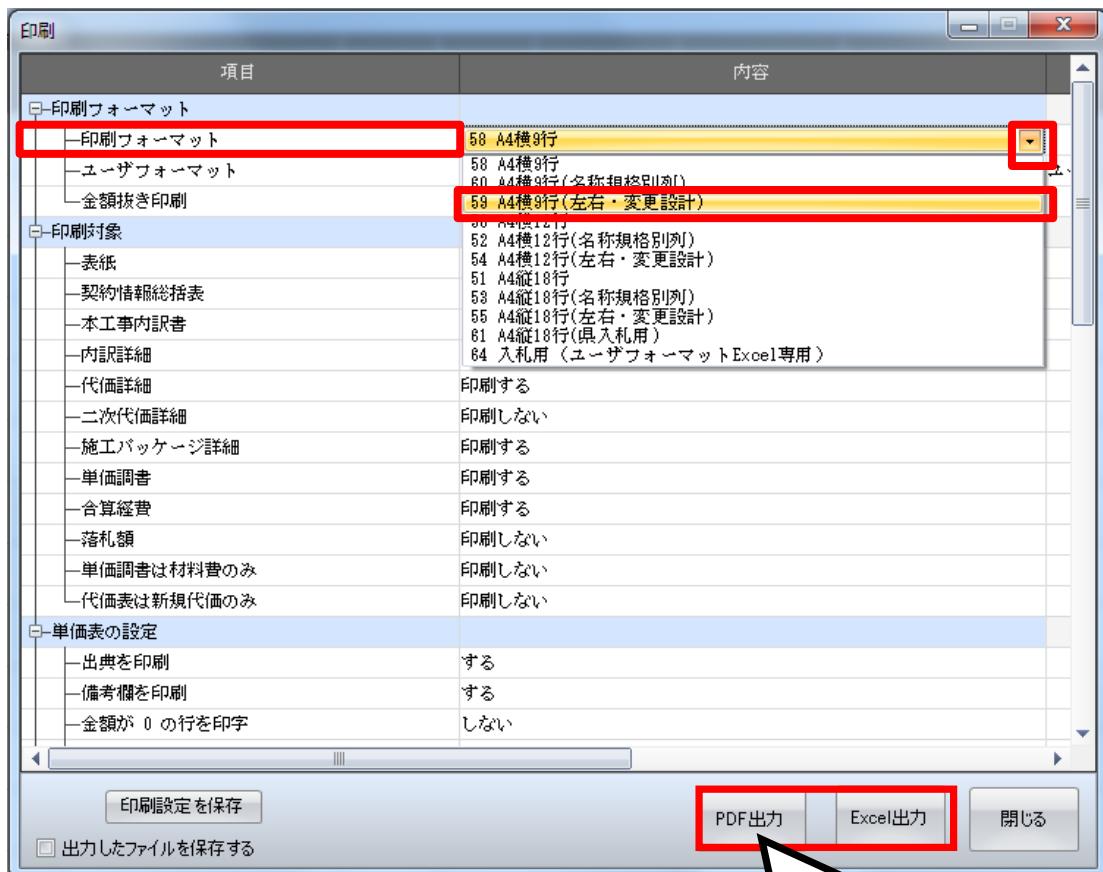
### 本工事費内訳書

頁0002

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	備考
Φ150mm布設工事	1	式		( 3,310,234 ) 4,494,634	(管:1861423/処:550) 管:3045823/処:50
Φ150mm材料費		式		( 1,109,141 ) 2,293,541	(管:1109141 管:2293541)
Φ150mm土工	1	式		190,167	内訳第2号
Φ150mm管布設工	1	式		1,484,014	内訳第3号 (管:752282) 管:752282
Φ150mm弁類設置工	1	式		163,717	内訳第4号
Φ150mm直埋工				362,645	内訳第5号
直接			( 变更前→ 3,310,234 ) 変更後→ 4,494,634	(管:1 管:30)	550 (処:550) 内訳第6号 (管:1 管:22)
Φ100mm			( 变更前→ 1,109,141 ) 変更後→ 2,293,541	内訳第7号 (管:1 管:22)	550 (処:550) 6,977,049 (管:4114827/処:550) 管:4114827/処:550
				内訳第8号	

左右表示することも可能です。

印刷フォーマットで 59、または 54、55（左右・変更設計）を選択すると左右表示されます。



「PDF 出力」または「Excel 出力」をクリック

左側に変更前、右側に変更後が表示されます。

金額が変更されている部分は赤文字で表示されます。

本工事費内訳書							頁0002
費目・工種・種別・細目	位	当初設計			変更設計		備考
		数量	単価	金額	数量	単価	
Φ150mm布設工事	式	1		3,310,234	1		4,494,634 (管:361423/処:550) 管:361423/処:550
Φ150mm材料費	式	1		1,109,141	1		2,293,541 (内訳:1号 管:36141) 内訳:1号 管:36141)
Φ150mm土工	式	1		190,167	1		190,167 内訳:2号
Φ150mm管布設工	式	1		1,484,014	1		1,484,014 (管:32282) 管:32282
Φ150mm弁類設置工	式	1		163,717	1		163,717 内訳:4号
Φ150mm仮設工	式	1		362,645	1		362,645 内訳:5号
直接経費	式	1		550	1		550 (内訳:550) 内訳:550
排水費	式	1		550	1		550 (内訳:6号 管:550) 内訳:6号 管:550
Φ100mm布設	式	1		6,977,049	1		6,977,049 (管:4114827/処:550) 管:4114827/処:550

変更前  
↓

変更後  
↓

位	当初設計			変更設計			
	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
	1		3,310,234	1		4,494,634 (管: 管:361423/処: 処:550)	
	1		1,109,141	1		2,293,541 (内訳: 内訳:1号 管:36141) 内訳:1号 管:36141)	

## 補足説明

(1) 左右表示で印刷する際、初期設定では列名が当初設計、変更設計となっていますが、自由に変更することができます。PDF、Excel 出力する前に、印刷設定の当世代（最新設計）の列名、前世代（一個前の設計）の列名を変更してください。

□-単価表の設定	
出典を印刷	する
備考欄を印刷	する
金額が 0 の行を印字	しない
金額が 0 の諸雑費計算行を印字	する
帳票番号を印刷	する
「名称」の列名	印刷設定内で列名を編集してください
「規格」の列名	規 格
「名称・規格」（本工事費内訳書）の列名	費目・工種・種 目
「名称・規格」（内訳、代価表など）の列名	名 称 ・ 規 格
「備考」の列名	備 考
当世代（最新設計）の列名	変更設計
前世代（一個前の設計）の列名	当初設計
前世代の単価・数量・金額を印刷	する
□-(本)工事費内訳表	

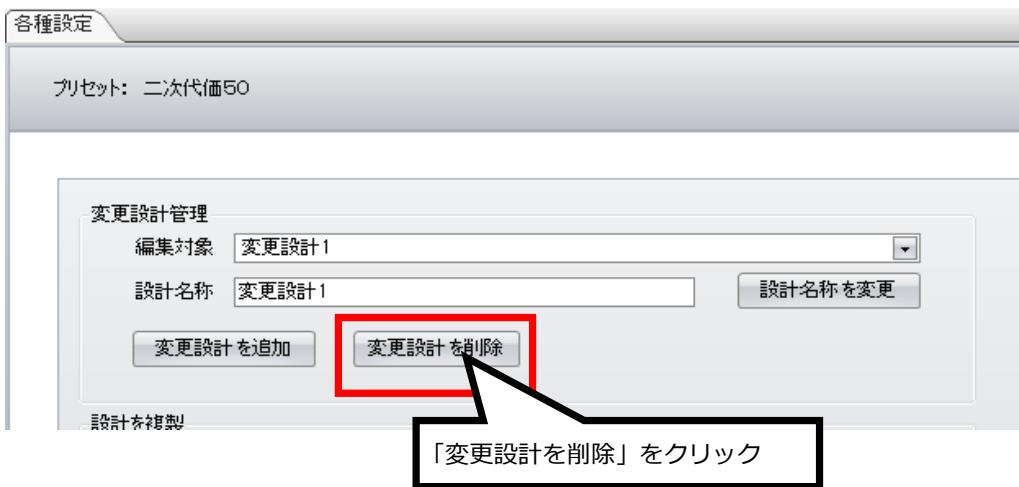
The diagram illustrates the change of column names in the 'Kōsiki-hōsho' (Construction Cost Statement) table. A red circle highlights the 'Initial Design' section, and another red circle highlights the 'Modified Design' section. A large blue arrow points from the 'Initial Design' section to the 'Modified Design' section, indicating the transition.

初期設計			変更設計		
数量	単価	金額	数量	単価	金額
1		3,310,234	1		4,494,634 (管:3)
1		1,109,141	1		2,293,541 (管:2)

列名が変更されます

変更前			変更後		
数量	単価	金額	数量	単価	金額
1		3,310,234	1		4,494,634 (管:3)
1		1,109,141	1		2,293,541 (管:2)

(2) 各種設定の変更設計画面で「変更設計を削除」をクリックすると、変更設計が削除され 当初設計書の状態に戻ります。

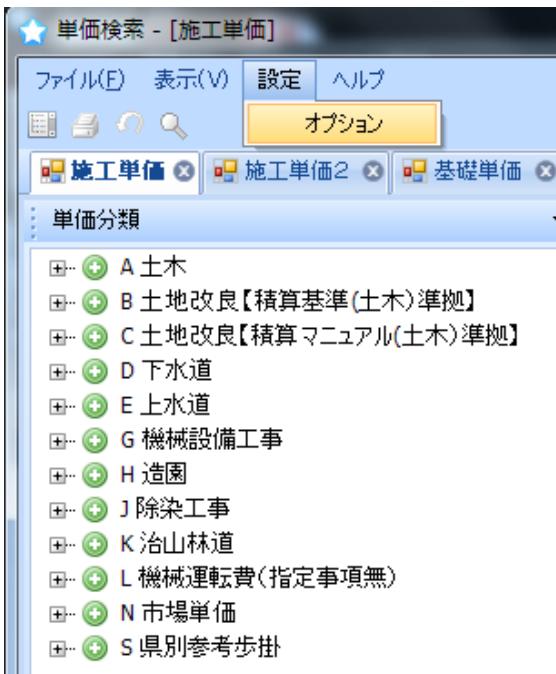


注意 変更設計に亜熱帯・夜間工事がある場合、【変更設計を削除】しても、当初設計書の状態には戻りません。

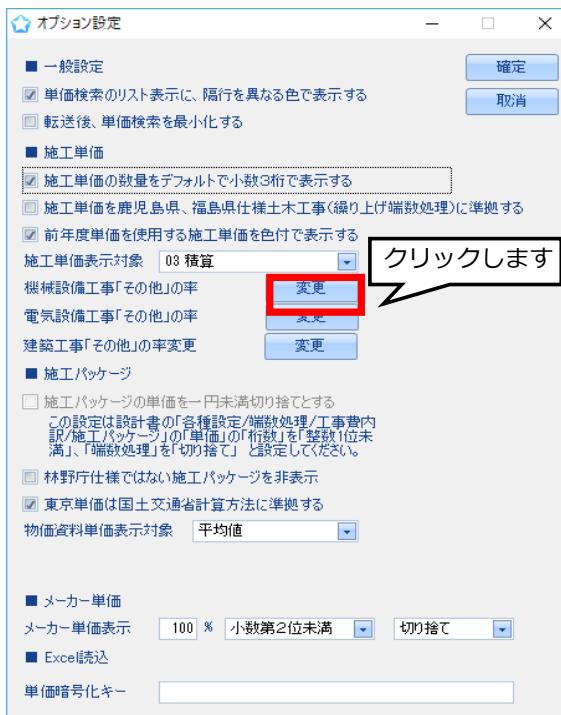
## 5.機械設備歩掛 その他の率の変更方法

単価検索を起動します。

次に設定のオプションをクリックします。

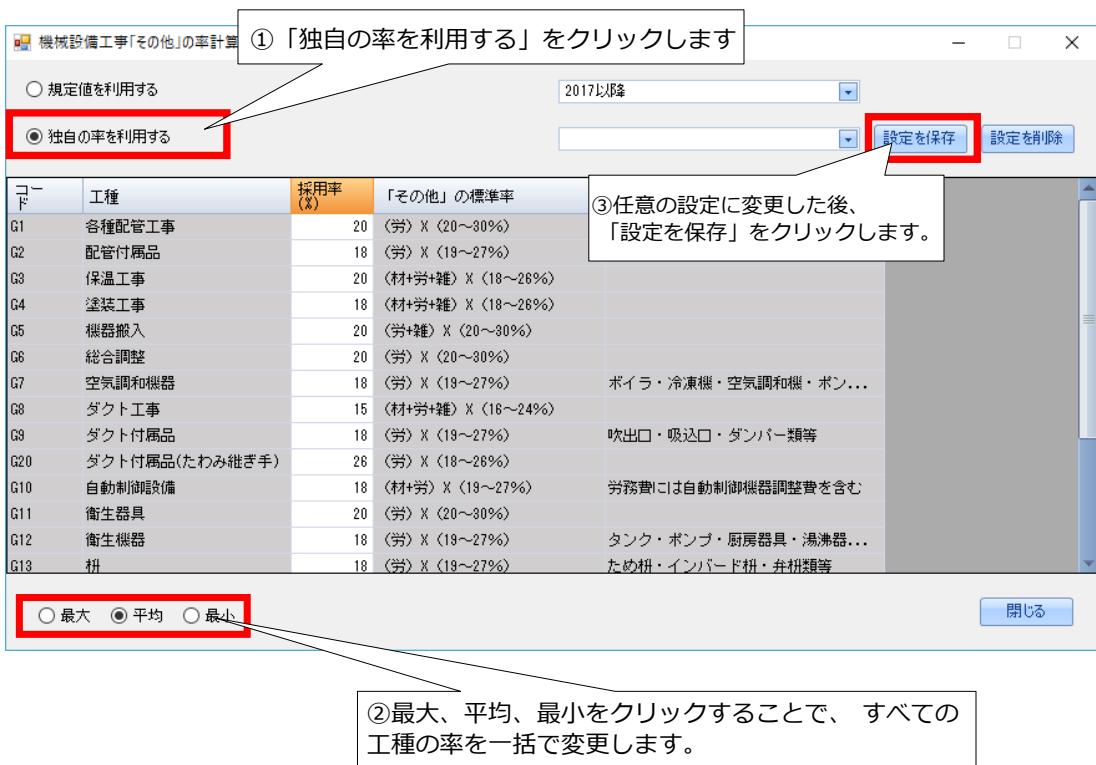


機械設備工事「その他」の率 変更をクリックする。



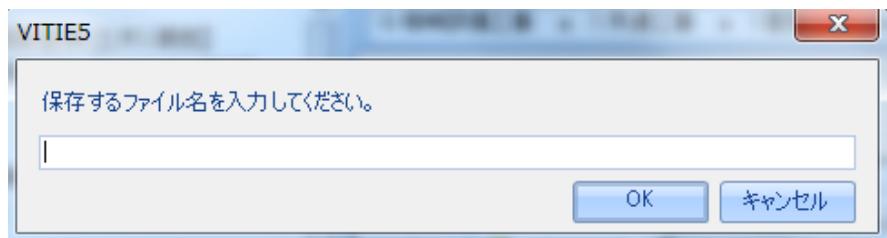
初期設定ではその他の率は最大に設定されています。 (国交省が最大と定めている為)  
ここでは一括して率を変更することも、工種ごとに率を変更することも可能です。

## 5-1 一括して率を変更する場合

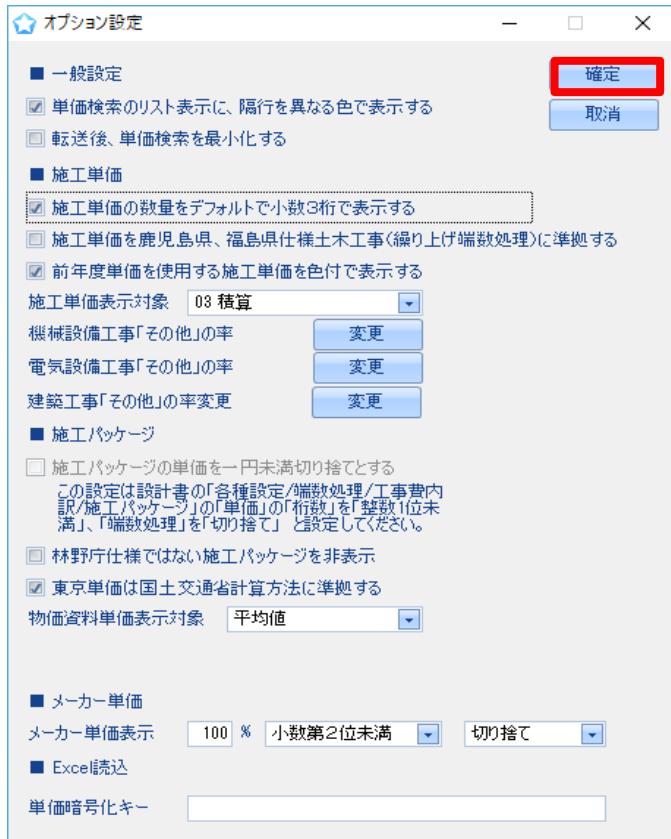


「設定を保存」をクリックすると下の画面に移動します。

保存するファイル名を入力しOKをクリックします。



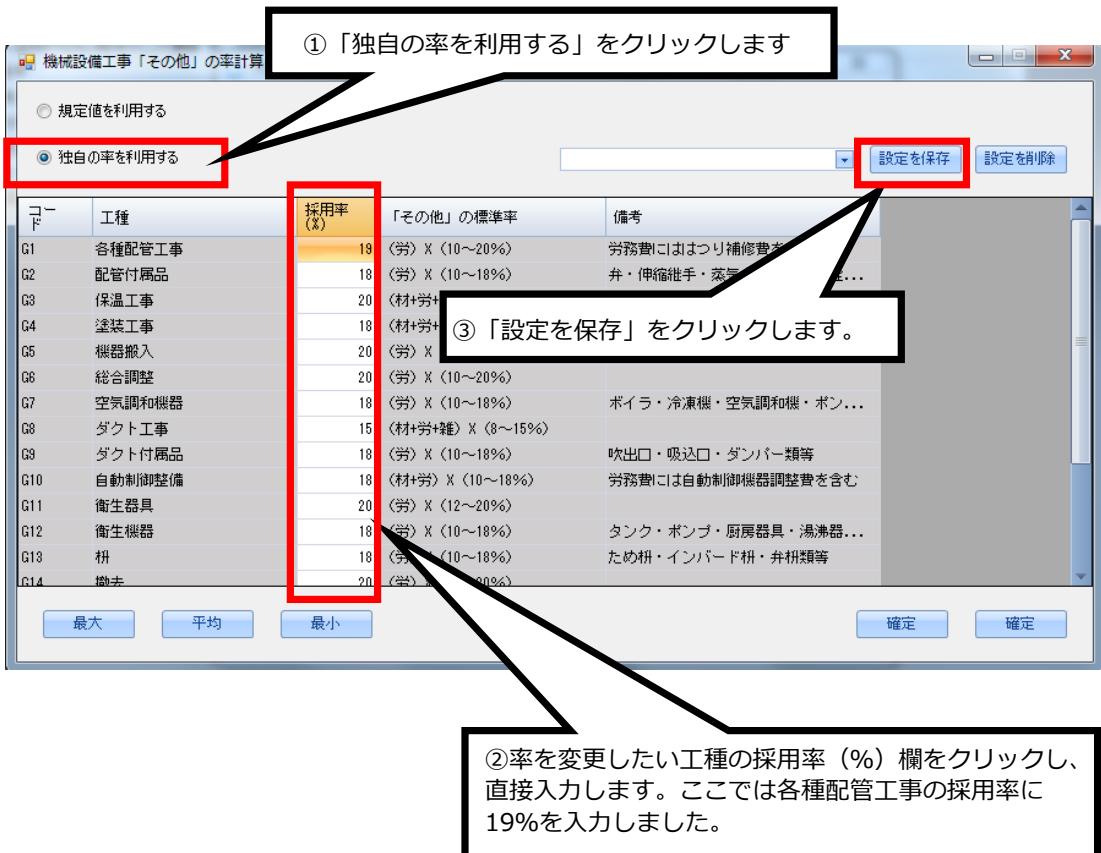
最後に確定をクリックします。変更した率が反映されます。



他の率が最大（20%）から平均（15%）に変更されました。

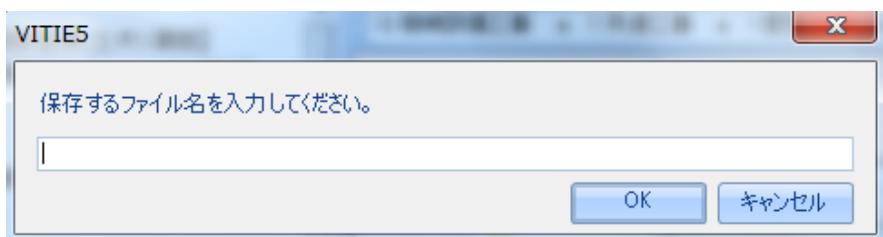
	コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記	計算式
1	单 Y00000008...	水道用ホリエレン粉体ラインク鋼管 外...	SGP-P...	m	1.1	442	486	F	
2	单 Y00000011...	継手		式	1	331	331	A	F/1.1*0.75
3	单 Y00000011...	接合材等		式	1	22	22	A	F/1.1*0.05
4	单 Y00000011...	支持金物		式	1	66	66	A	F/1.1*0.15
5	单 Y00000016...	配管工		人	0.089	19,300	1717	B	{SFQ:#&D9}
6	单 Y00000010...	仕事補修		式	1	137	137	H	H*0.08
7	单 Y00000010...	その他		式	1	278	278	X	(B+H)*0.15

## 5-2 工種ごとに率を変更する場合

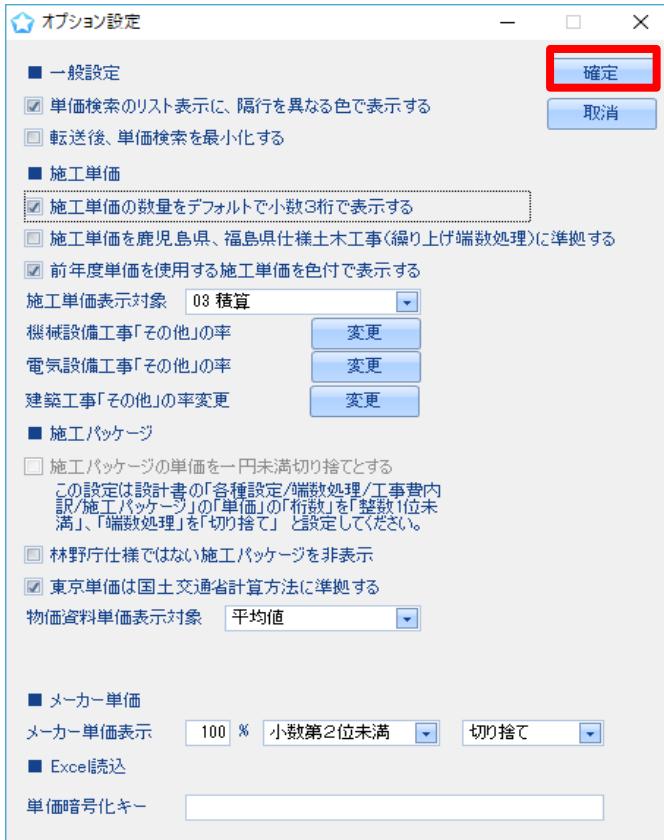


「設定を保存」をクリックすると下の画面に移動します。

保存するファイル名を入力しOKをクリックします。



最後に確定をクリックします。変更した率が反映されます。



他の率が19%に変更されました。

	コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記	計算式
1	■ Y00000008...	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 外...	SGP-P...	m	1.1	442	486	F	
2	■ Y00000011...	維手		式	1	331	331	A	F/1.1*0.75
3	■ Y00000011...	接合材等		式	1	22	22	A	F/1.1*0.05
4	■ Y00000011...	支持金物		式	1	66	66	A	F/1.1*0.15
5	■ Y00000016...	配管工		人	0.089	19,300	1717	B	{FQ*#&D8}
6	■ Y00000010...	(付)修理		式	1	137	137	H	B*0.08
7	■ Y00000010...	その他		式	1	352	352	X	(B+H)*0.19

## 6.工事落札額

積算が終了し工事落札額が決定しましたら、「Z B 工事落札額」に落札額を入力します。

X	工事価格	6,490,000	自動計算
Y	消費税	519,200	自動計算
YR	__消費税率		① 「Z B 工事落札額」に金額を入力します。 ここでは、6,000,000 と入力しました。
ZA	工事費計		
▶ ZB	工事落札額	6,000,000	固定値
ZE	請負比率		自動計算
ZC	落札額消費税		自動計算
ZD	工事請負額		自動計算



「Z E 請負比率」、「Z C 落札額消費税」、「Z D 工事請負額」が自動計算されます。

X	工事価格	6,490,000	自動計算
Y	消費税	519,200	自動計算
YR	__消費税率	8%	自動計算
ZA	工事費計	7,009,200	自動計算
▶ ZB	工事落札額	6,000,000	固定値
ZE	請負比率	92.4499%	自動計算
ZC	落札額消費税	480,000	自動計算
ZD	工事請負額	6,480,000	自動計算

印刷対象

表紙	工事設計書（積算者情報付）
契約情報総括表	<b>印刷する</b>
本工事内訳書	印刷する
内訳詳細	印刷する

③印刷対象の契約情報総括表を「印刷する」に設定すると  
契約情報総括表が印刷され、工事落札額や請負比率が表示されます。

### 契 約 情 報 総 括 表

		当初	第1回変更(増・減)	第2回変更(増・減)	第3回変更(増・減)	
積算段階	A 積算工事価格	6490000				
	B 消費税相当額	519200				
	C 積算額	7009200				
契約段階	D 工事価格	6000000				
	E 消費税相当額	480000				
	F 契約額	6480000				
	G 増減					
請負比率	H	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E  0.924499	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E  = A1×H = 0.924499 × =	B=A×0.08 C=A+B D=Aに対する応礼額 E=D×0.08 F=D+E  = A2×H = 0.924499 × =	D 1 算 出  = A3×H = 0.924499 × =

(注)  
 積算工事価格：落札率を乗じず、消費税等相当額を含まない額。  
 積算額：積算工事価格に消費税相当額を加算した額。  
 工事価格：応礼額、または積算工事価格に落札率を乗じた額で、消費税相当額を含まない額。  
 契約額：工事価格に消費税等相当額を加算した額。

株式会社エージェンシーソフト

## 6-1 設計変更後の工事落札額を計算

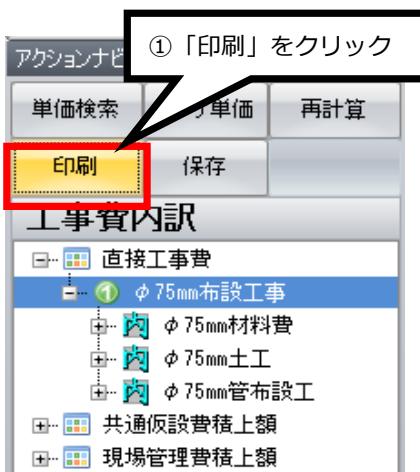
当初の設計書に工事落札額を入力します。（先ほどと同じように6,000,000を入力します）続いて変更設計書を作成します。（変更設計書の作成方法はマニュアル96ページ参照）

	科目名	金額/値（前世代）	金額/値（当世代）
X	工事価格	6,490,000	8,110,000
Y	消費税	519,200	648,800
YR	消費税率	8%	8%
ZA	工事費計	7,009,200	8,758,800
ZB	工事落札額	6,000,000	7,497,686
ZE	請負比率	92.4499%	92.4499%
ZC	落札額消費税	480,000	599,814
ZD	工事請負額	6,480,000	8,097,500

材料数量を変更し工事価格が1,620,000円増額され8,110,000に変わりました。「ZE 請負比率」は当初設計のまま、変更後の工事落札額が計算されます。

### 6-1-1 設計変更後の工事落札額の印刷

画面左の「印刷」、または画面上部のアイコンをクリックすると印刷設定画面へ移動します。



印刷対象	
表紙	工事設計書（積算者情報付）
契約情報総括表	<b>印刷する</b>
本工事内訳書	印刷する
内訳詳細	印刷する

②印刷対象の契約情報総括表を「印刷する」に設定すると  
契約情報総括表が印刷され、工事落札額や請負比率が表示  
されます。

### 契 約 情 報 総 括 表

		当初	第1回変更(増・減)	第2回変更(増・減)	第3回変更(増・減)		
積算段階	A 積算工事価格	6490000	8110000				
	B 消費税相当額	519200	648800				
	C 積算額	7009200	8758800				
契約段階	D 工事価格	6000000	7497686				
	E 消費税相当額	480000	599814				
	F 契約額	6480000	8097500				
	G 増減		1617500				
請負比率	H	B=A×0.08 C=A+B D=Hに対する応札額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Hに対する応札額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Hに対する応札額 E=D×0.08 F=D+E	B=A×0.08 C=A+B D=Hに対する応札額 E=D×0.08 F=D+E		
(注)		積算工事価格：落札率を乗じず、消費税等相当額を含まない額。 積算額：積算工事価格に消費税相当額を加算した額。 工事価格：応札額、または積算工事価格に落札率を乗じた額で、消費税相当額を含まない。 契約額：工事価格に消費税等相当額を加算した額。					
		D 1 算 出	= A1×H = 0.924499 × 7497686 = 8097500	D 2 算 出	= A2×H = 0.924499 × =	D 3 算 出	= A3×H = 0.924499 × =

株式会社エージェンシーソフト

## 7.CSV ファイルのインポート

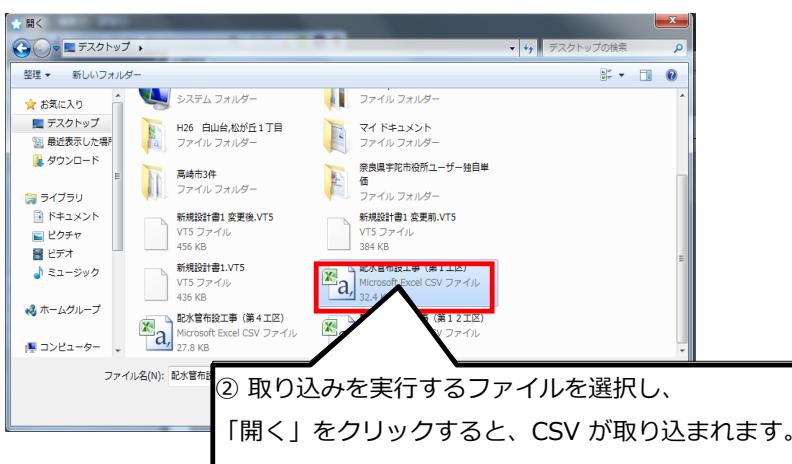
※Excel・PDF 変換サービス（弊社のお客様の向けWEBサイト「頂！サービス」）にて変換したCSV ファイルのみ取り込み可能です。

### 7-1. CSV ファイルのインポート方法

スタート画面より「既存設計書」を開きます。



取り込みを実行するファイル（頂！サービスで変換されたもの）を選択します。



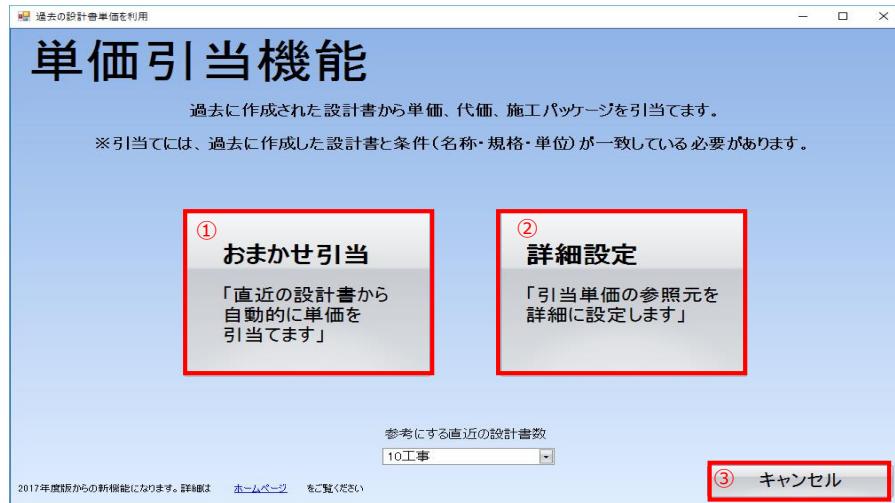
CSV ファイルが取り込まれると「学習機能」画面に移動します。

## 7-2. 学習機能について

学習機能とは過去に作成した設計書から歩掛・単価・施工パッケージを探し出し、現在作成中の設計書へ引き当てて金額を自動的に埋めていく機能です。

※ 「過去に作成した設計書」と「現在作成中の設計書」において、名称・規格・単位が一致したものに適用されます。

<「学習機能」画面>



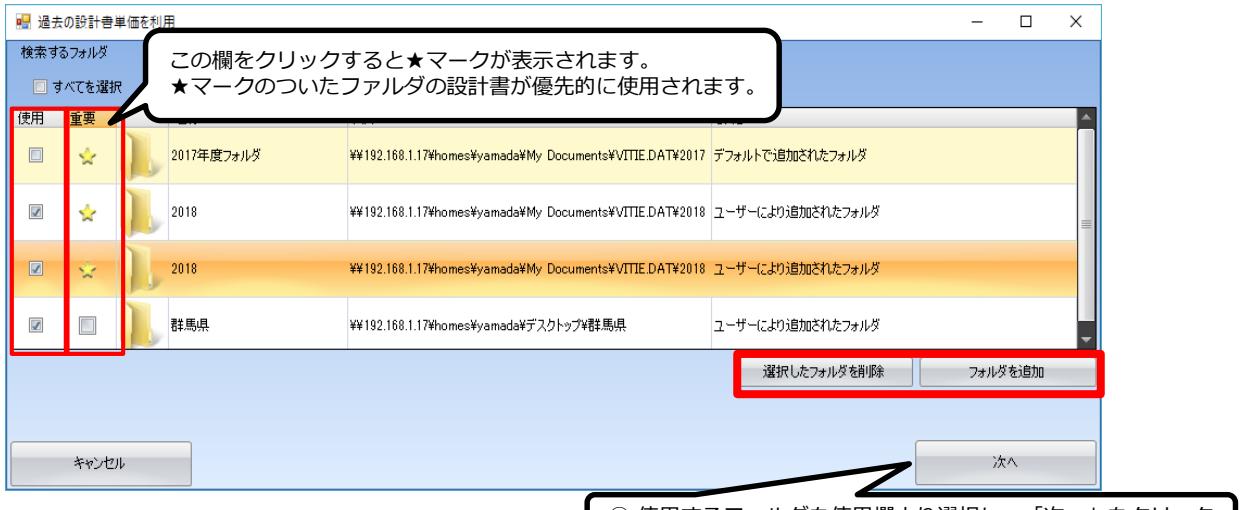
- ① おまかせ引き当て…歩掛・単価・施工パッケージを過去の設計書から自動的に引き当てます
- ② 詳細設定…学習機能に使用する過去設計書のデータを細かく設定し引き当てます  
(詳しくはP116へ)
- ③ キャンセル…直接工事費画面に移動します

### 7-3. 学習機能（詳細設定）を使用する場合

引用に使用する「フォルダ」を選択します。

※初期設定では全ての設計書が選択されています。

※フォルダの削除や、独自で年度や地区ごとに作成したフォルダを一覧に追加することも可能です。



① 使用するフォルダを使用欄より選択し、「次へ」をクリック

選択した「フォルダ」内から、引用に使用する「過去に作成した設計書」を選択します。

※初期設定では全ての設計書が選択されています。



② 使用する設計書を使用欄より選択し、「次へ」をクリック

使用…チェックボックスにチェックが入ったものを引き当てに使用します

工事名…設計書の工事名が表示されます

重要…★マークがついた設計書が優先的に使用されます

単価年度…設計書の単価年度が表示されます

歩掛年度…設計書の歩掛年度が表示されます

施工パッケージ年度…設計書の施工パッケージ適用年度が表示されます

ファイルパス…設計書データの保存先が表示されます

すべてを選択…チェックを入れると表示されている設計書データを全て選択します チェックを外すと全ての設計書からチェックが外れます

優先順位の並べ替え…引き当てに使用する設計書の優先順位を設定できます(上から順に優先度が高くなります)

歩掛・単価・施工パッケージ一覧表の画面に移動します。



「過去に作成した設計書」と名称・規格・単位が一致したものは新単価部分に金額が入ります。

過去の設計書単価を利用

更新される項目一覧

通用	種	名称	規格	単位	旧単価	新単価	摘要	候補数	帳票番号	場所	ソースファイル
	諸経費		式			0	諸	5		検出できませんでした	道路維持修繕工事その3 VT5
	★区画線設置(溶接式)	実線セフ'345cm	m			0	諸	1		検出できませんでした	道路維持修繕工事その3 VT5
	諸経費		式			0	諸	5		検出できませんでした	道路維持修繕工事その3 VT5
	★区画線設置(溶接式)	破線15cm	m			0	諸	1		検出できませんでした	道路維持修繕工事その3 VT5
	諸経費		式			0	諸	5		検出できませんでした	道路維持修繕工事その3 VT5
	★区画線設置(溶接式)	矢印・記号・文字15cm換算	m			0	諸	1		矢印・記号・文字15cm換算用	道路維持修繕工事その3 VT5
	諸経費		式			0	諸	5		検出できませんでした	道路維持修繕工事その3 VT5
	交通系警備員B		人			0	諸	1		交通系警備員B - 1行目	道路維持修繕工事その3 VT5
	諸経費		式			0	諸	5		検出できませんでした	道路維持修繕工事その3 VT5
	舗装板切断	アスファルト舗装板15cm以下	m	492.9	諸	1	第1-1号P単価表	直接工事費 - 2行目		道路維持修繕工事その3 VT5	
	舗装板切断	アスファルト舗装板厚10cm以下	m <sup>2</sup>	119.4	諸	1	第1-2号P単価表	直接工事費 - 8行目		道路維持修繕工事その3 VT5	
	舗装板切断被碎	樹林(騒音対策不要, 厚15cm以下)	m <sup>2</sup>	1574	諸	1	第1-3号P単価表	直接工事費 - 8行目		道路維持修繕工事その3 VT5	
	不陸整正		m <sup>2</sup>	113.2	諸	1	第1-4号P単価表	直接工事費 - 8行目		道路維持修繕工事その3 VT5	
	基層(車道・路肩部)厚45mm以上55mm未満	再生粒度アコ'20	m <sup>2</sup>	2217	諸	1	第1-5号P単価表	直接工事費 - 8行目		道路維持修繕工事その3 VT5	
	表層(車道・路肩部)厚45mm以上55mm未満	再生密粒度アコ'18	m <sup>2</sup>	2236	諸	1	第1-6号P単価表	直接工事費 - 10行目		道路維持修繕工事その3 VT5	
	区画線設置(溶接式)(手動)	実線セフ'345cm供用区間	m	484	諸	1	第1-2号代価表	直接工事費 - 11行目		道路維持修繕工事その3 VT5	
	区画線設置(溶接式)(手動)	実線セフ'345cm供用区間	m	1150	諸	1	第1-3号代価表	直接工事費 - 12行目		道路維持修繕工事その3 VT5	
	区画線設置(溶接式)(手動)	破線15cm供用区間	m	325	諸	1	第1-4号代価表	直接工事費 - 13行目		道路維持修繕工事その3 VT5	

候補選択

選択された項目 諸経費 舗装板切断 アスファルト舗装板15cm以下 m 0

種別	名称	規格	単位	単価	摘要	帳票番号	場所	ソースファイル
諸経費	舗装板切断	アスファルト舗装板15cm以下	m	492.9	諸	第1-1号P単価表	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その3 VT5

検出された更新候補

戻る 実行

③ 引き当てるデータを適用欄より選択し、「実行」をクリック

適用…チェックボックスにチェックが入ったものに引き当てが実行されます  
種…単価や代価、施工パッケージなどの種類が表示されます

候補数…作成中データと一致する物を候補数として表示します

一致するものが複数出た場合は「検出された更新候補」からどのデータを使用するか選択できます  
場所…作成中の設計書内での使用場所が表示されます

過去データと一致する物がなければ「検出できませんでした」と表示されます

ソースファイル…どの過去データから引き当てたか表示されます

一致したデータが引き当てられました

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号	集計対象	集計値
1	① 本工事費		式		1		12,892,825				先:11112228
2	諸	・舗装板切断	737.9小舗装板15cm以下	m	40.4	492.9	19,913		第1-1号P単価表		
3	諸	・737.9小切形瀝水槽取扱費	積数量2t運搬距離10kmまで	台	1	10,530	10,530				
4	諸	・737.9小切形瀝水槽小部分費	中間処理後、最終処分場に輸入	m <sup>3</sup>	0.097	54,000	5,298			処分費	先:5298
5	諸	・舗装板切断	737.9小舗装板厚10cm以下	m <sup>2</sup>	2,357.8	119.4	281,521		第1-2号P単価表		
6	諸	・舗装板切断被碎	樹林(騒音対策不要, 厚15cm以下)	m <sup>2</sup>	235.8	1,574	371,149		第1-3号P単価表		
7	代	・廃材特込料	4s廃材	式	1	1,108,000	1,108,000		第1-1号代価表	先:1108000	
8	諸	・不陸整正		m <sup>2</sup>	2,357.8	113.2	266,302		第1-4号P単価表		
9	諸	・基層(車道・路肩部)厚45mm以上55mm未満	再生粒度アコ'20	m <sup>2</sup>	2,357.8	2,217	5,227,242		第1-5号P単価表		
10	諸	・表層(車道・路肩部)厚45mm以上55mm未満	再生密粒度アコ'18	m <sup>2</sup>	2,357.8	2,298	5,272,040		第1-6号P単価表		
11	代	・区画線設置(溶接式)(手動)	実線セフ'345cm供用区間	m	60	484	28,040		第1-2号代価表		
12	代	・区画線設置(溶接式)(手動)	実線セフ'345cm供用区間	m	27	1,150	31,050		第1-3号代価表		
13	代	・区画線設置(溶接式)(手動)	破線15cm供用区間	m	160	325	52,000		第1-4号代価表		
14	代	・矢印・記号・文字15cm換算供用区間	矢印・記号・文字15cm換算供用区間	m	50.64	0	0		第1-5号代価表		
15	諸	・交通系警備員B	警笛(実働時間)文替要員兼し	人日	14	11,300	156,200				

## 7-4.個別に学習機能を使用する場合

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	
1	①	本工事費		式	1		12,812,912	
2	单価	・舗装版切削	アスファルト舗装版15cm以下	m	40.4	0	0	
3	单価	他の設計書から単価を検索	積載量2t運搬距離10kmまで	台	1	10,530	10,530	
4	单価	単価を開く	中間処理後、最終処分場に搬入	m3	0.097	54,000	5,238	
5	代価	代価			2,357.8	119.4	281,521	
6	单価	施工パッケージ			235.8	1,574	371,149	
7	計算	As廃材	式	1	1,108,000	1,108,000		
8	注釈行			m2	2,357.8	113.2	266,902	
9	空行							
10	付箋	クラス変更	55mm未満	再生粗粒度アコン(20)	m2	2,357.8	2,217	5,227,242
11	付箋	数量設計書からインポート	55mm未満	再生密粒度アコン(13)	m2	2,357.8	2,238	5,272,040
12	コピーリンク	コピー	実線・セグラ15cm供用区間	m	60	484	29,040	
13	貼り付け	貼り付け(追加)						

過去の設計書単価を利用

更新される項目一覧

適用	種別	名称	規格	単位	旧単価	新単価	摘要	候補数	帳票番号	場所	ソースファイル
<input checked="" type="checkbox"/>	单価	舗装版切削	アスファルト舗装版15cm以下	m	0	492.9	赤	5	第1-1号P単価表	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その8 VT5

候補選択

選択された項目: 舗装版切削 アスファルト舗装版15cm以下 m 0

種別	名称	規格	単位	単価	摘要	帳票番号	場所	ソースファイル
单価	舗装版切削	アスファルト舗装版15.. m	m	494	第25号内訳書	直接工事費 - 9行目	千葉県船橋市味が丘 検証結果 VT5	
单価	舗装版切削	アスファルト舗装版15.. m	m	0	第1-1号P単価表	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その8 VT5	
单価	舗装版切削	アスファルト舗装版15.. m	m	492.9	第1-1号P単価表	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その8 VT5	
单価	舗装版切削	アスファルト舗装版15.. m	m	0	第1-1号P単価表	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その8 VT5	
单価	舗装版切削	アスファルト舗装版15.. m	m	492.9	第1-1号P単価表	直接工事費 - 2行目	道路維持修繕工事その8 VT5	

戻る 実行

② 使用するデータを決定し、「実行」をクリック

「工事費内訳」をクリックして確認して下さい。

各種設定

各種設定

料件名	金額/値(当世代)	計算方法	有効料率	備註
KS 工事種類	土木工事			
KB 工種区分	河川工事			
KY 料費年度	2014			

工事費内訳

③ 工事費内訳書をクリック

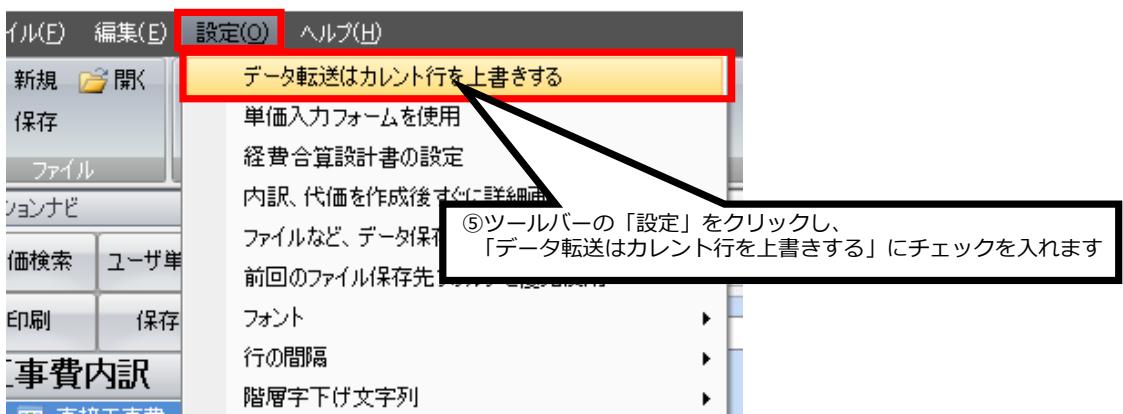
金抜きの状態なので、階層行以外の全ての行が黄色の表示になっています。  
単価の金額が入ると階層は緑、内訳書は水色、代価はピンク、単価は白に色が変わります。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号
1	老	老第263号_φ150mm布設替工事		式	1				
2	内	φ150mm材料費		式	1			第1号明細表	内訳第1号
3	内	φ150mm土工		式	1			第2号明細表	内訳第2号
4	内	φ150mm管布設工		式	1			第3号明細表	内訳第3号
5	内	φ150mm弁類設置工		式	1			第4号明細表	内訳第4号
6	内	φ150mm管撤去工		式	1			第5号明細表	内訳第5号
7	内	φ150mm反設工		式	1			第6号明細表	内訳第6号

## 補足説明

単価検索からデータ転送する前にツールバーの「設定」から「単価検索の結果でカレント行を上書きする」にチェックを入れることで、上書きモードとなり、名称や規格の文言を変えずに下位表のみを差し替えることができます。

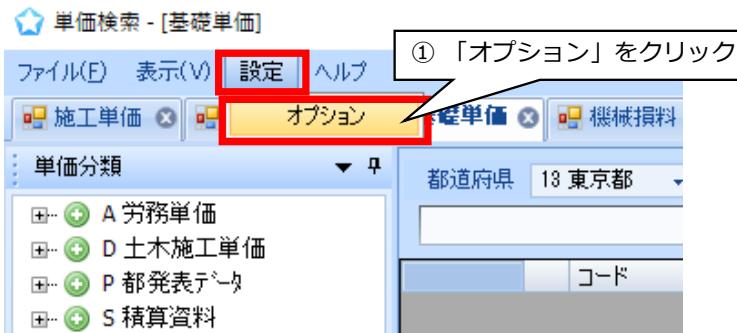
## 新規設計書2



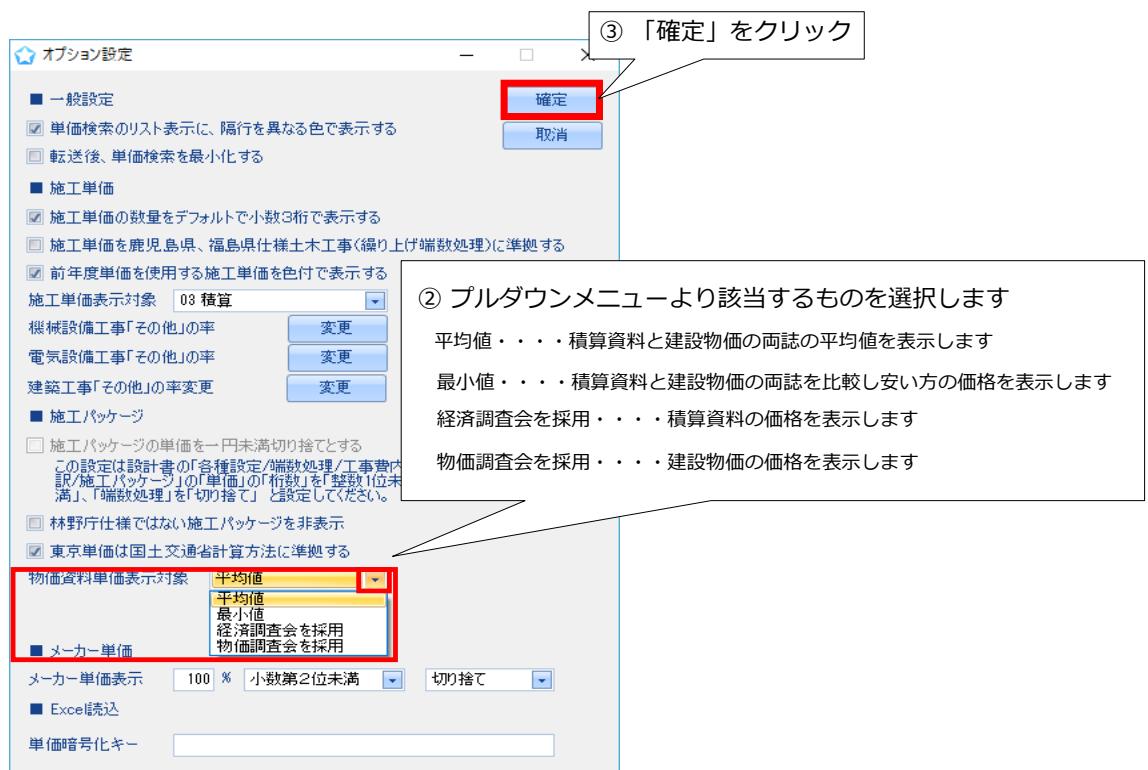
## 8. 「物価資料」単価表示対象の設定

単価検索の「物価資料」のタブ内で表示される単価の採用方法を設定できます。

単価検索の設定メニューより、オプション設定画面を開きます。



オプション設定画面が開きました。



設定が完了しました。 単価検索の「物価資料」のタブ内で確認してください。

<単価検索上（物価資料タブ内）の表示>

	コード	名称	規格	単位	単価 ①	物調 ②	経調 ③	備考 ④
1	B0501012210_214	異形棒鋼 SD295A	D10	t	61,500	62,000	61,000	△KJ建2016年11月19頁6200円 積2016年11...
2	B0501012210_314	異形棒鋼 SD295A	D10	t	61,000	0	61,000	△KJ建2016年11月0頁0円 積2016年11...
3	00000000000000000000	田中住友セメント	0.00000000000000000000	t	61,000	61,000	61,000	△KJ建2016年11月0頁0円 積2016年11...

- ① 単価 ···· オプション設定で設定した表示方法で表示されます。（ここでは平均値）
- ② 物調 ···· 「物価調査会」の略です。建設物価の価格が表示されます。
- ③ 経調 ···· 「経済調査会」の略です。積算資料の価格が表示されます。
- ④ 備考 ···· 両誌のそれぞれ何ページに掲載されているかを表示しています。